

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

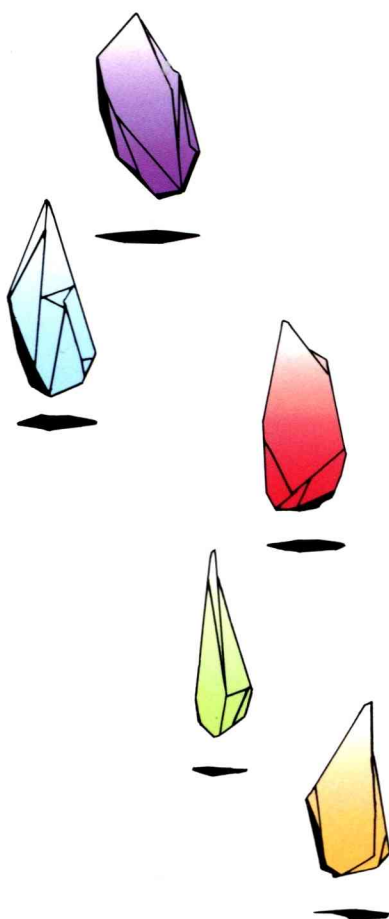
## 伝えあうことば：3 映像解説書

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2020-05-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00002808">https://doi.org/10.15084/00002808</a>

日本語教育映像教材 中級編 関連教材

# 伝えあうことば

## 3 映像解説書



国立国語研究所

日本語教育映像教材 中級編 関連教材

伝えあうことば

### 3 映像解説書

国立国語研究所

## 刊 行 の こ と ば

国立国語研究所日本語教育センターにおいては、外国人に対する日本語教育に役立てるため、昭和61年度から平成元年度に、ビデオテープ教材『日本語教育映像教材中級編』を作成しましたが、この『日本語教育映像教材中級編 関連教材 伝えあうことば』のシリーズは、そのビデオ本体を有効に利用するための周辺教材として発行するものです。

この『映像解説書』は、ビデオ本体の映像に見られる事物の説明、場面および登場人物の解説、場面の背景となる文化的事項の解説、各場面の談話の流れなどを示したもので、教授者用資料として利用されることを目的としています。

この『映像解説書』の編集担当者は、次の通りです。

中道真木男（日本語教育センター日本語教育教材開発室長）……………総括  
熊谷智子（日本語教育センター日本語教育教材開発室研究員）……………編集補助  
文野峯子（日本語教育センター客員研究員）……………非言語行動記述，文化事項解説  
桜木紀子（日本語教育センター客員研究員）……………非言語行動記述，文化事項解説  
小林ミナ（名古屋大学大学院）……………談話構造分析・表示方式開発  
また，基礎資料作成に，玉置亜衣子，山口聖子，有賀千佳子の協力を得ました。

本書が有効な視聴覚教育のための資料として適切に活用されることを期待します。

平成5年3月

国立国語研究所長  
水 谷 修

## ＜目 次＞

『日本語教育映像教材 中級編』について……………	1
1.作成の経緯…………… 1	2.概要…………… 1
3.内容…………… 2	
4.関連教材『伝えあうことば』および『3 映像解説書』について……………	3
映像解説……………	4
0.「映像解説」の内容について……………	4
1.ユニット1 セグメント 1～6……………	9
2.ユニット2 セグメント 7～12……………	28
3.ユニット3 セグメント 13～18……………	53
4.ユニット4 セグメント 19～24……………	75
付記 シナリオにあらわれた談話行動の分析……………	96
索引……………	100
1.場面機能索引……………	100
2.非言語行動索引……………	104
3.画像索引……………	112
4.文化事項コラム一覧……………	117
5.表現形式索引……………	117



## 『日本語教育映像教材 中級編』について

**1. 作成の経緯** 『日本語教育映像教材 中級編』の本体であるビデオ素材は、昭和61年度から毎年1ユニットずつが制作され、平成元年度に全4ユニットが完成した。

この教材の企画は、国立国語研究所日本語教育教材開発室が担当した。また、所内外の委員による「日本語教育映画等企画協議会」を設け、助言を得た。

企画の関係者は以下の通りである。

### ◇日本語教育映画等企画協議会委員（所属は在任当時のもの）

#### [所外委員]

川口義一（早稲田大学）	木村宗男（日本語教育学会）
佐久間まゆみ（筑波大学）	中野泰子（アジア学生文化協会）
丸山敬介（国際教育振興会）	吉岡英幸（東京外国語大学）

#### [所内委員]

村木新次郎（言語体系研究部）	杉戸清樹（言語行動研究部）
相澤正夫（日本語教育センター）	西原鈴子（日本語教育センター）

### ◇日本語教育センター関係者（在任当時関係者も含む）

南不二男（日本語教育センター長）	水谷修（日本語教育センター長）
上野田鶴子（日本語教育指導普及部長）	日向茂男（日本語教育教材開発室長）
中道真木男（日本語教育教材開発室長）	熊谷智子（日本語教育教材開発室研究員）
清田潤（日本語教育教材開発室技官）	

### ◇制作 日本シネセル株式会社 ◇演出 前田直明（株式会社エイビス）

**2. 概要** 『日本語教育映像教材 中級編』は、日本語を母語としない学習者が日本語を学ぶための中級用映像教材で、ビデオテープに録画された映像素材がその本体となっている。全体は4ユニットから成り、それぞれのユニットは、5分程度の長さのセグメント6つで構成されている。

制作は、日本シネセル株式会社によって行われ、市販品として株式会社インターコミュニケーションから発売されている。価格等は以下の通りである。

### ◇販売価格（消費税別。平成5年1月現在）

	VTR (3/4 インチ)	VTR (1/2 インチ)
各セグメント	37,000円	29,500円
各ユニット	95,000円	74,000円

（VTRはいずれもNTSC方式の場合。このほか、16ミリフィルムによる提供も可能）

**3. 内容** 国立国語研究所が以前に作成した『日本語教育映画 基礎編』(全30巻)が基本文型の学習を目的としていたのに対して、この『中級編』は、学習者のコミュニケーション能力を高める学習に役立てるために、ことばの働きや聞き手に対する働きかけといった各種の発話機能をテーマとして構成されている。

初級段階で習得した基本文型を実際の場面で使用するためには、コミュニケーションの相手によって、またその場の状況によって、同じことを言うために使えるさまざまな表現の中から最も適当なものを選択し、それを適切なやり方で使用する訓練が必要となる。『中級編』では、ある一つの内容を表現するために、どんな言語形式のバリエーションがあり、どんな場面で使うのが適当か、逆に、ある表現の形式は、どんなことを言うためにどんな場面で使えるか、を教えるためのさまざまな例を示している。また、それらの表現手段は、言語形式だけでなく、声の調子や顔の表情、間のとり方など、実際のコミュニケーションで用いられるいろいろな方策も含めて、映像で描かれている。これらにより、場面に応じたことばの選択、適切な言語随伴行動などの例を学習者に提示することができ、学習者の総合的なコミュニケーション能力を育成するための素材として利用できることが意図されている。

各ユニット、各セグメントのタイトルは次のとおりである。

**ユニット 1** 初めて会う人と —紹介・あいさつ—

**セグメント 1** 自己紹介をする —会社の歓迎会で—

**セグメント 2** 人を紹介する —訪問先の応接室で—

**セグメント 3** 友人に出会う —喫茶店で—

**セグメント 4** 面会の約束をする —電話で—

**セグメント 5** 道をきく —交番で—

**セグメント 6** 会社を訪問する —受付と応接室で—

**ユニット 2** 人に何かを頼むとき —依頼・要求・指示—

**セグメント 7** 届出をする —市役所で—

**セグメント 8** 買物をする —デパートで—

**セグメント 9** 打合せをする —出版社で—

**セグメント 10** お願いをする —大学で—

**セグメント 11** 手伝いを頼む —家庭で—

**セグメント 12** 友達を誘う —友達の家で—

ユニット 3 人のことばにこたえて ―承諾・断りと注目表示―

セグメント 13 お見合いを勧められる

セグメント 14 お見合いをする

セグメント 15 提案をする

セグメント 16 仲人を頼む

セグメント 17 結婚式場を決める

セグメント 18 スピーチを頼む

ユニット 4 意見の違う人に ―問いかえし・反論―

セグメント 19 イベントを提案する

セグメント 20 相談をまとめる

セグメント 21 打ち合わせをする

セグメント 22 交渉をする

セグメント 23 会場の準備をする

セグメント 24 討論をする

4. 関連教材『伝えあうことば』および『3 映像解説書』について 「中級編」

を教材として利用するための資料として、『日本語教育映像教材中級編関連教材 伝えあうことば』のシリーズが作成され、大蔵省印刷局から発売されている。これまでに刊行されたものは以下の通りである。

日本語教育映像教材 中級編 関連教材 「伝えあうことば」(大蔵省印刷局発行)

1 シナリオ集 1,000円 (平成3年作成)

2 語彙表 1,600円 (平成3年作成)

この『3 映像解説書』は、「中級編」で描かれたすべての場面について、その場面の登場人物相互の関係、その場面における話題の種類や談話の構造と談話の開始・終結の方法、動作・表情などの非言語的伝達手段、画像に映っている物、場面の背景としての文化的事項などを解説したものである。全体は、各セグメントの流れに沿った「映像解説」と、全セグメントを通して談話機能・非言語的伝達手段・画像に現れる物・文化的事項を検索するための「索引」とからなる。

なお、『伝えあうことば』のシリーズは、この後、さらに数点が刊行される予定である。

## 映像解説

0. 「映像解説」の内容について 「映像解説」の部分では、映像の流れに沿って、以下のよう  
な内容が記されている。『中級編』では、各ユニットごとに主な登場人物と状況とが設定され、  
各ユニットを構成する六つのセグメントはストーリーの展開を追って配列されているので、「映像  
解説」では、各ユニットごとに、そのユニットに共通する事項を記し、それに続いて、各セグメ  
ントに関することがらを記している。ユニットごと、セグメントごとに記される内容は以下のよ  
うなものである。

### ◇各ユニットに関する記載事項

1. ユニットの概要……そのユニットを用いて学習できる主な言語機能に関する解説、背景とな  
る状況設定とあらすじ、等
2. 主な登場人物……そのユニットを通じて登場する主な人物とその相互の関係等
3. 場面一覧……各セグメントに含まれる場面とそこでのストーリー展開の一覧

◇各セグメントに関する記載事項：各セグメントは、2～3 場面に分かれることが多く、以下の  
内容は、それらの場面ごとに記される。

1. 場面説明……各場面の状況説明およびストーリーの流れ
2. 登場人物……登場する人物の設定および相互関係
3. 流れにそって……各場面のシナリオにそって、以下の内容を表形式で記述する。
  - 3-1 タイミング……主な発話の始まりをセグメント頭（タイトル画面の終了時）からの分秒で  
示す。なお、使用する V T R により、若干のずれが生じることがありうる。
  - 3-2 ト書き……人物の移動等を、表の全欄を通す形で示す。
  - 3-3 発話者・文番号・せりふ・随伴動作……話し手とその発話内容を示す。各文には、文番号  
が付される。この番号は、この関連教材シリーズの中では同じものが一貫して用いられて  
いる。また、せりふの間に、発話に伴う動作等が（ ）で示されている。
  - 3-4 談話構造……その場面における談話の開始・終結、談話の中で取り上げられた話題部分の  
開始・終結の位置と、話題内容等が示される。表示の形式と内容については、次項に説明  
する。また、その基本的な考え方については「付記 シナリオにあらわれた談話行動の分  
析」を参照されたい。
  - 3-5 画像解説……画面に映っている物などに関する解説を記す。
4. 文化事項コラム……映像の内容に関わりのある文化的事項、百科的知識等をコラム形式で解説  
する。
5. 表現形式……表現手段として習得し、活用することが望まれる言語的表現の主なものを挙げる。

◇「談話構造」の表示について 「談話構造」の欄には、まず、その場面のシナリオ中において、人物間の接触が起こり談話が開始された位置と、その談話または接触が終了しようとする位置とを示し、次に、その談話の中で、ある特定の話題が提示された位置とその話題に関するやりとりが終了した位置を示す。それぞれの位置は、談話の開始 (DO : Discourse Opening)、談話の終結 (DC : Discourse Closing)、話題の開始 (TO : Topic Opening)、話題の終結 (TC : Topic Closing) が、どのような内容の文によって行われたかを表す略号によって示されている。それぞれの内容は、以下のように分類される。

◇談話の開始 (DO) に用いられる方策

- DO1.1 相手の存在を認める等の注目表示
- DO1.2 呼びかけ等、注目を要求する
- DO2.1 出会いのあいさつ
- DO2.2 名乗り
- DO3.1 互いの関係や共通の経験への言及
- DO3.2 その場でみとめられる状況への言及
- DO4 談話の再開
- DO5 その他

◇談話の終結 (DC) に用いられる方策

- DC1.1 談話を終結させる意思表示
- DC1.2 感謝または陳謝の表明
- DC1.3 別れのあいさつ
- DC2.1 聞き手への配慮の表明
- DC2.2 話し手自身への配慮の要請
- DC2.3 他の誰かへの配慮の表明
- DC3.1 他の行動に移る意思表示
- DC3.2 再会への言及
- DC4 談話の中断
- DC5 その他

◇話題の開始 (TO) に用いられる方策

- TO1.1 話題を開始する意思表示
- TO1.2 話題の種別の表示
- TO2.1 話題の開始の催促
- TO2.2 話題の種別についての質問
- TO3.1 話題の前提となる情報の提示
- TO3.2 話題の前提となる情報の要求
- TO4 話題そのものの提示
- TO5 その他

◇話題の終結 (TC) に用いられる方策

- TC1.1 話題内容の要約・まとめ
- TC1.2 話題に関する結論または決定
- TC2.1 質問等に対する返答
- TC2.2 提案・行為要求の受諾または拒絶
- TC2.3 納得・了承
- TC3 話題内容・結末に関する論評・感想
- TC4.1 次の話題に移る意思表示
- TC4.2 話題内容・結末に基づく行動への言及
- TC5 その他

これらの方策がどのせりふで行われたかを示した上で、DOが現れる部分は「談話開始部」、DCが現れる部分は「談話終結部」として、下の例のようにそれぞれ括って表示される。また、TOの位置、および、下に述べる → の位置には、話題 (Topic) の内容が ( ) を用いて示される。これらの方策の種類の判定や話題の認定は、その場面の談話に参加している人物が意

図する内容ではなく、観察者の立場から見て、結果としておこなわれたやりとりの中で、どの部分がその機能を果たしたか、結果として何が話されたかを示している。従って、単に思いついた質問を口にしたことが、次の話題に移るきっかけとなってTC4.1と判定されたり、話題が（イベントを提案する）と表示されていても、話し手の初めの意図は、「最近近所の人とのつきあいが少ない」という感想を述べたに過ぎない場合（seg.19①）もありうる。なお、談話の途中で、これらの方策の機能を持つ文が現れる場合には、その都度、表示されているので、たとえば、一方が相手の存在をみとめる発話をし、それに他方が応じてあいさつを返した場合には、DO1.1とDO2.1とが重複して記されることになる。また、DCとTCは、それぞれ談話・話題を終結しようとする発話に付されるので、実際に談話・話題が終結するのは、その発話より後ということになる。

**表示の例** 各場面「流れに沿って」の部分は、たとえば次のような形になる。

[illegible]

ユニット4 セグメント20 場面② 保育園に近い商店街にある三浦の店.

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造(話題)	
	(北野, やや歩いて, 酒屋の店に入る. 店内で三浦, 紙ばさみを手に, 在庫調べの最中. 振り向いて北野を見る)		酒屋の店. 棚に並んだ 酒びんや食 料品.
00' 21"	三浦 003 あ, 先生, いらっしゃい. (寄ってくる)	D01.1, D02.1	
	北野 004 こんにちは. (棚を見回して) 005 お味噌とね, それからゴマ油お願いしま す.	D02.1 T04 (買物を する) ↓	
	三浦 006 はい. (手前の棚からゴマ油のびんを取り, かがんで 奥の棚から味噌のパックを取る) 007 ええと, お味噌は, 赤い のでしたよね.	↓ ↓ ↓ ↓	
	北野 (少しかがみ込んで) 008 ええ. 009 でも, この前の, なん かからすぎたから.	↓	
	三浦 010 あ, じゃあ, こっちの, 試してみてください. (別のパ ックを取り, 北野に見せる) 011 割と甘口になってますから. (北野, うなずいて受け取る)	TC1.2 ↓ ↓	
	(二人, レジの所へ行く)		レジスター

談話構造の欄で, ↓ は, それ以前に開始された話題に関するやりとりが続いていることを表す. seg.19③-031, -034に現れている → は, 一つの談話の流れの中に現れる小さい話題(サブ・トピック)の転換を表す. 話題のはっきりした転換がなく, しだいに次の話題に移っていった場合にもこれを用いる. また, seg.20②-011の後に現れている ↓ は, その話題がそこで終結したことを表す.

以上の表示形式の基本となる考え方については,「付記 シナリオにあらわれた談話行動の分析」を参照されたい.

なお, 上のように, シナリオ中の文番号に言及する場合, たとえば「セグメント 20 場面② 文番号 11」を, 「seg.20②-011」のように記すことにする.

# 1. ユニット 1 初めて会う人と —紹介・あいさつ—

(セグメント 1 ~ 6)

**ユニット1の概要** このユニットでは、初めて会った人との話し方、たとえば自己紹介をしたり、共通の話題を出して話を円滑にすすめたりするやり方の例が示されている。初対面のあいさつや辞去のことばのような決まり文句的な表現が実際にどのように使われているのかが、場面の文脈の中で提示されている。また、情報のやりとりをすることも、学習項目の一つになっている。話を進める上での基盤づくりとして相手のことをたずねたり、実質的にいろいろな情報を得たりと、その目的は場合によってさまざまだが、このユニットには友人を相手に仕事のことをたずねたり、取り引き先に電話をして道順を聞いたりする例が入っている。主人公が貿易会社の社員という設定で、場面設定はビジネス関係が多くなっているが、その中には、名刺の交換、得意先の訪問、電話での話し方など、学習者が日本語社会に出る場合に参考になる場面が含まれている。

## 主な登場人物

中村 弘 (男性、貿易会社・港商事の営業課主任、鈴木の上司にあたる)  
鈴木幸男 (男性、港商事の新入社員、中村の直属の部下)  
田中武彦 (男性、貿易会社・東京貿易の部長、中村の得意客)  
岸本智明 (男性、機械メーカー・池田製作所の製造部長、田中の友人)

## 場面一覧

### セグメント 1 自己紹介をする —会社の歓迎会で—

場面① 小料理屋の座敷。港商事機械部営業課の新入社員歓迎会。4人の新入社員が自己紹介をする。

### セグメント 2 人を紹介する —訪問先の応接室で—

場面① 田中の会社、東京貿易の応接室。中村と鈴木が田中を訪ね、池田製作所への紹介を依頼する。

場面② 同じく、東京貿易の応接室。田中が岸本に電話をかけ、中村を紹介する。

場面③ 同じく、東京貿易の応接室。中村と鈴木、田中に手みやげを渡し、帰る。

### セグメント 3 友人に出会う —喫茶店で—

場面① 昼休み、会社近くの喫茶店で、鈴木が新入社員の同僚とコーヒーを飲んでいる。

場面② 同じく、喫茶店。鈴木大学の友人が偶然入ってきて、話に加わる。

### セグメント 4 面会の約束をする —電話で—

場面① 港商事機械部営業課の室内。中村が、先に紹介された岸本に電話をかけ、面会の約束をする。

場面② 同じく、営業課の室内。中村、鈴木に、資料を用意し、道順を調べるよう指示する。

場面③ 同じく、営業課の室内。鈴木、池田製作所に電話し、道順をきく。

場面④ 鈴木、電話できいた道順に従って地図をかく。

### セグメント 5 道をきく —交番で—

場面① 地下鉄東西線日本橋駅の地下道から、地上に出て、日本橋付近へ。中村と鈴木、池田製作所を訪ねる途中、道に迷う。

場面② 日本橋付近。中村と鈴木、道に迷って通行人に尋ね、交番を教えられる。

場面③ 日本橋付近の交番。中村と鈴木、道をききにくる。

場面④ 日本橋から池田製作所へ。中村と鈴木、警官の説明と地図により、池田製作所にたどりつく。

### セグメント 6 会社を訪問する —受付と応接室で—

場面① 池田製作所の受付。中村と鈴木、訪ねてきて応接室に通される。

場面② 池田製作所の応接室。中村と鈴木、岸本に面会して商品の購入を検討するよう頼む。



# セグメント 1 自己紹介をする —会社の歓迎会で—

【場面①】小料理屋の座敷。港商事機械部営業課の新入社員歓迎会が行われている。部長のあいさつに続いて、司会の中村の指名により、4人の新入社員が自己紹介をし、課長の音頭によって乾杯が行われる。

## 登場人物

機械部部長 (男性、60歳前後)  
 中村 弘 (男性、30代、営業課主任、歓迎会の司会)  
 鈴木幸男 (男性、新入社員)  
 ジャック・ジョーンズ (男性、25歳、イギリス人、新入社員)  
 大木芳夫 (男性、新入社員)  
 福田春子 (女性、新入社員)  
 営業課長 (男性、40代)  
 その他の課員たち (登場するが、発言はしない)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
	(部長、立ってあいさつをしている。課長を除く全員、部長を見ている。新入社員たち、正座している。ジョーンズ、あぐらをかき、ひざにひじを乗せている)	
00' 00"	部長 001 会社の期待を担った皆さんです。002 どうか精一杯がんばってください。(鈴木、頭を下げる) 003 以上、歓迎のあいさつとします。(上半身を前に傾ける) 004 さて、きょうは楽しく飲みましょう。	↓ (歓迎のあいさつ) ↓ TC1.1 ↓
	(部長、座る。司会の中村、立ち上がる)	
00' 15"	中村 (体の前で両手を握る。部長に会釈) 005 ありがとうございます。 006 次に、新しい社員の皆さんに簡単に自己紹介をしていただきましょう。(左へのひらで鈴木を指す) 007 それでは、鈴木君からお願いします。	T02.1 (自己紹介をさせる) ↓ TC2.2
00' 27"	鈴木 (うなずく) 008 はい。 鈴木 (立ち上がり、上座に目礼し、体の前で両手を握る。やや緊張気味に) 009 東上大学経済学部を今年の春卒業いたしました。このたび、こちらに入社いたしました鈴木幸男です。(軽く頭を下げる。一同を見回しながら) 010 えー、子供のころから、外国にあこがれておりましたので、えー、この会社の一員となることができて、大変喜んでおります。011 大学時代は、ボクシング部におりましたので、体は十分にきたえておりますので、上司や先輩の方々のご指導をいただきまして、仕事をばりばりやっていきたいと思っております。012 どうぞよろしくお願いいたします。	T04 (自己紹介をする) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	(鈴木、頭を深く下げて座る。ジョーンズ立ち上がる)	
01' 16"	ジョーンズ (体の前で両手を握る。頭は下げず、腰を前後に動かしながら) 013 イギリスのサセックスからまいりました。ジャック・ジョーンズです。014 ただ今、25歳で、独身です。015 イギリスでは、シティーの証券会社におりました。016 以前から日本に関心を持っており、というより、非常に強い関心を持たざるを得ませんでしたので、(一同、笑う) こんど、こちらの会社に入社できましたことは幸いです。017 日本とヨーロッパ、そして世界への窓口としてがんばっていききたいと思います。	T04 (自己紹介をする) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	(ジョーンズ、頭を下げて、いきなり座る。大木、あわてて立ち上がる)	
01' 46"	大木 (視線が定まらない、早口で) 018 えー、えーと、大木芳夫です。019 あー、大学は、えー、南武大学法学部を卒業しました。020 えー、よろしくお願ひします。	T04 (自己紹介をする) ↓ ↓
	(大木、べこりと頭を下げて座る。福田、立ち上がり体の前で両手を握る。頭を下げる)	
02' 04"	福田 021 福田春子と申します。022 京西大学商学部を卒業いたしました。023 大学3年の夏休みに、ホームステイでアメリカ	T04 (自己紹介をする) ↓

料理屋の座敷。床の間があり、床柱がある。掛け軸がかかっている。棚に小さな花生け。横の壁に日本画。障子のはまった窓がある。卓の上には、めいめいに箸、グラスなど。会社帰りの社員たち。男性は背広姿。それぞれ、座いつに座っている。

和服姿の仲

	にまいりまして、(大木、福田を見る)その時は、英語にだいぶ苦労いたしました。024 大学では、貿易実務のコースを取っておりましたので、その知識をすこしでもお役に立てることができればと思っております。025 仕事のことは、まだ何も分かりませんが、どうぞよろしくお願いいたします。	↓ ↓ ↓ ↓ ↓	居たちが料理を選び、めいめいにビールを注ぐ。
	(仲居たち、ビールを運んできて、上座から注ぎ始める。部長、ビールをグラスに受ける)		
	課長(グラスにビールを受けながら)026 どうも。		
02' 45"	中村(座ったまま)027 それでは、ビールもまいりましたので、乾杯をしたいと思います。	T02.1 (乾杯の音頭を指名する)	乾杯は音頭を取る者が一言述べ、それに続いて唱和し、最後に拍手をする。
	028 三木課長、音頭をお願いいたします。(課長に会釈)	↓	
	(課長、うなずいてビールのグラスを右手に持ち、立ち上がる)	↓	
02' 56"	課長 029 では、御指名によりまして、わたくしが乾杯の音頭をとらせていただきます。(部長に頭を下げる。一同、グラスを体の前に持つ)030 港商事のますますの発展と、(グラスを新入社員たちの方へ)新入社員の諸君の御活躍を祈りまして、乾杯!(グラスを目の高さに上げる)	T01.2 (乾杯する)	
	一同 031 乾杯!(グラスを目の高さに上げてから飲み、グラスを置く。課長、座る。仲居たち、料理を運んでくる)	↓ ↓ ↓ ↓ ↓	
	(部長、先に立って拍手。一同、続いて拍手)		
03' 24"	(クレジット)		

## 自己紹介

自己紹介のやり方には、いろいろなパターンがあるが、仕事などの上で知り合う人への自己紹介の中では、「港商事の中村と申します」のように、自分の所属、つまり、どんな会社や組織に属しているかを述べるのが、最も重要である。それに次いで、「東上大学経済学部出身の鈴木です」のような、出身学校や出身地を述べることも多い。もし、共通の知人がいることがわかっている相手なら、「昔お父さまにお世話になりました」のように、その人との関係を述べたりもする。自己紹介は、互いに、これからどんな風に相手を扱ったらよいかを判断するための知識を伝え合うものとも言える。

## 表現

「以上、～」(seg.01①-003) 談話の終わり近くで接続詞的に用いる「以上」は、それまでの話がどんな内容、どんな種類のものであったかを述べて、まとめをつける機能を持つ。

「～と言うより」(seg.01①-016, seg.10①-016) 文字どおりには、その前に用いたことばを、より適切なことばで言い換えることを表すが、まず、やや漠然とした表現で一応の理解をさせ、それをさらに詳しく説明するために用いることも多い。

## セグメント 2 人を紹介する —訪問先の応接室で—

【場面①】東京貿易の応接室。中村、鈴木を連れて田中を訪ね、紹介する。鈴木は、田中と出身大学が同じで、大学の先生の話などが出た後、中村は、田中に池田製作所への紹介を依頼する。

### 登場人物

中村 弘 (港商事機械部営業課主任。田中には、以前から取り引き上で世話になっている)  
 鈴木幸男 (港商事の新入社員。中村の直属の部下。田中と同じ大学、同じ学部の出身。田中とは初対面)  
 田中武彦 (東京貿易部長。池田製作所の製造部長・岸本智明とは、高校からの友人)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
	(中村、コーヒーを飲む。手はテーブルの上。鈴木、ネクタイを直す。手をテーブルの下に。 中村、両手の指を組む。ノックの音。ドアが開いて、田中が入ってくる)	
00' 10"	田中 (会釈する) 001 やあ、お待ちせしました。	D02.1
	(中村、鈴木、立ち上がる。中村、鈴木の間の床に紙袋)	
	中村 002 先日は、どうもありがとうございました。(頭を下げる。鈴木、一緒に頭を下げる)	D03.1
	田中 003 いやいや、こちらこそ。(頭を下げる)	
00' 18"	中村 (鈴木を手で指す) 004 こちらこんど入社した鈴木です。 (田中、鈴木を見る)	T04 (連 ↓ れを ↓ 紹介 ↓ する)
	鈴木 (胸ポケットから名刺を出し、両手でさし出す) 005 はじめまして。	D02.1 ↓
	006 鈴木幸男と申します。	D02.2 ↓
	田中 (両手で名刺を受け取り、左手に持ちかえ、右手で内ポケットから自分の名刺を出して鈴木にさし出す) 007 はじめまして。	D02.1 ↓
	008 田中です。	D02.2 ↓
	鈴木 (頭を下げながら両手で名刺を受け取り、見る) 009 よろしくお願ひいたします。(頭を下げる)	D02.1 ↓
	田中 (会釈する) 010 こちらこそよろしく。(手でいすの方を指す) 011 さあ、どうぞ。	D02.1 ↓
	(中村、鈴木、座る。田中、名刺をテーブルの上に置きながら座る)	
00' 40"	中村 (鈴木の方を見てから田中に) 012 鈴木は、田中さんと同じ東上大学の卒業です。(鈴木、田中を見てうなづく)	→ (出身大 ↓ 学が同じ ↓ であるこ ↓ と)
	田中 (両手を膝の上で組んでいる。鈴木に) 013 そうですか。014 学部は?	↓
	鈴木 (両手はひざの上) 015 あっ、経済学部です。	↓
	田中 016 ほう、経済学部ですか。017 ぼくも経済学部ですよ。	↓
	018 佐藤先生はまだおられますか。	→ (共通に ↓ 知ってい ↓ る先生の ↓ こと)
	鈴木 (うなづく) 019 はい。020 今、主任教授をなさっています。	↓
	田中 021 ああ、そうですか。(感慨深げな口調) 022 先生は、お元気ですか。	↓
	鈴木 023 はい、とてもお元気です。024 わたくしは、四年生の時に佐藤先生のゼミをとりました。	↓
	田中 025 そうですか。026 ぼくが学生のころは、佐藤先生は講師で、われわれ学生の相談相手になっていただいたんですよ。 (懐かしそうな口調。視線下に) 027 われわれ学生には、とてもいい先生でした。(鈴木を見て) 028 そうですか。029 佐藤先生のゼミを……。030 ところで、社会人になって、どうですか。	↓
	鈴木 031 はあ、分からないことが多くて、とまどっております。	→ (就職し ↓ ての様 ↓ 子)
	田中 (ほほえんで中村を見る) 032 中村さんのようないい先輩がいるから、勉強するには、とてもいいんじゃないですか。(鈴木も中村を見る。中村、目を伏せる)	↓

会社の応接室。ブラインドのおりた窓。壁の絵、ポスター。部屋の隅の台の上に電話機。中央に長円形のテーブル。テーブル中央に灰皿。コーヒーが中村と鈴木の前に出ている。ネクタイ、スーツ姿の営業社員の服装。三つ揃いスーツの管理職クラスの会社員。

	鈴木 033 はい、(中村を見る) いろいろ教えてもらっております。(中村、鈴木を見る)		↓	
	田中 (うなずいて) 034 まっ、がんばってください。		TC5	
	鈴木 035 どうもありがとうございます。(頭を下げる)		TC5	
	(田中、中村の方を見る)			
01' 47"	中村 036 実は、本日、伺いましたのは……、先日の田中さんのお話にありました池田製作所の件なんです……。 (田中、うなずく) 037 さっそくで恐縮ですが、できましたら、どなたか適当な方を御紹介いただけないかと思ひまして……。	T04 (他社への紹介を依頼する)	↓	
	田中 (うなずいて) 038 ああ、けっこうですよ。039 先方の、あの、(ちょっと脇を見る) 池田製作所の方にぼくの友人で製造部長をしている岸本というのがいます。(中村、うなずく)	↓	↓	
	040 ぼくとは大学は違うんですが、高校のころからの友達なんです。(中村、うなずく) 041 その人を御紹介しましょう。	↓	TC2.2	
	042 そうですね……。 (ちょっと脇を見て考える) 043 今、電話してみましようか。	↓	TC4.2	
	中村 044 そうですか。(頭を下げる) 045 すみません。046 よろしく願ひします。	↓	TC3	
02' 28"	田中 047 それでは、ちょっと待ってくださいよ。(右の内ポケットから手帳を取り出し、開いて見る)	↓	TC4.1	DC4
				手帳。

## 名刺

社会人は普通、名刺を持ち、仕事上で知り合った人とは、初対面の時、互いに名刺を交換するのが一般的である。名刺は、多くは紙のカードで、大きさはたて 9cm、横 5.5cmくらいが普通だが、女性はやや小さいものを使うこともある。氏名のほか、勤務先と所在地、電話・ファックスの番号、所属部署、役職名などを印刷してあることが多い。その他、写真を入れたもの、会社のマークを入れたものなど、さまざまな工夫をこらしたものが使われている。

## 初対面のあいさつと名刺

仕事の上などで初対面の相手と交わすあいさつでは、名刺が大きな役割を果たす。最も普通のやり方としては、まず、座っていれば立ち上がり、下の立場の者が先に、所属する会社などの名前と自分の名前をいながら名刺を両手で差し出す。名刺は、相手から読める方向に向けて出すのが礼儀である。目上の相手から名刺を受け取る時は、両手で受け取るのが丁寧だが、互いに片手で差し出し、片手で受け取ることも多い。名刺を受け取ったら、必ず印刷された内容を見て、その後は、話が終わるまでテーブルの上に置いておくやり方と、すぐに名刺入れや胸ポケットにしまうやり方とがある。いずれにしても、名刺は、その人自身と同じだから、決して粗末に扱わないことが大切で、汚したり、他の資料の下に敷いたりしてはいけないし、しまう時も、ズボンのポケット等には決して入れてはいけない。

## 表現

「本日うかがいましたのは～の件なんです」(seg.02①-036)「今日お電話したのは～」 「～のことですが」など、バリエーションはいろいろと考えられるが、ある話題を初めて提示して相手に聞いてもらうための表現で、比較的あらたまった場面や、重要な話題を切り出す場面で用いられる。

「さっそくで恐縮ですが」(seg.02①-037)バリエーションとして「すみませんが」「おそれ入りますが」などもあり、下の立場の者が話題を切りだそうとする時、特に、依頼やわびなど、負い目のある内容を切りだす時の表現である。

【場面②】東京貿易の応接室。田中が池田製作所の岸本に電話をかけ、中村を紹介する。

## 登場人物

田中武彦 (東京貿易部長。中村の取り引き先の客。岸本とは高校からの友人)  
 中村 弘 (港商事機械部営業課主任。鈴木を連れ、田中を訪ねてきて、池田製作所への紹介を依頼した)  
 鈴木幸男 (港商事の新入社員。中村の直属の部下)  
 岸本智明 (電話の相手だが、登場はしない。池田製作所製造部長)

時 間	発話者・文番号・発話内容（非言語行動）	談話構造（話題）	
	(田中, 立ち上がり, 部屋の隅へ行って手帳を電話台に置き, 電話をかける。受話器を左手に持ち, 体を客の方に向け, 右手をズボンのポケットに入れる)		プッシュ式電話機。
02' 45"	田中 048 あっ, もしもし, 製造部長の岸さんいらっしゃいますか。 田中 049 ……あっ, わたくし, 岸本さんの友人の田中です。 田中 050 ……あっ, 田中です。 051 あっ, この間は, どうも。 田中 052 ……うん, あっ, そうか。(笑う) 053 ああ, 実はねー, きょうは, 君にちょっと紹介したい人がいてね。 田中 054 ……うーん, 機械の部品, 特にセンサーなんだが, その輸入と販売をやっている会社の方なんだよ。 田中 055 ……うん, 港商事というんだ。056 君のところにも何かと役立つんじゃないかと思って。 田中 057 ……そうか。(うなづく) 058 それじゃあ, よろしく頼むよ。 059 うん, 会う日取りは……, ちょっと待ってくれよ。 田中(受話器を右手で押さえ, 中村に) 060 いつごろがいいですか。 (中村, 手帳を取り出し, 開いて見る。鈴木, のぞき込む。中村, 田中を見る。鈴木も一緒に見る)	D01.2 T03.2 (相手を呼 ↓ んでもらう) ↓ D02.2 D03.1 T01.2 (人を紹 介する) ↓ ↓ ↓ ↓ TC4.2 ↓ T04 (会う日を T04 決める) ↓ ↓ (都合を尋 る) ↓ ↓ ↓ ↓ → (代わりの案を 出す) ↓ ↓ ↓ ↓ TC1.1 DC2.3 DC1.3]	手帳。
	中村 061 来週は, いかがでしょうか。 田中(電話に) 062 来週は, どうか。 田中 063 ……うん, 前半はだめ。(ズボンのポケットに右手を入れる) 田中 064 ……ああ, そうか。 田中 065 ……それじゃあ, 直接, 君のところへ電話してもらいようにしようか。 田中 066 うん, ……水曜日ね。(うなづく) 067 うん, 分かった。 068 機械部の中村さんだ。 069 それじゃ, よろしく。 070 じゃあ, また。(電話を切る)		

【場面③】東京貿易の応接室。中村と鈴木, 田中に紹介の札を言い, 手みやげを渡し, 帰る。

#### 登場人物

中村 弘 (港商事機械部営業課主任。田中には, 以前から取り引き上で世話になっている)  
鈴木幸男 (港商事の新入社員。中村の直属の部下)  
田中武彦 (東京貿易部長)

時 間	発話者・文番号・発話内容（非言語行動）	談話構造（話題）	
	(田中, 電話を終わり, 開いたままの手帳を持ってテーブルに戻る。中村, 鈴木, 立ち上がり, 頭を下げる)		
03' 58"	中村 071 どうもありがとうございました。 田中(座りながら) 072 やっ, お開きのとおりです。(中村, 鈴木, 座る) 073 来週の水曜日に電話してください。(手帳を見ながら) 074 電話番号は624の5758です。 中村 075 はい, 分かりました。(手帳に電話番号をメモする) 076 製造部の岸本部長ですね。	D04 D04 T04 (電話する よう指示 する) ↓ ↓ ↓	手帳。 手帳。

	田中 (うなずく) 077 そうです。	↓	
	中村 (メモする) 078 では、そのようにいたします。(手帳を左の内ポケットにしまう)	TC4.2	
04' 17"	079 それでは、お忙しいようですから、これで失礼いたします。(下に置いてある紙袋の方へ目をやり、持ち上げる) 080 あっ、それから、これ、ほんのつまらないものですが。(袋のままテーブル越しに渡そうとする)	↓	紙袋に入った手みやげ。
	田中 (ひざで両手の指を組んだまま受け取らず) 081 あっ、いやいや、そんな気を使っていただかなくても。	DC1.1	
	中村 082 いや、ほんの気持ちですから。(なお渡そうとする)	TO4 (手みやげを渡す)	
	田中 083 そうですか。084 それじゃあ、遠慮なくいただきます。085 どうも。(軽く頭を下げながら手みやげを受け取り、脇のいすに置く)	↓	
04' 34"	中村 086 それでは、これで失礼します。(会釈する)	↓	
	田中 087 あっ。	TC2.2	
	(三人、立ち上がる。中村、鈴木、いすをテーブルの下に入れる)	↓	
	中村 088 どうもありがとうございました。(頭を下げる。田中も頭を下げる)	DC1.3	
	鈴木 089 失礼いたします。(頭を下げる)	DC1.2	
	田中 090 失礼します。(頭を下げる)	DC1.3	
	091 さあ。	DC1.3	
	(中村、鈴木を促す。田中、先に立ってドアを開けて出る。中村、鈴木、順で後に続く。鈴木、ドアを閉める)	DC3.1	
04' 56"	(クレジット)		

## 手土産

個人的な用事で人を訪問する時、何か手土産を持って行く習慣がある。ビジネス等での訪問の場合は、いつも持つて行くわけではないが、何かを頼んだり謝ったりするとき、あるいは、仕事が始まったり終わったりする時などは、持つて行くことがよくある。これは、あいさつの一部といった意味だから、必ずしも、難しいことを頼むから高価な物を持つて行くというわけではない。中身は、きれいに包装され箱に詰められた菓子の類が多い。手土産は、はじめに席に着いた時に出すのが最も普通で、帰ろうとする時に出すこともある。その時、「つまらないものですが」「ほんの気持ちですが」等の謙遜のことばを言うのが普通である。手土産を持たずに訪問することは、「手ぶら」と言い、手ぶらで訪問することは本当は失礼なことと考える人も多いようである。

## 表現

「お聞きのとおりです」(seg.02③-072) それまでコミュニケーションに参加していなかったが、それまでの話を聞いていて状況がわかっている人を相手にコミュニケーションを始める時によく用いられる。

相手が、それまでの事情によく配慮してくれることを期待する気持ちを含むことが多い。

「気を使う」(seg.02③-081) その人の感情を傷つけないように配慮して行動すること。必要以上に遠慮したり、必要の無いことをしてあげたりする意味を含むこともある。

「遠慮なく〜」(seg.02③-084) 自分が何かをする前に言う場合、これからしようとする事が、本当は控えるべきことである、との意味を表す。相手の好意を受け入れたり、自分だけが利益を得たりするときに、回りの人への配慮として口にする事が多い。

### セグメント 3 友人に出会う —喫茶店で—

【場面①】 昼休み、会社近くの喫茶店で、鈴木が同期の新入社員・福田と話している。

## 登場人物

鈴木幸男	(男性、港商事機械部営業課の新入社員、福田とは同期入社と同僚)
福田春子	(女性、港商事機械部営業課の新入社員、鈴木と同僚)
中村 弘	(港商事機械部営業課主任、鈴木の直属の上司、話題に出るが、登場はしない)
課長	(港商事機械部営業課の課長、話題に出るが、登場はしない)

時間	発話者・文番号・発話内容（非言語行動）	談話構造（話題）
	（鈴木、福田、カウンターテーブルの角に隣りあって座り、コーヒーを飲んでいる。他にも相席の客）	カウンター テーブルを 置く喫茶店 が多くなっ た。人数の 多いグルー プが使った り、連れめ のいない客 が相席でか けたりする。 鉢植えの観 葉植物、ピ ンク電話ほ か、喫茶店 のインテリア。 テーブルの 上に、砂糖 入れ、灰皿、 コーヒーカ ップ、等。
00' 03"	福田 001 会社まわりの仕事って、大変でしょう。 鈴木 002 うん、だいぶ慣れてきたけど、（福田、うなずく）初めのうちは、あいさつとか、名刺を配るだけでね……。 福田（うなずく）003 中村さんが言ってましたよ、初めてのころは、いろいろ神経を使うことが多いからって。 鈴木（宙を見て）004 うん、初めのうちは、何を言ったらいいかわからないし、（テーブルの上を見る）言葉使いも学生のころと違うんで、あいさつもうまくいなくてね。（福田を見る） 福田 005 そうね。（テーブルの上を見る）006 わたしなんかも、つい、学生のころの言葉が出てしまうわ。（鈴木を見る） 鈴木 007 あっ、福田さんでも、そうかな。 福田（うなずく）008 この間も、「あたし」って、課長の前で言ってる、変な顔されちゃったわ。 鈴木（笑う）009 課長はなかなか神経が細かいし、（首をかきあげ、前の方を見る。福田、うなずく）言葉にはうるさいからね。 福田（手を膝に置き、急にあらたまる）010 わたくしどもには、とてもよい勉強になると存じます。 鈴木（笑う）011 でも、慣れないうちはねー。 福田（鈴木のことをさへぎって）012 習うより慣れろ、ということでございましょうね。	T04（仕事のこと ↓を話し合う） ↓ ↓ ↓ →（あいさつの ↓しかた） ↓ →（ことばづか ↓い） ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ TC1.1 ↓
	（二人、笑う）	

## 喫茶店

喫茶店は、コーヒー、紅茶、ジュースなどの飲み物を出す店だが、その他にアイスクリーム等を出す店、トーストやサンドイッチ、スパゲッティやカレーライスなどの軽食を出す店もある。夜になると酒類を出す店もある。喫茶店は、ほとんどどこの町にもあり、人との待ち合わせや商談などに手軽に使える場所として親しまれている。

## 表現

「～にうるさい」(seg.03①-009) そのものについて、良いものを求める気持ちが特に強く、他人にもそれを強く求めること。「ことばにうるさい人」とは、適切なことばづかいをするように、いつも繰り返し教えたり注意したりする人物である。「味にうるさい」「音楽にはちょっとうるさい」のように使う。

「習うより慣れろ／慣れよ」(seg.03①-012) ことわざ。理屈を説明されて理解するより、実際にやってみた方が早くよくわかる，といった意味。

【場面②】昼休み、会社近くの喫茶店で、鈴木が同僚の福田と話していると、鈴木大学の友人・小山が入ってくる。

# 登場人物

鈴木幸男 (男性、港商事機械部営業課の新入社員、福田とは同期入社と同僚、小山とは大学での友人)  
 小山一郎 (男性、城北銀行調査部の新入社員、鈴木とは大学での友人)  
 福田春子 (女性、港商事機械部営業課の新入社員、鈴木の同僚)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
(鈴木、福田、カウンターテーブルに並んで座り、コーヒーを飲んでいる)		
00' 54"	ウェイトレス (声のみ) 013 いらっしゃいませ。 (鈴木の友人、小山が入ってくる。鈴木、顔を上げ、うしろ姿を見て、声をかける)	D01.1
	鈴木 014 おい、小山。 小山 (振り向き、鈴木と知ってほえむ) 015 やあ。016 ひさしぶりだな。(鈴木に近づく)	D01.1 D02.1
	鈴木 017 お前、元気そうじゃないか。 小山 018 ああ。(うなづく)	D03.2
	鈴木 019 まあ、座れよ。 小山 (少し小さな声で) 020 いいのか。	T05 (同席を勧める) ↓
	鈴木 021 あっ、そうだ。(福田に) 022 かまいませんか。 福田 (右手で小山に促す) 023 ええ、どうぞ。(鈴木に) 024 じゃ、わたくし、失礼します。(小山、座る)	T05 (同席の許可) TC2.2 を得る DC1.1
	鈴木 025 あっ、いやいや、もし、よかったら、いっしょにどうですか。 (手で小山を指す) 026 こちら、ぼくの大学時代の友達の小山です。	T05 (同席を勧める) ↓
	小山 (頭を下げる) 027 あっ、どうも。028 小山です。 福田 (頭を下げる) 029 わたくし、鈴木さんと同じ会社の福田です。	T04 (友人を紹介する) ↓
	鈴木 030 福田さんも、新入社員だね。 小山 (うなづく) 031 そうですか。(福田、うなづく)	↓ D02.2 ↓ D02.2 ↓ ↓ ↓
(ウェイトレス、盆を持ってテーブルにやってくる。鈴木、コーヒーを飲む)		
01' 31"	ウェイトレス 032 何になさいますか。 小山 033 えーと、コーヒーください。 ウェイトレス 034 アイスですか、ホットですか。 小山 035 ホット。 ウェイトレス 036 ホットでございますね。(小山、うなづく)	T04 (注文を取る) ↓ ↓ TC2.1 TC1.1
(ウェイトレス、去る)		
01' 41"	鈴木 (福田に) 037 小山は、城北銀行に就職したんですよ。 福田 038 あら、そうですか。(小山に) 039 わたくしの友達にも銀行に入った人がいるんですけど、仕事が大変だそうですね。 小山 040 直接、お金を扱う部署は大変らしいんですけど、ぼくは調査部ですから、なんとなく、大学の延長のようなところがあって、気楽にやっています。 鈴木 (小山に) 041 残業なんか多いのかい？ 小山 (鈴木に) 042 いやあ、あまりないな。 鈴木 043 うーん。(うなづく)	↓ → (銀行の仕事について) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
(ウェイトレス、盆に乗せてコーヒーを持ってくる)		
02' 08"	ウェイトレス 044 お待たせいたしました。(コーヒーを置いて去る)	↓
02' 14"	鈴木 (小山に) 045 で、今、何やってんの？ 小山 (砂糖を入れながら) 046 為替の方だよ。 鈴木 047 ほうー。 福田 (小山に) 048 為替のお仕事は、大変でしょうね。 小山 049 ぼくのところは、そうでもないですよ。(話の切れ目ごとにテーブルの上で両手のひらを動かす) 050 コンピュータから出てきたデータをいくつか組み合わせて、またコンピュータに入れたり、その報告書を作ったり、まあ、実際の判断は上	T04 (仕事の内容を尋ねる) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓

エプロンをかけたウェイトレス。



	の方がするわけで、その資料作りですよ。(コーヒーをかき回す)	↓		
	鈴木 (少し背筋を伸ばし、ひじを張って少し乗り出す) 051 はあ	↓	→ (自分と比べて	
	一、毎日、出歩いているおれの方とは、だいぶ違うな。	↓	の感想)	
	小山 052 でもね、一日中、部屋の中にとると、外を飛びまわっ	↓		
	ている人がうらやましいよ。(コーヒーを飲む)	↓		
	鈴木 053 そうかな……。 (小山の方へ少し前かがみになり)	↓		
	054 お前なんか、お客さん相手の仕事はつとまらないぜ。	↓		
	小山 055 それもそうだ。(二人、笑う)	↓		
	福田 (二人に) 056 どちらにしても大変ですね。	↓		
	鈴木 (うなずきながら、福田に) 057 まっ、仕事だから。	↓	TC3	
02' 58"	(そでを少し上げて時計を見る) 058 あっ、そろそろ戻らなき			DC3.1
	ゃ。(小山に) 059 午後から、ちょっとお得意さんのところへ			
	行く約束があるんだ。(小山、うなずく)			
	小山 060 じゃ、またそのうちに。			DC3.2
	鈴木 061 うん。(酒を飲む手振り) 062 そのうちに一杯やろう		T04 (飲みに行	
	か。		くことの	
	小山 063 そうだな。		TC2.2 提案)	
	鈴木 064 うん。	↓		
	(福田を促す) 065 じゃ。			DC3.1
	福田 066 えっ。			
(3人、	レジのところへ来て、お金を払う)			
03' 18"	小山 067 コーヒーね。		T04 (代金を	レジスター
	福田 068 どうも。	↓	払う)	のある小さ
	ウェイトレス 069 はい。	↓		なカウンタ
	鈴木 070 ごちそうさま。	↓		ー。
	ウェイトレス 071 ありがとうございました。	↓		
(福田、	鈴木、小山、喫茶店の外へ出る。路上で)			DC1.2
03' 30"	福田 (小山に) 072 それでは、失礼します。(頭を下げる)			
	小山 073 失礼します。(軽く頭を下げる)			DC1.3
	鈴木 074 そのうち連絡するよ。			DC1.3
	小山 075 うん、じゃあ。(右手をあげる)			DC3.2
	鈴木 076 それじゃ。(右手をあげる)			DC1.3
(鈴木、	福田、画面左手、小山、画面右手へ去る)			
03' 41"	(クレジット)			

レジスター  
のある小さ  
なカウンタ  
ー。

喫茶店前の  
路上の置き  
看板。

## 表現

「よかったら〜」(seg.03②-025, seg.09①-036, seg.20②-014) 相手に何かをするように勧めたり、自分が相手のために何かをしようと申し出るときに、「無理じいではなく、あなたがお望みなら」といった感じをこめるために用いられる。

「〜(のような)ところがある」(seg.03②-040, seg.14④-078) 人やものごとについて論評するとき、はっきりと表現することを避けるために用いられる言い方のひとつ。

「つとまらない」(seg.03②-054) そのことに向いていなくて、うまくやることができない、または、長くはやっていられない、といった意味。

## セグメント 4 面会の約束をする —電話で—

【場面①】 港商事機械部営業課の室内。中村が、先に田中から紹介された岸本に電話をかけ、面会の約束をする。

### 登場人物

中村 弘 (港商事機械部営業課主任。親しい得意客田中からその高校からの友人・岸本を紹介された)  
岸本智明 (池田製作所機械部部长。田中から中村を紹介された。電話の相手で、登場はしない)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
(社員それぞれ、仕事をしている。中村、電話をかけている。隣の席で、鈴木、仕事をしている)		
00' 03"	<p>中村 001 岸本部長でいらっしゃいますか。 中村 002 ……初めてお電話いたします。003 港商事の中村と申します。 004 大変恐縮ですが、実は、先日、東京貿易の田中さんに御紹介いただきまして……。 中村 005 それで、本日、お電話をさしあげて、お目にかかる日を決めることになっておりましたので。 中村 006 ……ああ、きょうがよろしいですか。 中村 007 ……では、午後2時半では、いかがでしょうか。 中村 008 ……あつ、そうですか。009 お忙しいところ、誠に恐れ入りますが。010 わたくしと、わたくしの課の鈴木がそちらに伺います。 011 では、後ほど。 012 ごめんくださいませ。</p>	<p>[D01.2 D02.2 T03.1 (面会の約束をする) ↓ ↓ ↓ ↓ TC3 TC4.2 ↓ DC3.2 DC1.3]</p>

営業課のオフィス。奥にブラインドのある窓。窓のそばにこちらを向いた課長の席。並んだ事務机。机の上の電話機。部屋の隅の観葉植物。壁面全体が収納家具。上着を脱いでいすの背にかけた中村。

【場面②】 港商事機械部営業課の室内。中村、電話を終わり、鈴木に池田製作所訪問についての指示を与える。

### 登場人物

中村 弘 (男性。港商事機械部営業課主任。鈴木直属の上司)  
鈴木幸男 (男性。港商事機械部営業課の新入社員。中村の部下)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
00' 43"	<p>中村 (隣の席の鈴木に向きなおし、右手を机の上にのぼす) 013 ああ、鈴木君。 鈴木 014 はいっ。 中村 015 先日、田中さんに御紹介いただいた池田製作所の岸本さんだがね、2時半にお目にかかることになったよ。 鈴木 016 はい、分かりました。 017 それで、あのう、何を用意しましょうか。 中村 018 ひとまず、会社の概要と製品のカatalogを用意してくれ。 鈴木 019 はいっ。(うなづく) 中村 020 ああ、それから、道順を調べておいてくれないか。 鈴木 021 はい。 022 ……あのう、先方の電話番号を教えてくださいませ。 中村 023 ああ。(電話番号を書いたメモ用紙を渡す) 024 はいっ。</p>	<p>[D01.2 D01.1 T04 (面会の約束を伝える) ↓ T04 (用意する物を探ねる) ↓ ↓ T04 (道順を調べるよう指示する) ↓ ↓ ↓</p>

メモ。

【場面③】港商事機械部営業課の室内。中村から指示を受けて、鈴木が資料を用意し、池田製作所に電話をして道順を尋ねる。

登場人物

鈴木幸男 (男性。港商事機械部営業課の新入社員)  
電話の声 (池田製作所の女性職員)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
	(鈴木、資料をそろえるために立ち上がって、壁面のロッカーのところへ行く。引き出しを開け、パンフレットを出す。自分の席に戻って、資料を机の引き出しから出した封筒にしまい、電話番号を書いたメモ用紙を前に置いて、電話をする)	
01' 56"	電話の声 (女性) 025 はい、こちら、池田製作所でございます。	D02.2
	鈴木 026 あっ、あのう、そちらに伺う場合ですね、道順を教えてくださいませんか。	T04 (道順を尋ねる)
	声 027 お車でしょか。	↓
	鈴木 028 いえ、電車でいきたいんですが……。	↓
	声 029 電車でしたら、地下鉄を御利用いただきまして、(鈴木、左手に受話器を持ち、右手のボールペンでレポート用紙にメモを取る) 都営浅草線の江戸橋か、東西線の日本橋で降りていただきます。030 江戸橋と日本橋は、地下道でつながっておりますので、日本橋寄りではなく、江戸橋寄りのAの4の出口から地上に出てください。	↓
	鈴木 031 Aの4の出口ですね。	↓
	声 032 はい、さようでございます。033 地上に出まして、そのまままっすぐいっちゃいますと、大きな十字路に出ます。	↓
	034 そこをまっすぐいっちゃいますと、橋があります。035 上は高速道路が走っています。036 橋を渡りますと、ふたたび大きな十字路がありますので、そこを渡りまして、右へ曲がります。037 そこから三本めの通りを左に曲がりまして、四つ目の通りの右角に小倉ビルというビルがございます。038 その三階が当社の受付になっております。	↓
	鈴木 039 あのう、ビルの名前をもう一度お願いします。	→ (ビルの名前を尋ねる)
	声 040 小倉ビルでございます。	↓
	鈴木 041 はい。(うなづく)	↓
	042 それから、そちらの住所を……。	→ (住所を尋ねる)
	声 043 たいへん失礼いたしました。044 中央区日本橋小舟町6の6でございます。	↓
	鈴木 045 どうもありがとうございました。(軽く頭を下げる)	TC5 DC1.2
	声 046 よろしく願い致します。	DC2.2
	(鈴木、軽くうなずいて電話を切る)	

ウォールユニットにしまわれたカタログ類。ダイヤル式の電話機。

【場面④】鈴木、電話できいた道順に従って地図をかく。

登場人物

鈴木幸男 (港商事機械部営業課の新入社員。手元だけ)  
電話の声 (池田製作所の女性職員)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
	(鈴木、電話で取ったメモに合わせて、手書きの地図をかく。完成した地図を確認する手元に あわせて、電話の声が重なる)	
03' 56"	電話の声 (女性) 047 電車でしたら、地下鉄を御利用いただきま して、都営浅草線の江戸橋か、東西線の日本橋で降りていただ きます。048 江戸橋と日本橋は、地下道でつながっております ので、日本橋寄りではなく、江戸橋寄りのAの4の出口から地 上に出ていただきます。049 地上に出まして、そのまま真っ ぐいらっしゃいますと、大きな十字路に出ます。050 そこをま っすぐいらっしゃいますと、橋があります。051 上は高速道路 が走っています。052 橋を渡りますと、ふたたび大きな十字路 がありますので、そこを渡りまして、右へ曲がります。053 そ こから三本めの通りを左に曲がりまして、四つ目の通りの右角 に小倉ビルというビルがございます。054 その三階が当社の受 付になっております。	↓ (道順を説明 する) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
(画面、 04' 58"	オフィスで執務する課員たち) (クレジット)	

手書きの地  
図をボール  
ペンでなぞ  
る。

# セグメント 5 道をきく —交番で—

【場面①】中村と鈴木、地下鉄東西線日本橋駅の地下道から、地上に出て、日本橋付近へ来るが、道がわからなくなる。

## 登場人物

中村 弘 (男性、港商事機械部営業課主任、鈴木直属の上司)  
鈴木幸男 (男性、港商事機械部営業課の新入社員、中村の部下)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)	地下鉄駅の地下道。出口の表示板。階段。地上の地下鉄入り口と営団地下鉄のマーク。ビル街。ビルの前の歩道。行きかうビジネスマン風の男性たち。路上駐車。車の遠く。の高速道路を走る車。歩行者用信号。街路樹の柳。止めてあるバイク。歩道を走る自転車。飲み屋のちょうちん。歩道の柵。行きかう車。
00' 03"	(中村、鈴木、地下道を歩いてくる。鈴木、Aの4の出口を見付ける) 鈴木 (左手で指す) 001 中村さん、こちらの出口です。 中村 (うなずく) 002 あっ、そうか。	T04 (出口を ↓ 探す)	
00' 17"	(二人、階段をのぼり、通りに入る。出口からは、歩道が左右にのびている) 鈴木 (左右を見ながら) 003 えーと、まっすぐっていうと……。 004 まっすぐと言ったんだね。 鈴木 005 はい。(手で中村に待つように合図)	T05 (道を探す) ↓ ↓	
	(鈴木、辺りを見回しながら、出口の近くの右へ曲がる角まで行く) 鈴木 (手で指して) 006 あっ、こっちじゃないでしょうか。 007 向こうに橋と高速道路が見えます。 中村 008 うーん。 鈴木 009 はいっ。	↓ ↓ ↓ ↓	
00' 59"	(二人、そちらへ向かって歩き、橋を渡り、次の比較的大きな十字路を右に曲がる) 中村 010 おい、ちょっとおかしいぞ。 鈴木 011 はあ。 中村 (手で指す) 012 あれが三越だし、そこは日本橋だろう。 鈴木 013 ええ。(クラッチバッグから取り出した手書きの地図と見くらべながら) 014 そうですねえ。(中村、地図をのぞきこむ) 015 変ですね。	T04 (道が違うこ ↓ とを伝える) ↓ ↓ ↓ ↓	
	(二人、また歩きだす。鈴木、ふり返って後ろを指さし、また前を向いて歩く。大きな交差点へ来る) 鈴木 (首をかしげる) 016 おかしいなあ。	↓	
01' 30"	(二人、日本橋付近に来る) 鈴木 (あたりをきょろきょろと見回す) 017 やあー。 018 困ったなあ。 中村 019 うーん、違うなあ。 鈴木 (うなずく) 020 ええ。	↓ ↓ ↓ ↓	

【場面②】中村と鈴木、日本橋付近へ来るが、道がわからなくなって、通行人に尋ね、交番を教えられる。

## 登場人物

中村 弘 (男性、港商事機械部営業課主任、鈴木直属の上司)  
鈴木幸男 (男性、港商事機械部営業課の新入社員、中村の部下)  
通行人 (男性、日本橋を渡ってくる)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)	高架の高速道路。日本橋の銘板。幅の広い車道。
01' 42"	(中村、鈴木、道に迷っている。鈴木、橋をわたってくる男性を見て、近づく) 鈴木 (会釈して) 021 すみません。 022 あのう、日本橋小舟町というのをご存じありませんか。 通行人 (首をかしげて) 023 さあ、ちょっとわかりませんね。 024 ああ、(ふり返り、橋の向こうの交番を指さして) あそこに交番があるから、あそこで聞かれたら……。 025 はい、どうもありがとうございました。(頭を下げる) (鈴木、中村をうながし、二人、歩きだす)	D01.2 T04 (道を尋ね ↓ る) TC4.2 ↓ DC1.2	

【場面③】日本橋付近の交番。中村と鈴木、道をききにくる。

登場人物

中村 弘 (男性、港商事機械部営業課主任、鈴木の直属の上司)  
鈴木幸男 (男性、港商事機械部営業課の新入社員、中村の部下)  
警官 (男性)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)	交番、警察のマーク、赤い電灯、標語を書いた垂れ幕、立てかけてあるジュラルミンの盾、置いてある自転車、前に立っている警官、制服、制帽、ベルトの拳銃、警棒、案内板の大きな地図。
02' 07"	(警官が立っている。中村、鈴木、道をききにくる) 鈴木 (会釈する。警官、敬礼する) 026 すみません、あのう、日本橋小舟町6の6、小倉ビルへは、どう行ったらいいんでしょうか。(地図を見せる) 警官 027 日本橋小舟町? (地図を受け取る) 鈴木 (地図を見ながら) 028 ええ。 警官 (地図をのぞきこんで) 029 この地図のとおりでしょう。 鈴木 030 えっ。(警官を見る) 031 はっ。(中村を振り返る)	D01.2 T04 (道を尋ねる) ↓ ↓ ↓ TC2.1 ↓	
02' 24"	(警官、交番のそばにある案内板のところへ行く。鈴木、中村、あとに続く) 警官 (案内板を指す) 032 えー、今、ここにいるんですよ。(鈴木、うなずく) 033 で、この橋を渡って、この十字路を右へ曲がって、二百メートルぐらい行くと、(鈴木、うなずく)上に高速道路が通った広い通りにぶつかるから、その通りを渡ると、(手元の地図を指して見せながら)この地図のここになるんですよ。034 あとは、地図のとおり。(地図を鈴木に返す)	T04 (道を説明する) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	
02' 43"	鈴木 035 ……。 (けげんな顔) 警官 036 あーっ、地下鉄の日本橋で降りたんでしょう。 鈴木 (うなずく) 037 ええ、地下鉄の日本橋で降りて、Aの4の出口を出たんです。 警官 038 江戸橋で降りると、この地図のとおり。(地図を指す)	T03.2 (迷った理由を説明する) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	
(画面、駅の地下道の案内板に変わる)	警官 039 駅は地下道でつながってるけれども、両方の駅にAの1からAの4までの出口があるから。	↓	壁の出口表示板。
(再び、交番前の画面になる)	鈴木 040 あっ、そうですか。 041 どうもありがとうございました。(鈴木、中村、頭を下げる) 警官 (敬礼する) 042 いえ。	TC2.3 DC1.2	
(二人、日本橋を渡っていく)			古風な街灯、欄干の彫刻。

交番

町のところどころに「交番」が置かれて、警察官が常に勤務している。正式には「派出所」といい、仕事の内容は、町をパトロールしてその町の状況を常に知っておき、市民の生活上の問題を処理したり、事件や事故の時にできるだけ早くかけつけたりすることだが、市民の側からも、知らない町で道を聞いたり落とし物を拾った時に届けたりと、気軽に利用されている。

中村 弘 (男性、港商事機械部営業課主任、鈴木の直属の上司)  
鈴木幸男 (男性、港商事機械部営業課の新入社員、中村の部下)

— 24 —

セグメント 6 会社を訪問する —受付と応接室で—

【場面①】池田製作所の受付。中村と鈴木が訪ねてきて取り次ぎを頼み、応接室に通される。

登場人物

中村 弘 (男性、港商事機械部営業課主任、鈴木直属の上司)  
 鈴木幸男 (男性、港商事機械部営業課の新入社員、中村の部下)  
 池田製作所受付 (女性)  
 池田製作所事務員 (女性)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
	(中村と鈴木、廊下を歩き、受付に近づく。受付の女性、立ち上がる。中村、受付に声をかける)	
00' 10"	中村 (頭を下げる) 001 すみません。(鈴木、後で頭を下げる) 受付 (頭を下げる) 002 いらっしゃいませ。 中村 003 わたくし、港商事の中村ですが、岸本部長にお目にかかりたいのですが……。 受付 004 お約束でございますか。 中村 005 ええ、2時半のお約束をいただいております。 受付 (机の上の表を指さして見る) 006 大変失礼いたしました。 007 少々お待ちください。	D01.2 D02.1 D02.2 T03.1 (取り次ぎを頼む) (約束 T03.2 の有無を ↓ 尋ねる) ↓ DC4 ↓
	(受付、座って電話をかける)	
00' 27"	受付 008 岸本部長でいらっしゃいますか。 009 受付ですが、ただ今、港商事の中村様がお見えになってい ます。 受付 010 ……はい、(脇の表を見る) 第一応接室があいており ます。 受付 011 ……はい、かしこまりました。	D01.1 T03.1 (来客を告 げる) ↓ ↓ TC2.2 DC4
	(受付、電話を置いて立ち上がる)	
00' 43"	受付 012 大変お待たせいたしました。(手で示す) 013 こちら へどうぞ。(鈴木、頭を下げる)	D04 T04 (案内す る) ↓
	(受付、先に立って画面右手へ歩きだす。中村、鈴木、後に続く。応接室に入る)	
00' 52"	受付 (ふり向き、手でいすを指して) 014 すぐ参りますので、 少々、こちらでお待ちください。 中村 015 どうも。 鈴木 016 どうも。(軽く頭を下げる)	TC4.2 ↓ DC1.2 DC1.2
	(受付、礼をして去る。テーブルの奥から、中村、鈴木、順に座る。画面、カウ ンターにもどっている受付。再び、応接室の中村と鈴木)	
01' 08"	中村 (鈴木に) 017 資料を……。 鈴木 018 あっ、はい。(クラッチバッグから資料の入った封筒 を出し、テーブルに置く)	T04 (資料を出さ TC2.2 せる) ↓
	(女子事務員、お茶を盆にのせて応接室に入ってくる)	
01' 15"	女子事務員 (頭を下げる) 019 失礼いたします。 鈴木 (ふり向き、会釈する) 020 あっ、どうも。 女子事務員 (お茶を中村の前に置いて) 021 どうぞ。 中村 (会釈する) 022 あっ、どうも。 女子事務員 (お茶を鈴木の前に置いて) 023 どうぞ。 鈴木 (ふり向いて見る) 024 あっ。	D01.2 D01.1 T04 (茶を勧め る) ↓ ↓ ↓
	(女子事務員、目礼をして出ていく。中村、鈴木、会釈する)	

会社の受付。  
 カウンター  
 があり、電  
 話機や面会  
 予定表があ  
 る。わきに  
 は鉢植えの  
 植物。

応接室。鉢  
 植えの木。  
 テーブルに  
 灰皿。まわ  
 りにいす。

茶托に乗っ  
 た湯のみ。



【場面②】池田製作所の応接室。中村と鈴木が岸本に面会して商品の購入を検討するよう頼む。

登場人物

中村 弘 (男性。港商事機械部営業課主任。鈴木直属の上司。得意客・田中から岸本を紹介された)  
 鈴木幸男 (男性。港商事機械部営業課の新入社員。中村の部下)  
 岸本智明 (男性。池田製作所製造部部长。高校の友人・田中から中村を紹介された)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
	(岸本が入ってくる)	
01' 37"	岸本 (会釈する) 025 やっ、どうも、大変お待たせいたしました。(いちばん奥のいすの脇に立つ)	D01.1
	(中村、鈴木、立ち上がる)	
	中村 026 はじめまして。	
	027 わたくし、港商事の中村と申します。(胸ポケットから名刺を出し、両手でさし出す)	D02.2
	岸本 028 あっ、どうも。(右手で名刺を受け取り、左手に持ちかえ、右手で自分の名刺をさし出す) 029 さあ、どうぞ。	
	(鈴木、内ポケットから名刺を出し、両手でさし出す)	
	岸本 030 あっ、どうも。(右手で名刺を受け取り、左手に持ちかえ、右手で自分の名刺をさし出す) 031 さあ、どうぞ。	
	鈴木 (両手で名刺を受け取る) 032 はいっ、ちょうだいします。	
	岸本 033 さあ、どうぞ。(右手でいすを指す)	
	中村・鈴木 034 あっ、はいっ。(座る)	
01' 59"	中村 035 きょうは、お忙しいところを、お伺いしまして……。	T01.1
	岸本 (受け取った名刺を手にとって見ながら) 036 いやいや、先日、田中さんから電話をもらいましたよ。	T03.1 (紹介者について話す)
	中村 (うなずく) 037 はい、田中さんに、なんとかこちら様を御紹介いたしたいとお願ひいたしましたもので……。 (岸本、笑いながらうなずく) 038 田中さんとは、高校時代からのお友達と伺いました。	↓
	岸本 039 そうなんです。 040 高校のときからのつきあいですから、かれこれ、ざっと30年になりますかな。(笑って)	↓
	041 まっ、悪友ですな。(中村、笑いながらうなずく)	↓
	中村 042 田中さんには仕事の上でも、個人的にもいろいろお世話になっております。	↓
02' 32"	岸本 (うなずいて) 043 ほう。(名刺を内ポケットにしまう)	↓
	中村 (鈴木をふり向いて資料を受け取り、岸本に) 044 さっそくですが、わたくしどもの会社は、長年、繊維を中心に扱ってまいりました貿易会社でございます。(会社概要を両手で渡す)	T03.1 (会社のことを話す)
	岸本 (会社概要を見る) 045 ほう……。 046 創業60年ですか。	↓
	047 大変立派な会社ですね。	↓
	中村 048 いえ、まあ、なんとかやってきた会社ですが、数年前から、センサーの輸入と国内販売を始めております。	→ (会社の方針を説明する)
	岸本 049 ほう。(会社概要を閉じる) 050 センサーと言いますと……。	↓
	中村 051 はい、光学センサーが中心となっております。 052 ……このたび、アメリカのスミス&スミス社の代理店となりましたもので、機械部を新たに設けまして、そちらの方にも力を入れていく方針でございます。	↓
	岸本 053 ほうー。(うなずく)	↓
	中村 054 やはり、繊維だけでは、なかなか難しいものですから。	↓
	岸本 055 ふん……。 (うなずく)	↓
	中村 056 そこで、新しい部ができましたのを機会に、なんとかこちら様ともお取引引き願ひたいと思ひまして、ごあいさつに伺ったようないです。	↓
03' 21"	岸本 057 そうですか。 058 いやあ、ご承知のように、わたくし	→ (自社の事情

部屋の隅の  
台に電話機。

	どもの機械メーカーの業界も、技術革新が激しくて、(中村、うなずく)新しい製品を次々開発していかなければならないので、あー、製品開発には力を入れていますよ。	↓ を述べる)	
03' 48"	中村 059 そのように伺っております。060 こちらが、当社の扱っております製品カタログです。(カタログを岸本に渡す)	→ (商品の内容 ↓を説明する)	商品カタログ
	岸本 (カタログを開いて見る) 061 ほう、先程のお話のとおり、光学センサーが多いようですね。	↓	
	鈴木 062 はい、光学センサーでしたら、かなり広い範囲のものを扱っております。	↓	
	岸本 063 そうですか。(カタログを閉じる) 064 わが製作所としましても、大変興味がありますので、さっそく検討させていただきます。	↓ TC2.2	
	中村 065 それは、どうもありがとうございます。(中村、鈴木、頭を下げる) 066 よろしく願います。	↓ TC3	
	067 ……では、きょうはお忙しいところを、大変ありがとうございました。(封筒を岸本に渡す) 068 また、近々、お伺いさせていただきます。	↓ DC1.2 DC3.2	
	岸本 069 そう願えますか。070 よろしく。		
(岸本、	受け取った資料を持って立ち上がる。中村、鈴木、立ち上がり、いすを入れる)		
04' 23"	鈴木 (頭を下げる) 071 大変失礼いたしました。	↓ DC1.2	
	岸本 (軽く頭を下げる) 072 どうも。073 さっ。(二人を促して応接室を出る)	↓ DC1.1	
(鈴木、	中村を通してから後について応接室を出る。受付のあたりへ来る)		
04' 36"	中村 (岸本に追いついて) 074 ここでけっこうです。(受付、立ち上がる)	↓ DC4	
	岸本 075 では、ここで失礼します。	↓ DC1.1	
	中村・鈴木 076 よろしく願います。(頭を下げる。受付、頭を下げる)	↓ DC2.2	
	岸本 077 よろしく。(頭を下げる)	↓ DC2.2	
(中村、	鈴木、立ち去る。岸本、見送って去る。受付、座る)		
04' 53"	(クレジット)		

## 表現

- 「～もので……」(seg.06②-037, seg.16②-048) 本来は、後続くことがらに対する理由を表す形で、seg.06 ②-052やseg.09 ①-002のように用いるが、文末で言いさす形で用いると、何らかの事情に対する理由だけを述べ、相手がその後省略された結果を察してくれることを期待する表現になる。
- 「さっそくですが」(seg.06②-044) 13ページ「さっそくで恐縮ですが」と同様の働きをする。
- 「～と言いますと?」(seg.06②-050, seg.23④-076) 「～と言うと?」(seg.23①-011, seg.23②-036)
- 「～とおっしゃいますと?」「～と申しますと?」等のバリエーションがある。相手の言ったことば等の意味や、その発言の真意などを問い返すために用いられる。
- 「～に力を入れる」(seg.06②-052, seg.06②-058) そのことに対して特に努力を集中する。
- 「～ようないだいです」(seg.06②-056) バリエーションとして「～といういだいです」等がある。自分がすることの理由・事情や、ものごとの状況などを説明する時の表現として用いられる。
- 「ご承知のように～」(seg.06②-058) 相手も知っていて教える必要のないことがらに言及することを表す。相手がすでに知っているのにそれを教えようとすることは非常に失礼なことであるから、相手が知っていることは十分承知していて、決して教えようとするのではない、といった意味でこの表現を用いることが多い。実際には、相手が知らない可能性があっても、押しつけがましい印象を与えないために、この表現を用いることもある。また、相手がよく知っていることがらをあえて思い出させることによって、自分が述べることがらに対する共感や同情を引き出す意味もあり、ここではむしろそのような働きをしている。

## 2. ユニット 2 人に何かを頼むとき —依頼・要求・指示— (セグメント 7 ~ 12)

**ユニット2の概要** 人に何かをしてくれるよう頼むということは、ことばを使ってなされる行為の中でも代表的な種類のひとつと言える。しかし、依頼をするということは相手に何らかの負担をかけることになり、それだけに、誰に何を頼むか、どのような場面でどのような立場の話し手として発話するかなど、さまざまな要因を考慮に入れながら、ことばづかいや言い方（声の調子、顔の表情、はっきり言いきらずにためらってみせる、など）を選択する必要がある。

このユニットは、パートで出版社の編集の仕事をしている主婦を主人公にしている。家庭での家族との会話、仕事先の打ち合わせの場でのやりとり、そして友達とおしゃべりなどの中で、いろいろなタイプの依頼、要求、勧誘などがなされる。典型的な依頼の文型と言われる「～して下さい」「～していただけますか」とはまた異なる間接的な要求の仕方、たとえば提案の形をとる、言いさしてあとは相手に察してもらう、などの例も、いくつも含まれている。また、市役所で手続きをする場面、デパートや近所の魚屋で買い物をする場面など、話し手・聞き手の立場がはっきりしている場面のバリエーションも含まれている。

### 主な登場人物

- 吉岡泰子 (女性、30代後半、主婦、義男の妻、現代出版社のパートの編集者、敏子の友人)  
吉岡義男 (男性、泰子の夫)  
吉岡さと (女性、義男の母、泰子の義母)  
中野敏子 (女性、40歳前後、以前、泰子と同じカルチャーセンターに通っていた)  
川口 悟 (男性、20代なかば、現代出版社の社員)

### 場面一覧

#### セグメント 7 届出をする —市役所で—

- 場面① 泰子の家。引っ越しの後、泰子が片付けをしていると、敏子から電話がかかってくる。  
場面② 泰子の家。敏子との電話中、米屋が訪ねてくる。  
場面③ 泰子の家。米屋を帰し、泰子はもう一度敏子の電話に出る。  
場面④ 市役所。泰子は、戸籍を移すため、受付で尋ね、戸籍係で手続きをする。  
場面⑤ 市役所。泰子は、義男に電話し、もとの戸籍謄本を取ってくるよう頼む。

#### セグメント 8 買物をする —デパートで—

- 場面① デパートの入り口から、受付。泰子とさとが買い物に来て、売り場を尋ねる。  
場面② デパートのスプーン売り場。泰子とさと、お祝い返しのスプーンセットを買い、配達を頼む。  
場面③ 自宅近所の商店街。泰子は夕食の買い物に回り、さとは先に帰宅する。  
場面④ 商店街の魚屋。泰子は、夕食のために魚を買い、届けるよう頼む。

#### セグメント 9 打合せをする —出版社で—

- 場面① 現代出版社の会議室。泰子が割り付けた原稿を持参し、主任と川口に見せる。  
場面② 同じく、会議室。泰子と主任、印刷会社の社員を呼び、印刷を依頼する。  
場面③ 同じく、会議室。泰子、主任、川口に課長が加わり、著者に原稿を縮めるよう頼む相談をする。

#### セグメント 10 お願いをする —大学で—

- 場面① 大学構内から、校舎に入り、丸山教授の研究室へ。泰子と川口が、丸山に原稿を縮めるよう頼みにくる。  
場面② 同じ大学の佐久間助教授の研究室。泰子と川口、資料をもらい、写真の用意を頼むため訪れる。

#### セグメント 11 手伝いを頼む —家庭で—

- 場面① 日曜日の朝。泰子の家の食堂。家族で引っ越しの後片付けの相談をする。  
場面② 同じく日曜日の朝食後。子供部屋。義男と子供達、散歩に行く相談をする。  
場面③ 同じく日曜日の午後。城山公園。家族で散歩をする。

#### セグメント 12 友達を誘う —友達の家で—

- 場面① 団地の中の敏子の家。泰子が訪ねてきて、祭りに行くことになる。敏子は、電話で共通の友人・ベティを誘う。  
場面② 同じく敏子の家。電話で誘われたベティが訪ねてくる。  
場面③ 川越の提灯祭り。泰子、敏子、ベティは、祭りを見物する。

# セグメント 7 届出をする —市役所で—

【場面①】泰子の家の居間。引っ越しの後、泰子が片付けをしていると、敏子から電話がかかってくるが、途中で玄関にだれか訪ねてくる。

## 登場人物

吉岡泰子 (女性、主婦、敏子と同じカルチャーセンターに通っていたことがある)  
中野敏子 (女性、泰子の友人、電話の声だけで、登場はしない)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
	(居間で引っ越し荷物の整理をする泰子。電話が鳴り、泰子、段ボール箱をまたいで右手で電話を取る。左手でコードを軽く握る)	
00' 15"	泰子 001 はい、吉岡でございます。 敏子 002 あっ、もしもし、中野ですが。 泰子 003 ああ、中野さん。 敏子 004引っ越し、終わりました？ 泰子 005 ええ。006 いま、後片付けしてたところ。 敏子 007 そう。008 お手伝いに行きましようか。 泰子 009 ああ、ありがとう。010 少しずつやるから、だいじょうぶ。011 お母さんにも手伝ってもらってるし。 敏子 012 そう。013 ところで、住み心地はいかが？ 泰子 014 そうね。015 前は前よりも少し広いし、敬一やまゆみの学校も近いし、まあまあ、つてとこかな。016 一度いらして。 敏子 017 ええ、ありがとう。	D01.1, D02.2 D02.2 D01.1 T04 (引っ越しの様子を尋ねる) ↓ ↓ ↓ T04 (新居の様子を尋ねる) ↓ ↓ TC3
00' 50"	(玄関のチャイムが鳴る) 泰子 (玄関の方を見る) 018 あっ。019 だれか来たみたい。020 ちょっと、お待ちになって。(受話器を置く)	DC4

エプロンをかけた主婦。引っ越しの直後で、ガラス戸付きの本箱に本が入りかけている。床の上に本が入った段ボール箱。ソファー。箱の外にも積まれた本。テーブルのそばに電話機。

## 引っ越し

引っ越しをする理由にはいくつかのパターンがある。ここで描かれているのは、就職して何年か働いたサラリーマンが、自分の家を建てたりマンションを買ったりして、それまでの社宅や借家から引っ越してくるケースである。このような場合、それまでよりも都心部から遠く家が比較的安く手に入る郊外に移って行く例が大部分である。通勤には遠くなるが、それでも自分の家を持ちたいと思う人は多い。転勤のある勤め人の場合は、何年かに一回は新しい土地に家を借りて引っ越すことになる。そのような人達も、年を取るまでに、どこかに自分の家を持って落ち着きたいと考えていることが多い。地方で高校を卒業した人が、大都市の大学に進学するために、両親の家を離れて一人暮らしを始める例も多い。

## 表現

「～って／という／といったところ」(seg.07①-015, seg.22①-030) ものごとの状態をはっきりとは断定せず、そのように言うのが本当に適切ではないかもしれない、といった含みを持たせる言い方である。

【場面②】泰子の家。敏子との電話中、玄関のチャイムが鳴ったので出てみると、米屋が訪ねてきている。

## 登場人物

吉岡泰子 (女性、主婦、引っ越してきたばかり)  
米屋の店員 (男性、30代、駅前の南米店の店員、新しく引っ越してきた家の注文をとろうと訪れる)

時 間	発話者・文番号・発話内容（非言語行動）	談話構造（話題）	
01' 02"	(泰子、受話器を置き、廊下に出てドアを閉め、玄関の方へ行く)		玄関脇の下駄箱の上に飾られたドライフラワー。つばのある帽子をかぶり、ポーチを持った米屋。
	泰子 (上がりがまちの手前で立ち止まる) 021 はい、どちら様でしょうか。	[ D01.1	
	米屋 (声だけ) 022 駅前の米屋ですが。	[ D02.2	
	泰子 023 ああ。(土間に降り、玄関のドアをあける)	[ D02.1	
	米屋 (帽子のひさしに手をやり、会釈する) 024 ああ、どうも。	[ D02.1	
	泰子 025 どうも。	T04 (取り引きを ↓ してくれるよう頼む)	
	米屋 026 駅前の南米店ですが、お米や灯油、自然食品なども扱っておりますので、御用のときはよろしくお願いします。(軽く頭を下げる)	T03.2 (御用聞きをするかどうか尋ねる)	
	泰子 027 あっ、そう。028 御用聞きはしてもらえるの。	↓	
	米屋 (うなずく) 029 ええ。030 こちらは、月曜日になっておりますが。	↓	
	泰子 031 月曜は、いないときが多いから。(右下の方を見る)	↓	
	米屋 032 日曜も、まわっておりますので。	↓	
	泰子 033 じゃ、お願いしようかしら。(うなずく)	TC2.2	
	米屋 034 はい、承知しました。	TC2.2	
	(軽く頭を下げる) 035 ありがとうございます。	TC3	
01' 33"	泰子 036 じゃ、(後ろをふり返り、手で指して見せる) いま、ちょっと電話中なので。	DC1.1	
	米屋 037 あっ、どうもすみませんでした。(ポーチからチラシを出して渡す) 038 じゃ、よろしくお願いします。(頭を下げ、出ていく)	DC1.2	
		DC2.2	
	泰子 039 はい。040 どうも。(ドアを閉める)	DC1.3	

【場面③】泰子の家。米屋を帰し、泰子はもう一度敏子の電話に出る。

#### 登場人物

吉岡泰子 (女性、主婦、敏子と同じカルチャーセンターに通っていたことがある)  
中野敏子 (女性、泰子の友人、先ほど電話をかけてきて、そのまま待っていた、電話の声だけで、登場はしない)

時 間	発話者・文番号・発話内容（非言語行動）	談話構造（話題）
01' 45"	(泰子、再び電話をとる)	
	泰子 041 お待たせして、ごめんなさい。	[ D04
	042 お米屋さんだったの。	T05 (来客の説明)
	敏子 043 引っ越しするといろんな人が来たりして、たいへんね。	↓
	泰子 044 あっ、たいへんと言えば、午後から市役所に行ってこなくちゃあ。	→ (自分の都合)
	敏子 045 あらー、ごめんなさい。 046 電話、長くなっちゃって。	↓
	泰子 047 いいえ、こちらこそ。	DC1.2
	敏子 048 来週でも、一段落したら、うちにも遊びにいらして。	DC1.2
	泰子 049 ええ。	T04 (招 DC2.1
	050 とにかく一度、お電話します。	TC2.2 待する)
	敏子 051 じゃあ。052 後片付けががんばって。	↓
	053 それじゃ、失礼します。	DC2.1
	泰子 054 じゃあ、ごめんください。(電話を切る)	DC1.3

市役所の係員 (男性、戸籍係)

— 31 —

## 戸籍と住民登録

日本の国籍を持つ人は、日本のどこかの市区町村に「戸籍」を持っている。戸籍は、ある一家に属する人の一覧表で、出生したことや、日本国籍を取得したことを届け出ると、その人の分が追加される。生まれた時などは親の戸籍に書き加えられるが、結婚した時などに、新しく独立した戸籍が作られる。戸籍がある場所を「本籍地」と言い、本籍地は、実際に住んでいる場所とは関係なく決めたり、移動したりすることができる。重要な手続きや契約を行う時は、その人がだれであるかを証明するものとして「戸籍謄本」または「戸籍抄本」を提出するように求められることが多い。「住民登録」は、実際に住んでいる土地の役所に、住所と同居している家族の氏名を届けしておく制度で、住民登録の証明書は「住民票」と言う。

## 印鑑

何かの書類を作った時、本人であることや、その人がその内容を認めた証明として、普通、判を押すことが必要である。そのために、棒の端に文字などを彫った物を使うが、これを「印鑑」と言ったり「印」「判」「はんこ」などと呼ぶ。その印鑑に「朱肉」と呼ばれる朱色のインクを付けて、紙に押し付ける。それによって紙についた朱色の跡も「判」「はんこ」「印」「印鑑」などと言う。個人が日常使う印鑑は「認め印」と呼ばれ、普通姓だけが彫ってあるものを使うが、重要書類に用いる正式なものには、姓と名とを彫ることが多い。この正式な印鑑は「実印」と言い、役所に届けておいて、その人の判に間違いのないことを証明する「印鑑証明書」をもらうことができる。

【場面⑤】市役所。泰子は、夫・義男に電話し、もとの本籍地の区役所で前の戸籍謄本を取ってくるよう頼む。

## 登場人物

吉岡泰子 （女性。主婦。義男の妻。戸籍を移す手続きのため、市役所にきている）  
吉岡義男 （男性。泰子の夫。勤め先にいる。声だけで、登場はしない）

時 間	発話者・文番号・発話内容（非言語行動）	談話構造（話題）
<p>（泰子、義男の勤め先に電話をかける。右手に受話器を持ち、左手でコードを持つ）</p>		
03' 54"	<p>泰子 088 あっ、義男さん、わたしですけど。</p> <p>089 いま、市役所に来てるんですけど、それで、今までの謄本がもう一通いるんですって。090 それで、謄本を持っていくと次の日に新しいのがもらえるらしいけど、パスポートの方、間に合うかしら。</p> <p>義男（声のみ）091 うん、じゃあ、急がないとな。</p> <p>泰子 092 あなた、今日中に区役所へ行行って、取ってきてくれない？</p> <p>義男 093 うーん。094 じゃ、やってみるか。</p> <p>泰子 095 じゃあ、お願いしていいかしら。</p> <p>義男 096 うん。</p> <p>泰子 097 はい、じゃあ。（うなずいて受話器を置く）</p> <p>（クレジット）</p>	<p>D02.2</p> <p>T03.1（手続きの ↓ いきさつを ↓ 伝える） ↓</p> <p>T04（区役所へ行 ↓ くよう頼む） TC2.2 TC1.1 ↓</p> <p>DC1.3</p>
04' 23"		

壁に節水の  
ポスター。  
テレホンカ  
ードが使える  
緑色の大型公衆電話。





(店員、スプーンセットの箱をショーケースの上に出し、手を組んでケースの上に置く。泰子とさと、のぞき込む)

	さと 020 いいわね。 021 でも、ちょっと重そうな感じもするわね。(店員を見る。泰子、うなずく)	T04 (最初の案を検討する) ↓	化粧箱に入 ったスプー ンセット。
	泰子(ケースの中を指す) 022 こちらの、見せていただけませんか?	T04 (次の商 品を出 しても らう) ↓	
	店員(うなずく) 023 はい。(別の箱を取り出し、ケースの上に並べて置く) 024 どうぞ御覧くださいませ。(二人、のぞき込む)	T04 (次の案を検 討する) ↓	
	泰子 025 いいことはいいけど、お値段もちよっと……。	↓	
	店員(やや乗り出して二人を見ながら) 026 こちらは、外国製のものでして、デザインも、使われている銀も質のいいものでございます。(さと、大きくうなずく)	↓	
01' 38"	泰子(ケースの上や中を見回す) 027 どれにしようかしら。	↓	
	店員 028 おつかいものでございますか。	T03.2 (用途を尋 ねる) ↓	
	泰子(顔を上げる) 029 ええ。030 新築祝いのお返しなの。	T04 (次の案を提 案する) ↓	
	店員(うなずく) 031 ああ、それでしたら、こちらなどいかがでしょうか。(もうひとつの箱を取り出しケースの上に置く。二人、のぞき込む)	↓	
	泰子 032 それも銀ね。	↓	
01' 53"	店員 033 はい、さようでございます。	↓	配達伝票に ボールペン で記入する。
	泰子(さとに) 034 どれにしましょうか。	↓	
	さと(指さす) 035 やはり、最初に見せていただいたのが、いんじゃないかなあ。	TC1.2 ↓	
	泰子(さとと箱を交互に見る) 036 そうですね。037 じゃ、これにしましょうか。	TC2.2 ↓	
02' 01"	(店員に) 038 これ、ください。	T04 (品物を決め T04 (のし る) ↓ につ いて尋 ねる) ↓	
	店員(うなずく) 039 はい、かしこまりました。040 おのしはいかがいたしましょうか。	T04 (配達を頼 む) ↓	
	泰子 041 粗品としておいてちょうだい。	↓	
	店員 042 はい。	↓	
	泰子 043 それから配達をしてほしいんですが。	↓	
	店員(うなずく) 044 はい、かしこまりました。(奥から用紙とボールペンを持って来る) 045 では、(用紙をケースに置き、指して) ここにお届け先のご住所とお名前をお願いいたします。(ボールペンを渡す)	↓	
	泰子 046 はい。(住所を書く) 047 はい。(用紙とボールペンを渡す)	↓	クレジット カードと伝 票へのサイ ン。
	店員 048 2万7千円いただきます。	T04 (代金を請求 する) ↓	
	泰子 049 カードをお願いします。	↓	
	店員 050 はい。	↓	
(泰子、	ショルダーバッグからカードを出して渡す)	↓	
	店員 051 はい、少々お待ちくださいませ。(軽く頭を下げる)	↓	
	泰子 052 はい。	↓	
(店員、	カードを持ってレジへ行く。さと、ケースの中や回りを見まわしている。店員、帰って来る)	↓	
	店員 053 こちらにサインをお願いいたします。(用紙をケースの上に置く)	↓	
	泰子 054 はい。(サインして渡す)	↓	
	店員 055 はい。056 しばらくお待ちくださいませ。	↓	03' 00"
(店員、	頭を下げて、再びレジへ行く。泰子、さと、売り場を見て回る。店員、もどって来る)	↓	
	店員 057 たいへんお待たせいたしました。058 カードをお返しいたします。(カードをケースに置く。泰子、カードを取る)	↓	
	059 こちらはお控えでございます。(伝票をケースに置く。泰子、取る)	↓	
	060 どうも、ありがとうございました。(頭を深く下げる)	↓	
	泰子 061 どうも。	DC1.2 DC1.3	

## お祝いとお返し

親戚・友人・知人に、結婚、出産、入学、卒業、就職、新築などのめでたいことがあった場合、お祝いとして品物を贈ることがよく行われる。お金を贈ることは、間柄によっては不適当な場合がある。このようなお祝いをもらった側は、「お返し」をするのが礼儀とされている。お返しは、「半返し」、つまり受け取った品物の半分程度の額の品物を贈るのが目安とされるが、地域によって習慣の違いもあり、そうした習慣にこだわらない人も増えている。めでたいことがあった当人から、回りの人に品物を贈ることもあり、これは「内祝い」と呼ばれる。他の人にも喜びを分け与えるという意味である。

## のし

贈り物にする品物の上に、「のし紙」とか「のし」などと呼ばれる和紙を一枚かぶせ、そこに贈り物の種類を「粗品」「お祝い」「御礼」などと墨で書き、「水引き」と呼ばれる和紙をよった糸で結ぶ習慣がある。のし紙は、あわびの身を平たく開いたものを形どった紙の細工物をつけたり、その図案を印刷したもので、「のし」という名前は「のしあわび」から出ている。お金を贈るには、同じようなデザインの「のし袋」と呼ばれる袋を用いる。のし紙・のし袋、水引きは、いずれも、めでたい事、不幸な事など、場合に応じて、多くの種類がある。

## 表現

「～ことは～けれど／だけど／だが」(seg.08②-025) そのことを一応認めた上で、逆のことや違ったことを言う表現である。相手に遠慮しながら、自分の意見を控えめに主張する場合などによく用いられる。

【場面③】 自宅近所の商店街。泰子は夕食の買い物に回り、さととは先に帰宅する。

## 登場人物

吉岡泰子 (女性、主婦、さとの息子・義男の妻)  
吉岡さと (女性、泰子の義母)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)	
	(泰子とさと、歩いている。さと、バッグを左手にかけ、ハンカチを両手で持っている)		商店街。並んだ個人商店の日よけ。買い物客やうば車の子供が通る。かごをつけた自転車やバイクが走り過ぎたり止めてあったりする。
03' 11"	泰子 062 ちょっと、夕飯の買い物をしていきたいんですけど、先にお帰りになりますか。	T03.2 (先に帰るよう勧める)	
	さと 063 そうですね。(ハンカチをバッグにしまう) 064 そうさせてもらいましょうか。	TC2.2	
	泰子 065 今日は、お魚にしようと思うんですけど。	T04 (献立を相談する)	
	さと 066 そうね。067 きのはお肉でしたね。		
	泰子 068 ええ。069 じゃあ、お魚屋さんへ寄ってみます。	TC4.2	
	070 あっ、うちの鍵はお持ちですか。	T04 (鍵の確認)	
	さと 071 ええ。(バッグを見て軽く叩く) 072 持ってますよ。		
	泰子 073 じゃあ。(さと、画面左へ曲がっていく)	DC1.3	

## 日常の買い物

都市に住む人たちの毎日の買い物は、近くの商店街へ行ってしまうことが多い。スーパーマーケットが進出しているところも多く、品物の値段と品質とを比較しながら、商店街の個人商店とスーパーとを使い分けている人が多い。個人商店の中には、地元の客との個人的なつきあいを大事にして、なじみの客には、特別な注文を聞いたり、値引きをしたりする店もある。個人商店の昔からのサービスに、御用聞きや配達がある。なじみ客の家を回って注文をとることを「御用聞き」と言い、後で、品物を届けて回る。店で注文を受けたり、電話で注文された品物を届ける店もある。しかし、人手不足の傾向が強まってきたため、御用聞きや配達をする店は、以前よりも少なくなっている。

吉岡泰子 (女性、主婦、最近近所に引っ越してきた)  
魚屋の店主 (男性、近所の商店街の魚屋の主人)

魚屋の店の威勢よさ。はちまきをしめ、ゴムの前かけをした魚屋。店先には、のぼり。平台に並んだ魚。店の奥に冷凍ケース。下段であるつり銭用のざる。包装用のポリ袋。

【場面①】泰子がパート編集者として勤める現代出版社の会議室。泰子が割り付けした原稿を持参し、主任と川口に見せるが、ページ数が多すぎるため、著者に原稿を削るよう頼むことになる。

## 登場人物

吉岡泰子 (女性、現代出版社の嘱託編集者)  
川口 悟 (男性、現代出版社の編集部員、泰子の仕事の担当)  
編集主任 (男性、川口の直属の上司)

[illegible]

出版社の会議室。並べられたテーブルの上に灰皿、ペン立て、まわりに。部屋の隅の台の上に花瓶の花。別の壁ぎわにホワイトボード。ついたて。半そでワイシャツにネクタイの会社員。

(川口、立って窓のところへ行き、ブラインドを調節し、ふたたび席につく)		
01' 33"	主任 024 後は、本文を少し詰めてもらえないか。(川口を ふり返りながら) 025 先生にお願いしてみてください。 川口 (座っているいすをテーブルに寄せる) 026 なかなか難しい んじゃないですか。(両ひじをテーブルに乗せ、手を前に出 す) 主任 027 とにかく急ぐから、まずその線でやってみよう。 川口 028 課長にも3ページ増やす方向で相談してみましょ うよ。 主任 029 うん、それはしてみよう。 川口 030 はい。(うなずく)	→ (本文を削っ てもらう提 案) ↓ ↓ ↓ TC1.2 → (ページ数を ↓ 増やす提案) ↓ ↓
01' 52"	泰子 (原稿を指す) 031 それから、あのう、ここの写真とこの表 がないんですけれど。(二人、のぞき込む) 川口 032 あつ、それ、丸山先生にいただかなきゃ。 泰子 033 あつ、今日中にもいただけませんか。 川口 (うなずく) 034 はい、電話してみましょう。 泰子 035 お願いします。 (二人に) 036 あつ、よかったら、わたしが取りに伺いますが ……。 037 編集の方で伺いたいこともあるし……。 主任 038 吉岡さんひとりというわけにもいかんだろう。 (泰子から川口を見る) 039 川口君、君も行って、詰めるお願 いをしてしてくれ。 川口 (うなずく) 040 はい、分かりました。	T03.1 (欠けてい ↓ る原稿の 要求) ↓ ↓ TC2.2 ↓ T04 (自分が取り ↓ に行く提案) TC4.2 → (一緒に行くよ ↓ うに指示) TC2.2
02' 18"	泰子 041 それから(二人、泰子を見る)印刷の方と打ち合わせ をしておきたいんですが……。 主任 (泰子に) 042 あつ、そうでしたね。 (川口に) 043 下で待ってるだろう。044 ちょっとみてきてく れないか。 川口 045 はい。(主任と泰子を見る) 046 じゃあ、ついでに丸山先生のご都合を伺ってみます。(泰 子、うなずく) 主任 047 ああ、そうしてくれ。 川口 048 はい。(うなずき、いすを引き、立ち上がって行きか ける) 主任 (川口に) 049 それから…… (泰子に) コーヒーでいいですか。 泰子 (うなずく) 050 ええ。 主任 (川口に) 051 コーヒーを四つとってもらえない? 川口 (うなずく) 052 はい。	T04 (印刷との打 ↓ ち合わせの TC2.2 要求) → (見てくるよう ↓ に指示) TC2.2 T04 (著者との面 ↓ 会の手配) TC2.2 ↓ ↓ T04 (飲み物の注 ↓ T04 (好 文) ↓ みを ↓ 聞く) TC2.2
(川口、いすを入れ、会議室を出ていく)		
02' 48"	泰子 (テーブルの上で両手の指を組む) 053 あのう、発行予定日 は変わっていませんか。 主任 (原稿にちょっと目をやり、困った口調で) 054 ええ。 055 変更はちょっと。 泰子 056 ああ。	T04 (日程を尋ね ↓ る) ↓ TC2.1 ↓

## 割り付けと校正

出版物などを作る時、紙面のどこにどの記事を印刷するかを決める作業を「割り付け」と言う。図書の場合、原稿の分量を計算し、活字の大きさ、1行あたりの字数、1ページあたりの行数、見出しの大きさやデザイン、カットや図版の位置と大きさ等、すべてを決めなければならないし、読みやすい良いデザインにするための感覚も必要である。割り付けをした原稿を印刷に回し、「ゲラ」と呼ばれる試し刷りをもらって、誤りを直したり、割り付けを変更したりする作業を「校正」という。第1回目の校正を「初校」、その修正の結果をもう一度ゲラにしたものを校正することを「再校」、もう一度校正することを「三校」、というふうと呼ぶ。

「～てみたら」(seg.09①-011) 提案や助言をする表現。控えめに提案して、相手の判断に任せる態度を見せるので、やわらかい主張になる。「～てみたらどうか」「～てみてはどうか」等のバリエーションがある。また「～たらどうか」(seg.09①-016)なども同じような働きがある。

「～しかない」(seg.09①-024)それが唯一のやり方だ、との意味を表す。本当は好ましくないやり方だが、他に方法がなく、やむを得ない、との含みを持つことが多い。

「その線で」(seg.09①-027)そのやり方をその後の行動の原則にすることを表す。多少の修正はあっても、そのやり方を守る意思を表すが、同時に、うまく行かなければ他のやり方に切り替える可能性が残されていることを含意することが多い。「～方向で」(seg.09①-028, seg.09③-122)も同様の意味を表す。

## 登場人物

吉岡泰子 (女性、現代出版社の嘱託編集者)  
編集主任 (男性、川口の直属の上司)  
印刷会社の社員 (男性、泰子が編集中の本を受注している)  
ウェイトレス (同じビルに入っている喫茶店のウェイトレス、出前に来る)  
川口 悟 (男性、現代出版社の編集部長、泰子の仕事の担当)

— 39 —

(ウェイトレス、頭を下げて去る。社員、コーヒーを飲み、原稿を開いて見る)		
04' 07"	<p>泰子（コーヒーに砂糖を入れながら、社員に）083 それで、校正はいつ出ますか。</p> <p>社員（手帳を見て、泰子に）084 えーと、さ来週の木曜ごろになりますが。（泰子、コーヒーを飲む）</p> <p>主任（コーヒーカップを持ったまま社員に）085 もっと早くしてもらえないかな。</p> <p>社員 086 いつごろならいいんでしょう。</p> <p>主任 087 そうだな。（テーブルの上を見てから、社員に）088 来週の土曜日ごろにならないだろうか。</p> <p>社員（手帳を見て）089 じゃあ、工場に急ぐように言いましょう。（首をかしげる）090 でも、ちょっと無理かもしれません。091 お電話します。</p> <p>主任 092 うん、そうしてもらえるかな。（社員、手帳に書き込む）</p>	<p>T04（日程の相談）</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>TC2.2</p> <p>↓</p>
(川口が戻って来る)		
04' 39"	<p>社員（原稿を持つ。主任と泰子に）093 じゃあ、こちら、お預かりしてもよろしいでしょうか。</p>	<p>T04（原稿を預かる許可）</p> <p>↓</p>
(川口、すわってコーヒーにミルクを入れる)		
	<p>主任（泰子に）094 いいですか。</p> <p>泰子（二人に）095 えっ、けっこうです。</p> <p>社員（原稿と手帳をかばんにしまう）096 じゃあ、これで失礼します。（立ち上がる）</p> <p>主任 097 校正が出たら、連絡頼むよ。</p> <p>社員 098 はい、すぐお電話します。</p> <p>099 それでは。（泰子、主任、川口に会釈）</p> <p>主任 100 よろしく。</p> <p>泰子 101 よろしく、お願いします。</p> <p>川口 102 どうも。</p>	<p>↓</p> <p>TC2.2</p> <p>DC1.1</p> <p>T04（連絡の要 TC2.2 求）</p> <p>DC1.3</p> <p>DC2.2</p> <p>DC2.2</p> <p>DC1.3</p>

【場面③】現代出版社の会議室。泰子、主任、川口に課長が加わり、著者に原稿を縮めるよう頼む相談をする。

#### 登場人物

吉岡泰子（女性、現代出版社の嘱託編集者）  
川口 悟（男性、現代出版社の編集部員、泰子の仕事の担当）  
編集主任（男性、川口の直属の上司）  
印刷会社の社員（男性、泰子が編集集中の本を受注している）  
編集課長（男性、川口、主任の上司）

時 間	発話者・文番号・発話内容（非言語行動）	談話構造（話題）
(泰子、主任、川口、テーブルを囲んでいる。印刷会社社員、時計を見ながら部屋を出ていく)		
05' 00"	川口（二人に）103 丸山先生、これから伺ってもいいそうです。 (部屋を出ようとする社員と入って来る課長、ドアのところで出会う)	T04（交渉結果の報告）
05' 04"	<p>社員（軽く頭を下げる）104 あっ、どうも。</p> <p>課長（右手を軽くあげる）105 やあ、よろしく。</p> <p>社員（会釈する）106 はい。</p>	<p>D01.1</p> <p>D01.1</p>
(課長、ドアを閉め、テーブルの方に近づく)		
05' 11"	<p>泰子（立ち上がって課長に頭を下げる）107 どうも。</p> <p>課長（主任に）108 3 ページ多いんだって。</p> <p>主任 109 ええ。110 3 ページ増やすわけにはいきませんか。</p> <p>課長（両手を腰に当て、困った口調で三人に）111 ああ、なんとかしてほしいな。</p>	<p>D02.1</p> <p>T04（対策の指示）</p> <p>↓</p> <p>TC2.2</p>

05' 21"	<p>(泰子に) 112 あっ、どうぞ。(いすを指す)</p> <p>泰子 113 はい。(座る)</p> <p>課長 (泰子の隣に座り、テーブルに右ひじをついて半身になり、泰子に) 114 ところで、丸山先生のところへ行っていただけるそうですね。</p> <p>泰子 115 ええ。116 急いだ方がいいと思ひまして。</p> <p>課長 117 いや、お手数をかけますな。(テーブルに右ひじを突いたまま、手でテーブルを軽くたたく) 118 丸山先生、ちょっと気難しい方ですから、何か言われても、お気を悪くされないように。</p> <p>泰子 (うなずく) 119 はい。</p> <p>課長 (前をむいて両ひじをテーブルの上に置き腕を組む。川口に) 120 川口君。</p> <p>川口 121 はい。</p> <p>課長 122 先生に文章と写真を削っていただく方向でなんとかお願いしてみてくださいませ。</p> <p>川口 (うなずく) 123 はい、やってみます。(課長、うなずく)</p> <p>(クレジット)</p>	<p>D01.1</p> <p>T04 (著者との面 会について の指示)</p> <p>TC1.1</p> <p>TC2.2</p>
05' 49"		



## セグメント 10 願いをする —大学で—

【場面①】大学構内から、校舎に入り、丸山教授の研究室へ、泰子と川口が、丸山に原稿を縮めるよう頼みにくる。

## 登場人物

吉岡泰子 (女性、現代出版社の嘱託編集者、丸山の書いた本の編集を担当している)  
川口 悟 (現代出版社の編集部員、泰子の仕事を担当している)  
丸山郁夫 (男性、大学教授、泰子が担当している本の著者)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)	大学のキャンパス。校舎内の廊下。ドアの上につけられた名札。書類受けのポスト。掲示板。スーツを着た封筒を持った編集社員。ワンピースにショルダーバッグ、封筒を抱えた女性編集者。研究室の中。本棚の本。ファイリングキャビネット。机の上に電話機、スタンド。並んだ辞書。窓から木が見える。長そでワイシャツにネクタイの大学教授。ソファの前のローテーブルに灰皿。
	(泰子、川口、キャンパスを歩いて、校舎に入り、廊下を通過して丸山教授の研究室の前に来る)		
00' 05"	川口 (封筒を持った右手でドアの上の名札を指す) 001 ここで。 泰子 002 はい。 (川口、ドアをノックする)	T04 (目的地へ案内する) ↓ TC2.3	
00' 10"	丸山 (書き物の手を止め、ドアの方を見る) 003 どうぞ。 (川口、泰子、部屋に入る)	↓ D01.1	
	川口 (ドアのところで頭を下げる) 004 失礼いたします。(泰子、ドアを閉める) 丸山 (ソファを指す) 005 そこへ。 川口 006 お邪魔いたします。	↓ D02.1 ↓ D02.1	
	(川口、泰子、丸山の方へ進む) 川口 007 先ほどは、お電話で失礼いたしました。(頭を深く下げる) 008 あのう、ちょっと、ご紹介させていただきます。(少し脇へ寄り、後ろにいる泰子を指し、丸山を見る) 009 こちら、編集を担当しております吉岡です。 泰子 (川口の後ろで頭を下げる) 010 編集の吉岡でございます。 (川口、泰子を見る。泰子、右手で名刺を渡す) 011 よろしくお願ひいたします。 丸山 (立ち上がり、名刺を受け取って見る) 012 ああ、どうも。(右手で二人に座するようにうながす) 013 どうぞ。 川口 014 はい。	↓ D03.1 ↓ T01.2 (連れ ↓ を紹 ↓ 介す ↓ る) D02.2 D02.1 ↓ D02.1 ↓	
00' 34"	(川口、泰子、軽く頭を下げ、ソファにすわる) 丸山 015 それで、相談とは? (川口、泰子、丸山を見る) 川口 (言いくそうな口調で) 016 ええ、あのう、(床に視線を落としたり丸山を見たりしながら) 実は、ご相談というより、お願いなのでございますが、ええー、本のページ数が予定より、ええー、3ページほど、増えてしまいまして、なんとか、それを詰める方法はないかと……。 (泰子、目を伏せてから、川口・丸山を見ている) 丸山 (じっと川口を見て、体の前で右手を切るように動かす) 017 つまり、削れ、というわけですね。 川口 (目を伏せてから丸山を見る) 018 ええ、そのう、なんとか、お願いできましたらと……思いまして。 丸山 019 それはできませんよ。(顔を左横に向けてから川口を見る) 020 それに、かなり詰めて書いてありますからね。 川口 021 ええー、(下を見て、もう一度丸山を見る) もう少し余裕を持ってお願いすればよかったのですが……。	↓ T02.2 ↓ T01.2 (原稿を縮 ↓ める依頼) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ TC2.2 ↓ ↓ ↓	
01' 16"	(泰子、封筒から原稿を出している) 泰子 (原稿を開いてテーブルに置き、見せる) 022 あのう、この写真を数点、削っていただくわけにはまいりませんでしょうか。(川口、泰子をふり返り、原稿を見て、丸山を見る) 023 そうしますと、あのう、1ページ半ほど余裕が出ますが……。丸山 (目を細め、原稿を遠くから見て) 024 その写真5枚を……。別な写真1枚に替えますか。	↓ T04 (具体案の提案) ↓ ↓ ↓ TC2.2 ↓	

01' 44"	川口 025 あとは、本文の方で、なんとかお願いできないでしょうか。	T04 (第2の具体案の提案)
	丸山 (頭を後ろへそらし気味にし、きつい口調で) 026 本文はだめです。027 本文は変えられません。	TC2.2
	泰子 (原稿の別の箇所を手で指す) 028 この引用の部分を小さくするわけにはまいりませんか。	→ (第2案の補足)
	丸山 (のぞき込む) 029 文字をですか。	↓
	泰子 030 ええ。	↓
	丸山 (目を細めて見る) 031 読みにくくなるでしょう。	↓
	泰子 (見本の印刷物を取り出し、開いて見せる) 032 これぐらいの大きさになりますが。	↓
	丸山 (テーブルに体を乗り出し、見本をのぞき込む。川口、丸山を見ている) 033 ああ、かなり読みにくいが……。まあ、しかたがないでしょう。	TC2.2
	川口 (泰子と顔を見合わせ、ほっとした口調で) 034 では、そのようにさせていただきます。(二人、頭を下げる)	TC4.2
	(やや沈黙。丸山は無表情)	↓
02' 09"	泰子 035 あう、それから、(原稿を指して) ここの表と変更になりました新しい写真がありましたら、拝借させていただけないでしょうか。	T04 (表と写真の要求)
	丸山 (いすに背をもたせたまま) 036 写真は、いま、ありません。037 明日までに佐久間君に用意してもらいましょう。038 表は、いま、(右手で壁の方を指す) 佐久間君のところへ行つて、もらってください。(二人、うなずく) 039 ほかに何か。	TC2.2
	川口 (うなずく) 040 はい、分かりました。	↓
	041 本日は、とつぜん伺いまして、……。042 本当にありがとうございました。	TC4.1
	043 では、明日、写真を佐久間先生のところに拝借に伺います。	TC2.3
	丸山 (うなずく) 044 ああ、そうしてください。(泰子、軽く頭を下げる)	↓
	川口 045 では、これで失礼いたします。(川口、泰子、立ち上がる。丸山も立ち上がる)	TC4.2
	泰子 046 失礼します。047 ごめんくださいませ。	↓
	(川口、泰子、頭を深く下げる)	DC1.2
		DC1.3

## 表現

「～ばよかったのですが」(seg.10①-021) 過去に、実際にはそうしなかったが、そうした方がよかった、との意味を表す。後悔したり残念に思ったりする気持ちを伝えるために用いられ、ここでのように、自分の行いについて用いると、謝りや言い訳の意味を含むこともある。「～ばよかったのに」「～ばよかったけれど」などのバリエーションがある。

「～わけにはまいりませんか」(seg.10①-022, seg.10①-028) そのようにすることを依頼したり、許可を求めたりする表現。「～わけにはいきませんか」が最も基本的な形で、丁寧な形のバリエーションがいろいろある。

【場面②】 大学。佐久間助教授の研究室。泰子と川口、丸山教授から言われて訪れる。資料をもらい、写真の用意を頼む。

## 登場人物

吉岡泰子 (女性。現代出版社の嘱託編集者。丸山の書いた本の編集を担当している)  
 川口 悟 (現代出版社の編集部員。泰子の仕事を担当している)  
 佐久間義彦 (大学の助教授。丸山教授の下におり、研究・著作に協力している)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
02' 58"	(泰子、川口、部屋の前に来て、川口、ドアをノックする。パソコンに向かっていた佐久間、ドアの方を見る) 川口 048 あう、現代出版社の川口ですが。	「D02.2

机。パソコン。本棚の本。

	<p>佐久間 049 ああ、どうぞ。(左手のひらでいすを指し、立ち上がる)</p> <p>川口 050 ああ、先生、ご紹介します。(佐久間、胸ポケットから名刺入れを出す) 051 あのう、編集担当の吉岡さんです。</p> <p>泰子(佐久間の前に進む) 052 はじめまして。053 編集を担当しております吉岡でございます。(頭を下げ、右手で名刺を渡す)</p> <p>佐久間 054 あっ、どうも。055 はじめまして。(名刺入れから名刺を取り出し、泰子の名刺を左手で受け取りながら右手で名刺を渡す)</p> <p>泰子 056 よろしく願いいたします。(頭を下げる)</p>	<p>D01.1</p> <p>T01.2 (連れ</p> <p>↓ を紹</p> <p>D02.2 ↓ 介す</p> <p>↓ る)</p> <p>D02.1 ↓</p> <p>↓</p> <p>D02.1 ↓</p>	<p>窓から木と校舎が見える。半そでワイシャツにネクタイの大学助教授。</p>
03' 16"	<p>佐久間(右手でいすをすすめる) 057 さっ、どうぞ。</p> <p>川口 058 はい。(三人、座る。佐久間、両腕を伸ばしてテーブルに突く) 059 さっそくですが、いま、丸山先生のところに伺いまして、打合せをさせていただいたんですが。</p> <p>佐久間 060 はあ、はあ。</p> <p>川口(泰子を振り向き、原稿を受け取って佐久間に見せる) 061 あのう、この表を拝借したいとお願いしましたところ、佐久間先生からお借りするようにとのことでしたので。</p> <p>佐久間(原稿を見てから二人を見る) 062 ああ、分かりました。063 ちょっと待ってくださいよ。</p>	<p>TC03.1 (表の原稿の要求)</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>TC2.2</p> <p>↓</p> <p>DC4</p>	
	<p>(佐久間、後ろのテーブルを振り向く。泰子、川口、顔を見合わせる。佐久間、テーブルから書類入れを取り、中をさがす。川口、原稿を泰子に返す。佐久間、資料を取り出し、川口、泰子の前に出す)</p>		書類入れ。
	<p>佐久間 064 これですね。</p> <p>泰子(資料を受け取って見る) 065 拝見します。(川口、のぞき込む) 066 ……(資料を佐久間の方に向けてテーブルに置き、指す) この表は紙面の都合で、ここを三列に分けてもよろしいでしょうか。</p> <p>佐久間(資料をのぞき込む) 067 それは、(泰子を見る) ああ、かまいませんよ。068 あまり変なところで分けなければ。</p> <p>泰子 069 はい、承知しました。(うなずき、資料を持ち上げる) 070 では、これ拝借します。</p>	<p>↓ D04</p> <p>↓</p> <p>→ (割り付け上の相談)</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>TC4.2</p> <p>↓</p>	
04' 06"	<p>佐久間 071 はい、どうぞ。(泰子、資料をかばんにしまう)</p> <p>川口(佐久間に) 072 それから、丸山先生に写真をお願いしたんですが、(佐久間、うなずく) 明日、佐久間先生に用意してもらおうとおっしゃっていましたので、よろしくお願いします。(頭を下げる)</p> <p>佐久間 073 はい、分かりました。</p> <p>074 取りにいらっしゃいますね。</p> <p>川口 075 はい、伺います。076 午後2時ごろでは、どうでしょうか。</p>	<p>T04 (写真の用意の依頼)</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>TC2.2</p> <p>→ (受け渡しの相談)</p> <p>↓</p> <p>TC2.2</p>	
04' 24"	<p>佐久間 077 ええ、けっこうです。</p> <p>川口(右手をテーブルに置き、封筒を取りながら立ち上がる) 078 では、これで失礼いたします。(泰子、立ち上がり、封筒を抱える)</p> <p>泰子 079 失礼いたします。</p>	<p>DC1.1</p> <p>DC1.3</p>	
04' 32"	<p>(泰子、川口、いすを入れ、ドアに向かう。佐久間、見送る)</p> <p>(クレジット)</p>		

## 表現

「～ところ～」(seg.10②-061) 前のことを行い、その結果、後のことが起こった、または、後のことがわかった、等の意味を表す。実際に起こったことを順序立てて説明する時のあらたまった言い方として用いられる。

「～とのこと」(seg.10②-061) 他人から聞いて知ったことを表す伝聞の表現のひとつ。あらたまった言い方として用いられる。

# セグメント 11 手伝いを頼む ―家庭で―

【場面①】日曜日の朝。泰子の家の食堂。家族で引っ越しの後片付けの相談をする。

## 登場人物

吉岡泰子 (女性、主婦、義男の妻)  
 吉岡義男 (男性、泰子の夫)  
 吉岡さと (女性、義男の母、泰子の義母)  
 吉岡敬一 (男性、小学生、義男・泰子の長男、まゆみの兄)  
 吉岡まゆみ (女性、小学生、義男・泰子の長女、敬一の妹)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)	典型的なダイニングキッチン。流し台の上に湯沸し器。出窓に電子レンジ、なべ、やかん等。ガス台の上にレンジフード。そばに冷蔵庫。部屋の隅に食器棚。中央にダイニングテーブル。
	(泰子、調理台の前で朝食の用意をしている。まゆみ、泰子の手伝いで皿を運ぶなどしている。敬一、食卓で漫画を読んでいる。さと、敬一の反対側にすわり食器を並べている)		
00' 02"	泰子 (盆に皿をのせてテーブルに運びながら) 001 まゆみちゃん、(まゆみ、泰子を見る) お父さんに「ごはんです」って言ってきてちょうだい。 まゆみ 002 はい。(出て行く) 泰子 (皿を置きながら敬一に) 003 敬ちゃん、もうごはんだから、本読むのはやめなさい。 敬一 (気のない調子で) 004 うーん。(漫画のページをめくる) 泰子 (さとに) 005 お母さん、目玉焼きでよろしいですか。 さと (泰子の方にやや乗り出して) 006 ああ、いい卵にしてくちょうだい。 泰子 007 はい。(うなずき、調理台にもどる) まゆみ (戻って来て泰子に) 008 すぐ来るって。 泰子 009 はい。(まゆみ、皿を食卓に運ぶ)	T04 (伝言を頼む) ↓ TC2.2 T04 (指示する) ↓ T04 (注文をきく) ↓ TC2.2 T04 (伝言を伝える) ↓	
00' 25"	義男 (洗面所から声だけ) 010 石けん、ないぞ。 泰子 (ふり向く) 011 あっ。(ドアの方へ行く) (義男、洗面所にいる) 泰子 (廊下のドアを開け、ドアに手をかけたまま) 012 下の棚を見てください。 義男 (ふり向く) 013 下の棚? (洗面台の下を開けてのぞく) 泰子 014 ええ。015 あった? 義男 (泰子の方を見て軽くうなずく) 016 ああ。(かがんで石けんを取り出す)	D03.2 T04 (石けんの場所をきく) ↓ TC2.1< ↓ ↓ TC2.3 ↓	下に戸棚のついた洗面台。
00' 47"	(泰子、食堂に戻ってくる。敬一、漫画を読んでいる) 泰子 (敬一のそばに立ち止まり、きつい口調で) 017 敬一、早く本をしまいなさい。 敬一 018 分かったよ。(漫画を閉じ、後ろに置く)	T04 (指示する) ↓ TC2.2	漫画雑誌。
01' 01"	(義男、腕時計をはめながら食堂に来てテーブルにつく) さと (義男に) 019 部屋の片付けは済んだのかい。 義男 020 うん。021 もう少しだよ。 さと 022 少しは、(泰子を顔で指す) 泰子さんの方も手伝いなさいよ。 義男 (首を斜めに振り、うんざりした口調で) 023 やってますよ。(さと、うなずく)	T04 (進行状況を尋ねる) → (手伝うよう要求する) ↓ ↓ ↓	普段着の家族。エプロンかけた主婦。
01' 12"	(エプロンを取った泰子、ほほえみながら御飯茶わんを持って来て食卓につく。まゆみ、敬一の隣にすわっている) 泰子 024 さあ、お待たせしました。025 いただきますよ。 全員 026 いただきます。(さと、軽く頭を下げる。一同、食べ始める)	T04 (食事を始める) ↓ ↓	和風の朝食。茶わんの御飯。おわんのみそ汁。箸。おかずの魚、卵、のり等。

泰子(義男に) 027 あなた、食事が終わったら、クーラー、みて。(味付のりの袋を破りながら) 028 それから、敬一とまゆみの部屋の片付けを手伝ってちょうだい。  
 義男 029 うん。  
 さと(泰子に) 030 それじゃあ、わたしは掃除をするわ。  
 泰子(さとを見る) 031 あっ、お願いしてよろしいですか。  
 さと 032 ええ、いいですよ。

T04 (用事を  
↓ 頼む)  
↓  
↓  
→ (用事を引き  
↓ 受ける申し  
↓ 出)

【場面②】 同日日曜日の朝食後。敬一の部屋。義男と子供達、片付けをしながら、散歩に行く相談をする。

#### 登場人物

吉岡泰子 (女性、主婦、義男の妻)  
 吉岡義男 (男性、泰子の夫)  
 吉岡さと (女性、義男の母、泰子の義母)  
 吉岡敬一 (男性、小学生、義男・泰子の長男、まゆみの兄)  
 吉岡まゆみ (女性、小学生、義男・泰子の長女、敬一の妹)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
	(義男、敬一と二人で本の整理をしている)	
01' 39"	義男(本を手を持つ) 033 ほら、この本、どこへ入れるんだ。 (本を敬一の前にさし出す) 敬一(ふりむいて後ろを指す) 034 その辺でいいよ。 義男(手のひらで指す) 035 そっちは教科書だろう。(反対側の 本棚を見る) 036 分けて入れとけよ。(本を敬一に渡す) 敬一 037 うん。(受け取って本棚に入れる)	T04 (本を片付け ↓ る) ↓ ↓ ↓ TC2.2
	(まゆみ、入ってくる)	
01' 53"	まゆみ(義男に) 038 ねえ、ねえ、お父さん、まゆみのお部屋も 手伝ってよ。 義男(手のひらを段ボール箱のふちを押さえるように置く) 039 お兄ちゃんのところが終わったらね。 敬一(後ろから本を取り、まゆみに差し出す。命令口調で) 040 おい、まゆみ、これ、お前んだ。041 持ってけよ。 まゆみ(手を出さず逆らう口調で) 042 お兄ちゃん、持ってって よ。 義男(右手のひらで敬一の後ろを指し、うんざりした口調で) 043 そこへ置いとけ。	D01.2 T04 (手伝 ↓ いを頼 TC2.2 む) ↓ T04 (物を持って ↓ 行かせる) TC2.2 ↓ ↓ TC5
	(まゆみ、その場に座り、近くの本を開く。泰子、入り口に現れる)	
02' 04"	泰子(ドアの外から) 044 敬一、洗濯するから、パジャマとシー ツ、出してちょうだい。 敬一 045 はい。 (パジャマとシーツを取り、ドアのところへ行行って泰子に渡 す) 046 はい。 泰子(受け取る) 047 片付けが終わったら、早く勉強しちやいな さい。(軽くうなずく) 敬一(うなずく) 048 うん、分かった。	D01.2 T04 (洗濯 ↓ 物を出 ↓ させ ↓ る) TC2.2 T04 (勉強 ↓ させ TC2.2 る)
	(泰子、行ってしまふ。廊下で掃除機をかけるさと。洗濯をしている泰子。 まゆみ、床に座り、足を投げ出して本を見ている)	再び敬一の部屋。

子供の勉強  
部屋。壁ぎ  
わに本棚と  
棚のついた  
整理だんす。  
本棚に並ん  
だ本。障子  
窓。ドアが  
開いている。  
床に本の入  
った段ボー  
ル箱。

電気掃除機  
で掃除。洗  
濯機での洗  
濯。

02' 24"	まゆみ(義男を見て) 049 ねえ、お父さん、今日、どこかにつれてつてよ。	T04 (どこかへ連れていくように頼む)
	義男(まゆみを見る) 050 うん、(手もとの本を見る)……そうだな。(考えながら後ろの本棚を振り向きかける)	↓
	敬一(顔を上げて義男を見る。明るい口調で) 051 動物園がいいな。	↓
	義男(敬一を見る) 052 それは無理だよ。(本棚に本を入れる)	↓
	敬一(上体をやや乗り出す) 053 じゃ、どこでもいいよ。	↓
	義男(両手をひざに置きながらまゆみの方へ上体を乗り出し、次に敬一を見る) 054 城山公園へ行ってみようか。	T04 (公園へ行く提案)
	まゆみ 055 うん。 056 行こう、行こう。(敬一、ほほえんで何度かうなづく)	↓ TC2.2
	義男(まゆみに) 057 よーし、(うなづく) じゃあ、お母さんに言ってごらん。	↓ TC4.2
	まゆみ 058 言ってこようっと。(本を横に置き、立ち上がって出て行く)	↓ DC3.1
(敬一、	段ボール箱の本を本棚に入れている。さと、入ってきて座る)	
02' 50"	さと(段ボール箱を見る) 059 まだ終わってないのかい。	[ D03.2
	敬一(左手を突いてさとの方へ乗り出し) 060 もうすぐだよ。(さと、そばの本を取り上げ、見る)	↓ D03.2
	義男(敬一と一っしょに段ボール箱のふたを閉じながら) 061 さあ、これでだいたい終わりかな。(さと、二人の方を見る)	T04 (ひとりごと)
	062 次は、まゆみの部屋か。	↓
	(顔を上げ、ドアの方を振り向き、大声で) 063 おーい、まゆみ、おいで。 064 まゆみの部屋だよ。(さと、敬一、一緒にドアの方を見る)	[ D01.2

(まゆみ、義男の後ろを通り、遊具に登りはじめる。義男、右手を遊具の柱につき、まゆみをのぞき込み、近づいてくる泰子振り向いてほほえみ、また遊具の上の敬一とまゆみを見る。泰子、義男のとなりに来て立つ)

03' 45"	敬一 (泰子を見下ろして) 074 ああ、のど、乾いた。 泰子 (水飲み場を顔で指す) 075 お水、飲んでらっしゃい。 敬一 076 ジュース、買ってよ。 まゆみ 077 わたしにも買ってよ。 泰子 (敬一からまゆみに視線を移してから二人に) 078 だめですよ。079 おうちに帰ればあるでしょう。 敬一 080 ちえっ。081 つまんないの。(横を向く。義男、泰子、笑う)	T03.1 (ジュース ↓ 買って ↓ もらう) ↓ TC2.2 ↓ TC3
03' 57"	泰子 (腕時計を見て) 082 さあ、(敬一を見上げる) そろそろ帰りましょうか。(義男を見る) 義男 (泰子を見てから時計を見る) 083 うん。(敬一・まゆみに手で合図しながら) 084 さあ、降りて、降りて。(敬一、まゆみ、降りる)	T04 (帰る提案) ↓ TC2.2 TC4.2
(4人、出口に向かう)		
04' 13"	義男 (敬一の後ろから左手を回し、左肩をたたく) 085 また、来ような。 敬一 086 今度は、ジュース買ってよ。 まゆみ (泰子を見上げる) 087 わあ、楽しかった。 泰子 (まゆみの左肩に後ろから左手をかける) 088 そう。(クレジット)	T04 (また来る提 ↓ 案) ↓ T04 (感想) TC2.3
04' 21"		

向こうに電話ボックス、車止めの柵、街灯、電柱、ジュースの自動販売機などが見える。

# セグメント 12 友達を誘う —友達の家で—

【場面①】団地の中の敏子の家。泰子が訪ねてきて、川越の提灯祭りに行くことになる。敏子は、カルチャーセンターで知り合った共通の友人・ベティに電話して誘う。

## 登場人物

吉岡泰子 (女性、敏子・ベティとは以前カルチャーセンターで知り合った)  
 中野敏子 (女性、泰子・ベティの友人)  
 ベティ・スミス (女性、泰子・敏子の友人、電話の相手、登場はしない)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
	(ショルダーバッグをかけ、紙袋を提げて団地の中を歩く泰子。ドアの前にやってくる。チャイムを鳴らす)	
00' 06"	泰子 001 ごめんください。(ドアが開く) 敏子 (上半身を伸ばし、ドアを開けて) 002 あっ、吉岡さん。 泰子 003 お邪魔します。 敏子 004 さあ、どうぞ。(泰子、中に入り、ドアを閉める)	D01.2 D01.1 D02.1
(居間、00' 17"	二人、テーブルをはさんで座っている) 敏子 (泰子の前におしぼりを置き、テーブルの上で両手の指を組む) 005 どうぞ。 泰子 006 どうも。 敏子 (泰子を見る) 007 暑かったですよ。 008 何、お飲みになる？ 泰子 (おしぼりを取って手を拭きながら敏子を見る) 009 じゃ、お茶、くだらない？	T04 (おしぼりを ↓ 勧める) ↓ T04 (飲み物の好 TC2.2 みを聞く)
(敏子、00' 17"	うなずき、お茶を入れ始める) 泰子 (おしぼりを置き、横の床から菓子包みを取り上げ、体の前に持って一度見てから、敏子を見て、敏子の斜め前のテーブルの上に置く) 010 これ、そこで買ってきたの。 敏子 (お茶をいれながら包みを見る) 011 あら、(泰子をちらっと見る) 悪いわね。 (もう一度泰子をちょっと見る) 012 おうちのほうは、もう片付いた？(魔法びんの湯を茶わんに注ぎ、それを急須に移す) 泰子 013 ええ。(敏子の手もとを見ながら) 014 この間の日曜日に、お母さんや主人に手伝ってもらって、(敏子の顔を見る) ほとんど片付いたわ。 敏子 015 そう。016 じゃあ、もう一段落ね。 泰子 017 ええ。 敏子 (泰子の顔を見る) 018 今日は、ゆっくりなさって。 泰子 019 ええ。(腕時計を見てから敏子を見る) 020 でも、夕方にはおいとまするわ。	T04 (手みやげを ↓ 渡す) ↓ ↓ TC3 T04 (引っ越しの ↓ 様子を尋ね ↓ る) ↓ ↓ ↓ ↓ → (その日の予 ↓ 定) ↓ → (祭りに行く ↓ 提案) ↓ ↓ ↓ TC2.2
01' 03"	敏子 021 あっ、(上半身をやや乗り出す) ちょっと川越のちょうちん祭り、見に行ってみない？(茶わんに茶を注ぐ) 泰 (やや乗り出す) 022 ちょうちん祭り？ 敏子 (お茶を注ぎながら) 023 ええ、川越の。 泰子 024 あら、いいわねー。(ほほえんで視線を落とし、また敏子を見る) 025 じゃ、行ってみようかしら。(敏子、顔を上げてほほえむ) 敏子 026 はい、どうぞ、お茶。(茶わんを茶托に乗せ、泰子の前に置く) 泰子 (手を伸ばし受け取る) 027 どうもありがとう。	↓ T04 (茶を勧 ↓ める) ↓

典型的な団地。植え込みの木。路上駐車。車のベランダに干してある布団、洗濯物。屋上にテレビのアンテナ。  
 団地内の住宅の玄関。ドアの脇の表札。チャイムのボタン。  
 サイドボードの上の観葉植物。本棚。ひものれん、簾のついたて、窓のカーテン。  
 座卓に急須、湯のみ、茶筒、茶托等。そばに魔法びん。  
 おしぼり。手みやげ。お茶を入れる。



01' 18"	敏子（茶筒をもとに戻し、泰子を見る）028 ああ、それから、ベティさん、（泰子、やや不審な顔をする。敏子、やや乗り出して）ほら、カルチャーセンターでいっしょだった。 泰子 029 ああ、ベティさん。（うなずき、茶わんを持つ） 敏子（両手をそろえ、テーブルの上にのぼす）030 あのひとこの間、偶然、道で会って。031 そしたら、（顔で横の方を指す）このすぐ近くに住んでるの。（泰子、感心した風に笑顔でうなずく）032 びっくりしちゃった。 （やや乗り出して）033 ベティさんも、お誘いしてみましようか。	→（ベティの近況） ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	泰子（うれしそうに）034 あら、わたしもお会いしたいわ。 敏子 035 じゃ、お電話してみるわ。	T04（ベティを誘う提案） ↓ TC2.2 <u>TC4.2</u>
（敏子、01' 42"	立って部屋の奥へ行き、電話する。泰子、お茶を飲む） 敏子 036 もしもし、あっ、中野です。 敏子 037 ええ、いま、吉岡さんが見えてるんです。038 もし、よろしかったら、わたしのところにいらっしゃいませんか？ 039 三人で川越のちょうちん祭りにでも行ってみようって、話しているんですが。	D01.1, D02.2 T03.1（祭りに誘う） ↓ ↓ ↓
02' 09"	敏子 040 ……そう。 敏子 041 ……じゃあ、お待ちしてます。 敏子（テーブルに向かって歩きながら）042 すぐおいでになるって。 泰子（うなずく）043 そう。（敏子、座る）	TC4.2 DC3.2 ] T04（電話の報告） ↓ <u>TC2.3</u>

カバーのかかったピアノの上の電話機。

来客のもてなし

## 川越の提灯祭り

## 表現

【場面②】 敏子の家。泰子が待っている。敏子は昼食の用意をしている。電話で誘われたベティが訪ねてくる。

## 登場人物

時 間	発話者・文番号・発話内容（非言語行動）	談話構造（話題）
	（団地の外景。バルランダの洗濯物。居間で本を開き見る泰子。玄関のチャイムが鳴る。泰子、ふり向く。玄関の前のベティ）	
02' 23"	敏子（中から）044 どちら様でしょうか。 ベティ 045 ベティです。	<div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> D01.1 D02.2 </div>
	（ドアが開く） 敏子 046 ああ。（ベティ、軽く頭を下げる）いらっしやい。	<div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> D02.1 </div>

	047 すぐ分かりました？			
	ベティ 048 ええ。（頭を下げる）049 お電話、ありがとう。		D03.1	
	敏子 050 さあ、お入りになって。			
	ベティ 051 失礼します。（頭を下げ、中に入る）		D03.2	
	敏子（ベティの前に立って部屋に入りながら）052 吉岡さんもお		D02.1	
02' 44"	待ちよ。（テーブルの前に座る）		D02.1	
	泰子（膝で立つ）053 こんにちは。054 おひさしぶりです。			
	ベティ 055 こんにちは。056 お元気そうですね。			
	泰子 057 ええ。			
	敏子（座ぶとんをテーブルの脇に置き、ベティに勧める）058 さ			座ぶとん。
	あ、どうぞ。（ベティ、バッグを横に置き、座る）			
	（ベティの方に乗り出して）059 いま、おそうめん、作ってる		T03.1（昼食を勧	
	の。060 ベティさん、めしあがるでしょう。		める）	
	ベティ（両手をひざで重ねる）061 ええ、好きですけど。（首を		↓	
	かしげる）062 でも……。		↓	
	敏子（乗り出して）063 めしあがって。064 三人分、もう用意し		↓	
	てあるの。		↓	
	ベティ（うなずく）065 じゃ、ごちそうになります。		TC2.2	
	敏子 066 ちょっとお待ちになっています。（ベティの前におしぼ		↓	
03' 12"	りを置き、立って台所へ行く。ベティ、おしぼりを取る）		↓	DC4]
	泰子（手をテーブルの上で組む）067 もう、どれぐらいお会いし		T04（前に会	おしぼり。
	なかったかしら。		↓	
	ベティ（おしぼりで手を拭きながら）068 そうですね。（斜め上		↓	
	の方を見てから、泰子を見る）069 一年半ぐらいですね。		↓	
	泰子（小さくうなずく）070 それで、ご研究のほうは、日本文化		↓	
	の。		↓	
	ベティ 071 ええ。（おしぼりを戻し、手をひざの上で重ねる）		↓	
	072 いま、東上大学の研究室に行っています。		↓	
	泰子（うなずく）073 ああ、そうですか。		↓	
03' 34"	敏子（台所から）074 お待ちどおさま。（泰子、ベティ、台所の		↓	
	方を見る。敏子、テーブルに物を置きながら）075 さあ、こち		↓	
	らへ。		↓	
	泰子（ベティと顔を見合わせて）076 じゃ、ごちそうになりまし		↓	
	ょうか。		↓	
	ベティ 077 はい。		↓	
(泰子、	ベティ、立ち上がり、食卓のところへ行く)		↓	
	敏子（手でいすを指す）078 さっ、おかけになって。（二人、い		↓	
	すを引き、座る）		↓	
	ベティ 079 おいしそう。		↓	
	泰子 080 おいしそう。		↓	
	081 いただきます。		↓	
	ベティ 082 いただきます。		↓	
	敏子 083 はい。（二人を見る）084 どうぞ、めしあがって。		↓	
	（3人、はしを持つ。敏子、薬味を手で指す）085 もし、よろ		↓	
	しかったら。		↓	
	泰子 086 はい。（薬味を入れ、そうめんを取り、食べる。（ベ		↓	
	ティ、薬味を入れ、そうめんを取って食べる）		↓	
	敏子（薬味を取りながら）087 どう、おいしい？		↓	
	泰子 088 うーん、おいしい。		↓	
			T04（味を尋ね	
			TC2.1 る）	

【場面③】川越の提灯祭り。泰子、敏子、ベティは、祭りを見物し、互いに写真を撮る。

# 登場人物

吉岡泰子 (女性。敏子・ベティとは以前カルチャーセンターで知り合った)

中野敏子 (女性。泰子・ベティの友人)

ベティ・スミス (女性。泰子・敏子の友人)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
04' 24"	<p>(夜。提灯祭り。敏子、泰子、ベティ、歩いてお面の夜店の前に来る)</p> <p>敏子 (二人を引きとめて) 089 ちょっと、写真とりましょう。</p> <p>(敏子、夜店に向かってカメラをかまえる。泰子、ベティ、夜店の前に立つ)</p> <p>敏子 090 はい。(写真を撮る)</p> <p>泰子 091 あっ、どうもありがとう。</p> <p>ベティ (泰子の方を振り向いてから敏子に) 092 今度は、わたしがとりましょうか。(敏子に近づく)</p> <p>敏子 093 そう、じゃあ、お願いするわ。(ベティにカメラを渡し、泰子と並んで夜店の前に立つ)</p> <p>ベティ 094 はい。(写真を撮る)</p> <p>(蔵づくり前を歩く人々。祭りを見る家族。浴衣姿の女の子。夜店、楽しそうな3人)</p>	<p>紋所のついた提灯をつけて立て並べられたさお。お面、ヨーヨー、たこ焼きの夜店。浴衣を着た人々。蔵づくりの古い町並。</p>
05' 05"	<p>(クレジット)</p>	

### 3. ユニット 3 人のことばにこたえて —承諾・断りと注目表示— (セグメント 13 ~ 18)

**ユニット3の概要** 依頼や要求を学習項目としたユニット2に続いて、このユニット3では、それに対する受け答えを主なテーマとしている。相手のことばに対する返答、中でも、相手の頼みを断るといった場合には、相手の気分を損ねないよう、ことばを適切に選択し、表現をやわらげる必要がある。例えば、断りを言う場合には、その方策として、理由を述べる、声や表情で気がすまないことを示す、はっきり答えるのを回避して相手に察してもらう、といったさまざまなものが考えられ、このユニット3の中で、そうした例が提示されている。映像の中に現れる断りの場面について、その話し手が、相手との関係やことばの性質、その場の状況などをどのようにとらえ、どのような配慮を持って自分の意思を表しているのかに目を向けることによって、日本語で効果的なコミュニケーションを行うための訓練に役立てることができる。

もう一つのテーマ「注目表示」は、相手の存在や発言を認識したことを表す機能である。詳しい定義は『日本語教育映画基礎編 総合文型表』(国立国語研究所 1987, (株)日本シネセル発行)やこの後に刊行される『日本語教育映像教材 中級編 関連教材』の他の巻を参照されたい。たとえば、「はい」などの返事、相手の発言を受ける「そうですか」、質問の答えを述べる前にクッションとして言う「うーん」「そうですね」などのことが担う役割がそれで、やりとりの流れをスムーズにし、雰囲気をやわらげる働きを持つ機能である。その意味では、「おことばを返すようですが」などの前置き表現も、同様の効果を持つものと考えられる。これらは、目立たない要素でありながら、それらがなければ会話が円滑に進まないという意味で、自然な日本語のやりとりを指導する上で軽視できない部分と言える。

#### 主な登場人物

- 岸本喜美子 (女性。智明・貞子の長女。MJストアのマーケッター)  
沢木雄二 (男性。沢木雅広の甥。フリーカメラマン)  
沢木雅広 (男性。沢木雄二のおじ。岸本智明の古くからの友人)  
岸本智明 (男性。喜美子の父。沢木雅広の友人。ユニット1でも登場した。機械メーカー・池田製作所の製造部長)

#### 場面一覧

##### セグメント 13 お見合いを勧められる

場面① 9月末、日曜の午後。沢木雄二の自宅の部屋。沢木雅広が入ってきて、喜美子との見合いを勧める。

場面② 10月初めの平日の夜。岸本家の客間。沢木雅広が喜美子に雄二との見合いを勧める。

場面③ 翌日。喜美子の勤め先・MJストアのオフィス。喜美子が同僚に見合いの話をする。

##### セグメント 14 お見合いをする

場面① 10月の第一日曜日。沢木雅広の家の座敷。雅広夫婦が雄二と喜美子に見合いをさせる。

場面② 後刻。雅広家近くの公園。雄二と喜美子、歩きながら話す。

場面③ その日の夕方。岸本家のダイニングキッチン。喜美子が母に、見合いを断るよう頼む。

場面④ その夜。喜美子の母が沢木雅広に電話し、見合いを断る。

##### セグメント 15 提案をする

場面① 10月下旬の平日の午後。MJストアの会議室。喜美子が課内の企画会議に新商品を提案する。

場面② 数日後の平日の終業後。MJストアの喜美子のオフィス。雄二の写真を宣伝ポスターに使用することになる。

##### セグメント 16 仲人を頼む

場面① 2月下旬の日曜。沢木雅広家の以前見合いをした座敷。雄二と喜美子が雅広に仲人を頼むが、断られる。

場面② その週の火曜日の終業時。喜美子が課長に仲人を頼み、承諾を得る。

##### セグメント 17 結婚式場を決める

場面① 2月中旬の土曜日の午後。結婚式場相談所。雄二と喜美子、式場を予約する。

場面② 翌日の日曜日の午後。不動産屋の店。雄二と喜美子が新居を探しにくる。

場面③ 後刻。案内された空き家のマンションの一室。雄二と喜美子、下見をするが、断る。

場面④ 後刻。案内された空き家一戸建。雄二と喜美子、下見をするが、断る。

##### セグメント 18 スピーチを頼む

場面① 3月上旬の金曜日夜。炉端焼き屋。雄二が友人を披露宴に招待し、車を貸してくれるよう頼む。

場面② 翌週の月曜日の昼休み。MJストア近くのビル周辺のベンチ。喜美子、友人に披露宴でのスピーチを頼む。

場面③ 4月18日土曜日午前11時45分ごろから、午後3時ごろまで。ホテルの結婚式場。雄二と喜美子の結婚披露宴が行われる。

## セグメント 13 お見合いを勧められる

【場面①】 9月末、日曜の午後。沢木雄二の自宅の部屋。沢木雅広が入ってきて、岸本喜美子との見合いを勧める。

### 登場人物

沢木雄二 (男性、30歳。フリーカメラマン。沢木雅広の甥)  
 沢木雅広 (男性、50代。沢木雄二のおじ)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
	(雄二、ローテーブルに置いたビュアの上でネガを見ながら仕事をしている。テーブルの隅にカメラ、ステレオが鳴っている。おじ、ドアを開け、突然入ってくる)	
00' 12"	おじ 001 お、やってるな。 雄二 (目を上げず) 002 あ、おじさん。 おじ (雄二の向かいに正座で座り、腕を組んでテーブルにつく) 003 お前、誰か付き合ってる人、いるのか。 雄二 (驚いて目を上げる) 004 え、なに、いきなり。(音に気がつき、振り返ってステレオのボリュームをしぼる) おじ 005 どうなんだ。 雄二 (目をそらし、またおじを見て苦笑する) 006 ……別に。 おじ 007 いい人がいるんだ。(にやりと笑いながらあぐらをかく) 008 おれの友達の娘でさ。009 今度、会ってみろ。(下を見て感じ入った風) 010 うーん、あの子はいいよ。011 ちっちゃい時からよく知ってるし。 雄二 012 それ、見合いってこと? おじ 013 お前も、もう30だったな。 雄二 (照れてカメラを取り、プロアで掃除しはじめる) 014 歳は関係ないよ。 おじ 015 お前はよくったって、おやじさん来年は定年だぞ。 雄二 (一度おじを見て、またカメラに目をもどす。怒った口調で) 016 わかってるよ。 おじ 017 じゃ、今度写真持ってくるから。	D01.1 D01.1 T03.2 (見合いを勧める) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ TC4.2
	(おじ、立って出ていく。雄二、まんざらでもなさそうな顔)	

現在一般的な日本式家屋の外景。洋間の室内。壁に写真。壁ぎわにステレオのセット。ビュアと呼ばれるランプの入った箱の上に写真のネガをのせ、見ている。床に Cutter。プロアは小さなふいごのようなもので、カメラのレンズに空気を吹きつけてほこりを取るのに使う。

### 縁談

ある人を結婚相手の候補とする提案を「縁談」と言い、結婚適齢期になった男女に、年長の親戚や知人が縁談を持ってくることがよく行われる。場合によっては、当人やその親が、適当な人に結婚相手の紹介を頼むこともある。紹介された相手とは、普通、「見合い」をして、その結果によって結婚するかどうかを判断するので、このような手順で結婚することを「見合い結婚」と呼んでいる。それに対して、職場の関係や友人の引き合わせで当人同士が直接知り合って結婚する形を「恋愛結婚」と呼んでいる。以前の日本では、見合い結婚が本来あるべき形とされていたが、現在では、自由に好きな相手を探せる恋愛結婚を望む人が増えている。しかし、年長者が責任を持ってよい相手を紹介してくれる見合い結婚の利点を認める人も多く、見合いは、今でも、普通の習慣として続いている。最近では、結婚相談所が、おおぜいの男女のデータの中から適当な相手を紹介するシステムも利用されている。

### 表現

「それ〜ってこと？」(seg.13①-012) 基本的な形は「それは〜ということですか」等。相手の発言の真意をたずねる表現。単純に自分の理解が正しいかどうか確認するために用いることもできるが、相手の発言がその通りだとすれば問題がある、といった非難を含むことが多く、上位の相手に対して用いるには注意を要する形である。

【場面②】10月初めの平日の夜。岸本家の客間。沢木雅広が喜美子に雄二との見合いを勧める。

#### 登場人物

岸本喜美子（女性、26歳。MJストアのマーケッター。智明・貞子夫婦の長女。沢木雅広は子供の頃からの顔なじみ）  
 沢木雅広（男性、50代。沢木雄二のおじ。岸本智明の昔からの友人）  
 岸本智明（男性、50代。貞子の夫。喜美子の父。沢木雅広の友人）  
 岸本貞子（女性、50代。智明の妻。喜美子の母）

時 間	発話者・文番号・発話内容（非言語行動）	談話構造（話題）	洋風の居間。ガラス戸を背に、ソファ、ひじかけいす、ローテーブルの応接セット。壁ぎわにサイドボード。テーブルに湯のみ。OLが持つショルダー式のバッグ。表紙のついた見合い写真。わざと写真は見ずに断る。
01' 13"	<p>（雄二のおじ、喜美子の父・母、話している。喜美子、帰宅し、入ってくる）</p> <p>喜美子 018 ただいまあ。（おじを見る）</p> <p>019 あら、おじさま、いらしてたんですか。（頭を下げる）</p> <p>おじ 020 ああ。</p> <p>021 やあやあ。022 忙しそうだね。</p> <p>父（喜美子に）023 ちょっとすわんなさい。</p> <p>喜美子 024 あら、なにかお話？（ショルダーバッグをはずし、ソファの端に座り、バッグを横の床に置く）</p> <p>父 025 ああ。026 これ見せていただきなさい。（テーブルの見合い写真を取って渡す）</p> <p>喜美子 027 えーっ、お見合い？（おじを見ながら写真をひざに置く）</p> <p>おじ 028 うん、実はわたしのおいなんだけどね。</p> <p>喜美子 029 あ、そう。</p> <p>030 だって、まだわたし……。 （目を伏せ、写真を開かぬままテーブルに置く）</p> <p>おじ（ほほえんで）031 いやあ、いい男だよ。032 フリーでカメラマンやってるんだけどね。</p> <p>喜美子 033 そうですか。（言いにくそうに両親の顔などちらちら見ながら）034 でも、わたし自分で探しますから。</p> <p>父（喜美子を見て、やや厳しく）035 一度ぐらいお会いしてみてもいいんじゃないか。</p> <p>母（笑顔で）036 そうよ。（持っていた湯のみをテーブルに置く）037 沢木さんもせっかくおっしゃってくださるんだから。</p> <p>父（母の方をちらっと見てうなずく）038 うん。</p> <p>（喜美子、断りたそうにおじ・両親の顔とテーブルの写真をちらちら見る）</p>	<p>D02.1</p> <p>D01.1</p> <p>D01.1</p> <p>D03.2</p> <p>T01.1（見合いを勧める）</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>TC2.2</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p>TC2.2</p> <p>TC1.2</p> <p>↓</p> <p>TC3</p> <p>↓</p> <p>↓</p>	

#### 見合い写真

男女が見合いをする前に、互いの写真を届けることが多い。また、ある人の結婚相手を探すよう頼まれた人が、写真を預かっておき、適当と思う相手に見せて見合いを勧めることもよくある。そのために用意する写真は、大判の上半身を写したものと全身を写したものが普通で、それに小さいサイズのスナップ写真を何枚か添えることも多い。

#### 表現

「だって～」（seg.13②-030, seg.18②-057, seg.18②-061, seg.19③-043, seg.23①-009）相手が言ったことに反対する気持ちを表す言い方。親しい相手に対して、感情的に反論する態度を表す。



## セグメント 14 お見合いをする

【場面①】10月の第一日曜日。沢木雅広の家の座敷。雅広夫婦が雄二と喜美子に見合いをさせる。

### 登場人物

沢木雄二 (男性、30歳。フリーカメラマン。沢木雅広の甥)  
 岸本喜美子 (女性、26歳。MJストアのマーケッター。沢木雅広の親しい友人・岸本智明の長女)  
 沢木雅広 (男性、50代。雄二のおじ。喜美子の父の友人)  
 沢木 翠 (女性、50代。雅広の妻。雄二のおば。喜美子とは子供の頃からの知り合い)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
	(おじの隣に雄二、雄二の向かいに喜美子、卓を囲んで座っている。喜美子の隣の席が空いている)	
00' 01"	おじ 001 それじゃ、(咳払い) ええ、改めて。(咳払い) 002 これが、あっ、いや、(雄二を見る。雄二もちらっと見返す) こちらが、沢木、雄二、……君で、うー、仕事が写真屋で。	D05 T04 (両者を紹介 ↓ する)
	(おば、お茶を盆に乗せ持って入ってくる。空いている席に座り、お茶を出す。喜美子、ちょっと頭を下げる)	
	雄二 (おじに顔を寄せ、ひそひそ声で) 003 おじさん、写真家です。(喜美子をちらっと見る)	↓
	おじ 004 う、あ、そうか。(雄二にほほえみながら) 005 そう	→ (受賞のこと ↓ に触れる)
	いえばこの間、なんか貰もらったって言ったな。	↓
	雄二 006 えっ、(おじと喜美子をちらっと見る) ええと、写真協会新人賞を。(目を伏せる)	↓
	喜美子 (感心した風にうなずいて) 007 はあ。	↓
	おば 008 喜美子さん、(のぞき込む) どうぞめしあがって。	T04 (茶菓を ↓ 勧める)
	喜美子 (会釈して) 009 はい。	↓
00' 48"	おじ 010 それで、ええ、こちらが岸本喜美子さんだ。(雄二を見る) 011 お仕事が、スーパーのMJストアで、ええ、……。(下を向いて言いよどむ)	↓
	喜美子 (おじのことばを引き取って) 012 自社商品の開発と販売企画をいたしております。	↓
	おじ 013 そうそう。(雄二に) 014 そうなんだよ。	↓

最近の住宅の日本間。小さい床の間があり、軸がかかっている。横はふすまの押し入れ。障子のはまった窓。壁に色紙の額。壁ぎわにたんす。中央にレースのテーブルクロスのかかった座卓。まわりに座ぶとん。茶托にのせた湯のみ。菓子皿の上の和菓子とくろもじ。男性はスーツにネクタイ。女性はややフォーマルなワンピース。

	(画面、ワイプ。少々の話があった後)	
01' 12"	おば (おじに) 015 あなた、よそいきのお話はそれぐらいで……。	DC1.1
	おじ 016 うん？	
	おば 017 少しお二人だけで話していただいたら。(手で後ろをさして、雄二に) 018 この先の公園、雄ちゃん、知ってるわね。(雄二、うなずく) 019 ちょっとご案内して、歩いてらっしゃい。	T04 (二人で散歩するよ ↓ う提案)
	おじ 020 おお、そうそう。021 そらいい。(雄二に) 022 行ってこい、行ってこい。	TC2.2
	喜美子 (雄二を見て、湯のみのふたを閉めながら) 023 じゃあ……。	TC2.2 DC3.1
	雄二 024 あ、それじゃ。(つられて湯のみのふたを閉め、立ちかける)	TC2.2 DC3.1 ↓

### 見 合 い

結婚相手を探している男女が、紹介者の紹介で会うことを「お見合い」と言う。現代では、ここに描かれているように、紹介者の家や、ホテルのロビー、レストランなどで会ったり、一緒に演劇を見に行くなどの形で二人を引き合わせることが多い。見合いの結果、結婚を承諾するか断るかは、紹介者を通して伝える。見合いのときの紹介者が結婚式で仲人をつとめることが多いが、式はまた別の人に仲人を頼むケースもかなりある。



## 座敷

日本式住宅の畳を敷いてある部屋を座敷と言う。都市部の個人住宅では、洋式の部屋が多くなっているが、来客の応対に使う部屋や老人の居室としては、座敷を作ることがよくある。本格的な座敷は、隣室との間をふすま、廊下との間を障子で仕切り、床の間と違い棚を作る。スペースが十分にとれない小さな部屋では、床の間を小さくしたり棚を省略したりした簡略なものも見られる。座敷では、床の間がある方が正面とされ、そこを背にする位置が上座、入り口に近いほうが下座になる。その場で最も上位の人が上座にすわることになる。

【場面②】見合いの後。雅広宅近くの公園。雄二と喜美子、歩きながら話す。

### 登場人物

沢木雄二 (男性、30歳。フリーカメラマン。おじ・沢木雅広の紹介で喜美子と見合いをした)  
岸本喜美子 (女性、26歳。MJストア勤務。父の友人・沢木雅広の紹介で雄二と見合いをした)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)	
(雄二、喜美子、歩いている。雄二が黙っているのを、喜美子、話しだす)			都市部のか なり大きな 公園。中央 に池。周囲 のところで ころにベン チ。石を敷 いた遊歩道。 木々は色づ きはじめて いる。
01' 49"	喜美子 (雄二をのぞき込んで) 025 沢木さんは、どんなお仕事が多いんですか。 雄二 (喜美子をちらっと見る) 026 多いというと、……まあ、いろいろ……。 (またちらっと見て目をそらす) 喜美子 027 はあ……。 028 あ、お仕事じゃなくて、ご自分のテーマもお撮りになるでしょう。 雄二 029 ええ、一応……。 喜美子 030 はあ……。 031 どんな、あのう、ものを? 雄二 (前を向いたまま) 032 自然、かな。 喜美子 033 あ、じゃ、風景とか、お花とか。 034 私も好きだわ。 雄二 035 ほんと、人間なんですけど。 (喜美子をちらっと見る) 036 むずかしいですね。 喜美子 037 人間。 038 むずかしいんですか。 雄二 (喜美子をちらっと見る) 039 ええ、むずかしい。 喜美子 040 はあ……。	T04 (仕事のことを尋ねる) ↓ TC2.1 ↓ T04 (自分のテーマについて尋ねる) ↓ TC2.1 ↓ ↓ ↓ ↓ TC2.1 ↓	
(やや間があく)			
02' 37"	喜美子 041 私もよくカメラマンの方に商品の写真お願いしますけど、そういう宣伝みたいなものっておきらいかしら。 雄二 042 いや、そういうのもやっぱり人間だから。	T04 (商品写真について) ↓ TC2.1	
02' 54"	喜美子 (けげんな顔でやや考える) 043 自然のものをお撮りになるんだったら、……、あのう、どんなところへいらっしゃるんですか。 雄二 (少し考えてから) 044 大雪山は……よかったな。 045 雪で。 喜美子 (元気づいて) 046 あ、大雪は私、去年、八月に行きました。 (思い出すように宙を見る) 047 雪の時期はきれいでしょうね。 048 行ってみたいな。 雄二 (言下に) 049 寒いですよ。 喜美子 (少しがっかりする) 050 あ、沢木さん、暑い方が好きなんですか。 雄二 (首をかしげる) 051 いや、あまり暑いのはちょっと。	T04 (撮影の場所について) ↓ TC2.1 ↓ → (大雪へ行ったこと) ↓ ↓ ↓ → (暑い、寒いのがどちらが好きか) TC2.1	
(喜美子、理解しかねた表情。二人、黙って歩き続ける)			



【場面④】 見合いをした日の夜。喜美子の母が沢木雅広に電話し、見合いを断る。

# 登場人物

岸本貞子 (女性、50代。喜美子の母。沢木雅広は、夫の親しい友人)  
 沢木雅広 (男性、50代。喜美子の父で貞子の夫である岸本智明の昔からの友人。喜美子の見合いの相手・沢木雄二のおじ。見合いの仲人として、雄二と喜美子を引き合わせた)  
 岸本喜美子 (女性、26歳。貞子の長女。雅広とは、子供の頃からの顔なじみ。登場するが、ことばは発しない)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
04' 55"	(母、雄二のおじに電話している)	
	母 (言いにくそうに) 071 あのう、せっかくお骨折りいただいて、こんなこと、(電話のコードを持つ) あの、ほんとにあれなんでございますが、あのう、……。	T04 (縁談を断る)
	おじ (台にひきをつき、その手で受話器を持つ) 072 ああ、そうですね。073 わたしもすっかり緊張しちゃったからなあ。	↓
	母 074 あ、いえいえ、沢木さんにはほんとにお世話になりました。(頭を下げる)	↓
	おじ 075 いやいや、とんでもない。	↓
	母 076 ただ、何ですか、雄二さんはどうも芸術家でいらっしゃるらしいなんて申しまして、あのう、……。	↓
	(喜美子、そばへ来て壁によりかかり、母を見ていたずらっぽく笑っている)	→ (断りの理由)
	おじ 077 はあ、はあ、合いませんかねえ。078 あいつも何考えてるのかわからんところがあるんでねえ。	↓
	母 079 いえ、喜美子の方こそ気のきかない子で、あのう、お気に召さないんじゃないかと……。	↓
	(喜美子、肩をすくめて笑う)	↓
	おじ (体を起こし、大きな声で) 080 いやあ、そんなこたあない。081 雄二の方は、ずいぶん乗り気でしてね。	↓
	母 (ちょっと困った様子で) 082 あ、そうでございますか。(喜美子をちらっと見る) 083 それは、……。	↓
	おじ (また声を落とす) 084 ま、喜美ちゃんがそういうことならしかたないですな。085 こればかりは。	↓
	母 (ほっとして) 086 あ、ほんとに申し訳ございません。(電話のコードを握る) 087 あの、お電話でほんとに失礼いたしました。(頭を下げる) 088 先様へ、あの、どうかよろしく……。(頭を下げる)	TC2.2
	おじ 089 え、え、わかりました。(うなずく) 090 じゃ、ま、これで。	↓
	母 091 あ、ごめんくださいませ。(頭を下げる)	DC1.2 DC2.3
	092 また、改めまして……。 (頭を下げ、相手が切るのを確かめて電話を切る)	DC1.3 DC3.2
06' 30"	(母、喜美子をにらみ、喜美子、おどけておじぎをする) (クレジット)	

夜。明かりのついた喜美子の家の外景。続いて、玄関わきの下駄箱の上の電話をかける母。

# 表現

「あれ(なん)ですが」(seg.14④-071) 主張する内容を明確に言わず、相手が察してくれるのを待つことによって、表現態度をやわらげるために用いられる。主に話しことばで用いる方策である。seg.17②-062の「家賃もあれだし」も同様の働きを持つ言い方。

# セグメント 15 提案をする

【場面①】10月下旬の平日の午後、MJストアの会議室。喜美子が課内の企画会議に新商品を提案する。

## 登場人物

岸本喜美子 (女性、26歳。MJストアのマーケッター。課長・係長の部下。アメリカ・奥田の先輩)

アメリカ・ソリアーノ (女性、26歳。フィリピン人。喜美子の少し後輩にあたる同僚)

杉田元樹 (男性、40代後半。喜美子の直属の課長)

福崎 忠 (男性、40代。喜美子の直属の係長)

奥田 誠 (男性、20代前半。喜美子の後輩)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
(課内の企画会議)		
00' 03"	課長 (めがねを外す。係長に) 001 で、福崎さんはやはりお客様の層のことが気になるといことなんですか。	→ (客層について)
	係長 (うなずきながら) 002 それなんですよ、(喜美子、アメリカ、係長を見る) お客の層があんまり薄いんじゃないって思っんですよね。	↓
(奥田、並べてある食器セットをしまいに掛かる。カチャカチャと耳障りな音)	喜美子 003 あの、それは確かに重要な点ですが、(視線をそらす) ええ、そのことは既に検討済みですし、結局、(係長を見る) 商品開発の対象が明確になるほど、層は薄くならざるをえないわけですから、(課長を見て、手振りで強調する) その範囲内で(手元を見る) どれだけ対象のニーズを掘り起こせる商品であるかが問題になるのだと思いますが。	↓
	係長 (うなずきながら、喜美子に) 004 そうそう、それはあるんだけど、(課長を見る) それにしてもこのデザイン、やはり気になりますよねえ。	↓
(奥田、どうやっても納まらず、もてあまし、一同見て渋い顔。喜美子、手で口をおさえ下を向く)		→ (デザインについて)
00' 53"	課長 (咳払い) 005 どうですか。	↓
	アメリカ (右手をあげる) 006 すみません、(資料のグラフが載っているページを示しながら) 試作品アンケートの分析結果を前もってお配りしてありますが、それによれば、デザインの点では支持があると考えてよろしいと思います。	↓
	係長 007 あ、(手元の書類の束を探しながら) うーん、データはそうも読めるだろうけど、(アメリカに) それはやはり数字に過ぎないんでね。	↓
	アメリカ (係長に) 008 データは十分に信頼できると思います。(係長と喜美子を見比べながら) 009 岸本さんもおっしゃったように限られた層ですが、結婚してすぐの若い夫婦を中心に強い反響があります。	↓
	喜美子 (うなずく) 010 試作の前にスケッチをお見せした段階でも説明いたしました、(目で試作品を指す) こういった感覚の商品が今後かなり出ていくことになると思います。(課長を見る)	↓
	係長 (喜美子に) 011 確かに説明は聞いたけど、(目で試作品を指す) こうして形になってみるとやっぱりねえ、売れるかなって感じなんだなあ、うん。	→ (売れるかどうか)
(喜美子、奥田から試作品を取り上げ、手際よく収納する。奥田、感心して眺めている)		↓
01' 49"	奥田 (やや乗り出して、課長に) 012 あのう、いいですか。(係長に) 013 これ、売れると思うんですけど。	↓
	係長 014 君、(指で試作品を指す) これ使えるのかね。	↓
	奥田 015 あ、すみません。(首をかしげながら頭を下げる)	↓
	016 だけど、このややっこしいところがまたいいんです。(試作品を見て、係長を見る)	↓
	係長 (奥田を見る) 017 ん? 018 なんなんだ、そら。(まゆをつり上げる)	↓

会社の会議室。壁に絵とポスター。テーブルの上に電話機。各自の前に書類。奥田の前に試作品のアウトドア用食器セット。

	課長（奥田に）019 ふーん、好奇心を刺激するっていうことかな。	↓	
	係長（課長を見て大げさに感心する）020 あ、なるほど。021 そうですね。022 それはあるでしょうね。	↓	
	喜美子（係長に）023 やはり、かなり若い層をねらった企画ということで、（顔を少し奥田の方に向けて指す）若い方の意見は参考にしてよろしいんじゃないでしょうか。	→	（若い人の意見を尊重する提案）
	係長 024 しかし、私だって永年の経験から言ってるんだからね。	↓	
	喜美子 025 はい、おっしゃる通り、経験は貴重なものだと思いますが、	↓	
	係長 026 うん。	↓	
	喜美子（目を伏せる）027 やはり客観的なデータもあることです。	↓	
02' 34"	課長（テーブルの上で指を組み、一同を見回す。一同、課長を見る）028 じゃ、まあ、上の方で最終的な判断はするわけだから、課としては一応承認ということではどうかな。	↓	TC1.2
	係長（頭を下げる）029 あ、はい。	↓	
02' 45"	課長（喜美子に）030 で、販売企画の方は、すぐ案が出ますか。	↓	T04（販売企画について）
	喜美子（課長を見る）031 はい、ええ、あさつてにはお見せできると思います。	↓	
	課長（視線を外して）032 あさつてね。（喜美子を見る）033 じゃ、それで用意してもらいましょう。	↓	TC1.2
02' 56"	（喜美子、うなずく。課長、係長に）034 あと、今日は？	↓	
	係長 035 え、特に……。 （一同を見渡し）036 ああ、何かあったかな。（一同無言なので、両手をひざに置いて課長に）037 あ、特に無いようですが。	↓	T04（他 DC1.1の議題の有無）
03' 05"	課長（全員に）038 じゃ、今日はこれで。	↓	
	039 お疲れ様。		DC1.1
	係長・一同（頭を下げて、課長に）040 あ、お疲れ様でした。		DC2.1
	（奥田、ざっざと立ち上がる）		DC2.1

## 表現

「たしかに～ですが」（seg.15①-003, seg.15①-011）「たしかに～だが／だけど／だけれど」などの形は、相手の発言内容や、一般に考えられていることがらなどを一応肯定した上で、それに反する主張をするために用いられる。この場合の副詞「たしかに」は、「が／けれど」などの逆接の形式と呼応して用いられる。

「それはある」（seg.15①-004, seg.15①-022）相手の発言内容などが、妥当であることを認めるくだけた言い方。

「それにしても」（seg.15①-004）新しい話題を持ち出して談話の流れを変えるはたらきを持つ言い方。

それまでの話の内容と全く無関係ではないが、それまで取り上げられていなかったことがらを持ち出すのに用いることが多い。

「～ということで～」（seg.15①-023, seg.20③-031, seg.22①-024, seg.22②-070等）前のことがらを理由や事情としてあげ、それに基づいて後のように考えたり行動したりすることを表す。自分の考えに対する漠然とした理由をあげるのに用いることが多く、改まらない話しことば的な言い方である。

「～ことですので」（seg.15①-027, seg.22①-026）その他「～ことなので」等のバリエーションがある。

理由を表す節につけて用いる。これを従属節として、後に結論や主張を表す主節を続けることもあり、このまま言いさしの形で文を終わることもある。いずれも、ある判断の理由を遠慮がちにあげて、主張をやわらげる効果をもつ。

「特に……」（seg.15①-035）「特に（は）ない／ありません」を省略したものと考えられ、問題にする必要のあることが何かあるかどうかを尋ねられた時に、はっきりと否定することを避ける言い方。はっきりと否定してしまうと、そんなことは尋ねるまでもないつまらないことだ、と言っている印象を与える恐れがあるためにこのような表現が用いられる。「特に無いようです」（seg.15①-037）も同様の働きを持つ。「別に」は、よりくだけた言い方として同様に用いられることがあるが、相手への配慮を含む度合いは「特に」より低く、失礼な印象を与えることがある。

【場面②】会議から数日後の平日の終業後、MJストアの喜美子のオフィス。雄二の写真を宣伝ポスターに使用することになる。

# 登場人物

岸本喜美子（女性、26歳、MJストアのマーケッター、アメリカ・奥田の先輩）  
 アメリカ・ソリアーノ（女性、26歳、フィリピン人、喜美子の少し後輩にあたる同僚）  
 奥田 誠（男性、20代前半、喜美子の後輩）

時 間	発話者・文番号・発話内容（非言語行動）	談話構造（話題）
	（喜美子、アメリカ、奥田、それぞれのデスクで残業している）	
03' 23"	奥田（写真雑誌等を見ながら、首をかしげ、ため息をつく）041 違うんだなあ。042 なあなんか無いかなあ。（宙を見る） アメリカ（目を上げて隣の奥田を見る）043 ああ、あのポスターの写真？ 奥田（ちらっと振り向き）044 そうなんです。（写真を見ながら）045 どれもなんか重たくて。（口をへの字に結ぶ） アメリカ 046 重たい？ 047 どういうこと？ 奥田 048 うーん、（首をかしげて少し考える）まじめすぎるっていうか……。 アメリカ 049 ふーん。（前の方を見て考える）	T04（ポスターの ↓ 写真を選ぶ） ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
03' 57"	（アメリカ、デスクの引き出しから写真雑誌を出し、写真の載っているページをひらく） アメリカ 050 これ、どう。051 今日もらったの。（奥田に渡す） 奥田 052 へえ。（体を少し引いて写真を見る）053 うーん、いいじゃないこれ。（顔を写真に近づける）054 うん、いけるいける。（にっこりする）055 へえ。	T04（候補を提案 ↓ する） TC2.2 ↓
04' 20"	（奥田、アメリカをそっちのけにして立ち上がり、デスクを回って喜美子のそばへ） 奥田 056 岸本さん、こんなの見つけたんですけど、こいでいきましょうよ。（写真雑誌を喜美子の脇に置き、顔をのぞき込む） 喜美子（別の仕事をしていたが、手を止め、奥田を見上げる） 057 え、なに、（写真雑誌を取りながら）ええと、なんだったっけ。 奥田 058 ほら、ポスター。 喜美子 059 あ、そうか。（うなずき、写真を見る） 060 うん、いいんじゃない。 （奥田を見る）061 だれ、これ。 アメリカ 062 沢木雄二とかいう人。063 まだ若い人みたい。 喜美子（アメリカに）064 沢木雄二、さん？（ぎくつとしたが、写真に見入りながら）065 へえ、こんなの撮るのか。 奥田（顔をのぞき込んで）066 あ、岸本さん、知ってるんですか。 喜美子 067 ん、（奥田を見て目をそらす）ううん。（ごまかす） 奥田 068 あ、じゃ僕、連絡してみましようか。 喜美子 069 え、あ、そうね。（奥田を見て写真雑誌を返す） （クレジット）	TC2.2 ↓ D01.2 T04（ポ ↓ スター ↓ 写真の D01.1 ↓ 案を見 ↓ せる） ↓ ↓ TC2.2 →（写真 ↓ 家につ ↓ いて尋 ↓ ねる） ↓ ↓ ↓ TC4.2 TC2.2 DC1.1
04' 59"		

デスクの上に並んだ写真雑誌。

# 表現

「～っていうか」（seg.15②-048）直接の意味は、その言い表し方が適切であるかどうかかわからないが、といったものだが、自分の考えをあいまいに述べるために用いられる。「～っていうか～っていうか～」のように文中に並列させて用いることもあるが、特に若い人の改まらない文体として、文末に終助詞的に使う例が多く見られる。

「～でいきましょう」（seg.15②-056）その物や方法を採用することを表すくだけた言い方。「今度のパーティはすきやきでいきましょう」のように用いる。

## セグメント 16 仲人を頼む

【場面①】 2月下旬の日曜。沢木雅広宅の以前見合いをした座敷。雄二と喜美子が雅広に仲人を頼むが、断られる。

## 登場人物

沢木雄二（男性。沢木雅広の甥。雅広の引き合わせで喜美子と見合いをし、一度断われたが、その後婚約している）

岸本喜美子 (女性、雅広の親しい友人・岸本智明の長女、雄二の婚約者)

沢木雅広 (男性。雄二のおじ。喜美子の父の友人。雄二と喜美子を引き合わせたが、見合いは不調に終わっている)

沢木 翠 (女性、雅広の妻、雄二のおば)

時 間	発話者・文番号・発話内容（非言語行動）	談話構造（話題）
(おじ, 00' 05")	おば, 雄二, 喜美子, 卓を囲んでいる。おじ・雄二はあぐらをかいている)	
	雄二 001 おじさん, 今日ちょっと, えと, 頼みがあって。	T01.2 (仲人を
	おじ 002 仲人だったら, お断りだぞ。	TC2.2 頼む)
	雄二 003 おじさん, そう言わないで, 頼みますよ。	↓
	喜美子 004 あ, おじさま, 私が前にお断りしたからなんです	↓
	か。	↓
	おじ (喜美子に) 005 いや, そりゃもういいんだけどね……。	↓
	006 ま, 私も改まった席は苦手だしね。(雄二に) 007 他の人	↓
	にしろよ。	↓
	雄二 008 だけどね, 最初に僕たちを会わせたのはおじさんなん	↓
	だから。	↓
	喜美子 (雄二からおじに視線を移す) 009 ええ, おことばを返す	↓
	ようですけど, わたしたちの実際のお仲人はおじさます。	↓
	おじ 010 いや, そらそうだけどね, (目を伏せる) どうも親類	↓
	が仲人ってのは, ちょっとまずいんだよ。(お茶を飲んでいる	↓
	おばに) 011 なあ。	↓
	おば (おじにうなずき, 雄二に) 012 ええ, あまりないんですっ	↓
	て。013 あんたたちがそう言うってくれるし, (おじを顔で指	↓
	す) おじさんもほんとはやりたいんだけどね。(茶わんを置	↓
	く)	↓
	014 どなたか, (目を伏せて上げる) あ, 雄二の写真の先生	→ (代わりの候
	の, ええと, 藤田先生。015 あの方, どうなの。016 でなきや	↓ 補を提案す
	(喜美子を見る) 喜美子さんの会社の方とか。	↓
	おじ (雄二に) 017 そうそう, そういう, なんていうか, (両手	↓
	を持ちあげて強調する) これから二人がお世話なるような人	↓
	がいいぞ。	↓
	雄二 (困った調子で, おじに) 018 それが, 藤田先生はその頃外	↓
	国へ行ってるって言うんで。	↓
	おば (テーブルの上で手を組んでいる。雄二に) 019 あら, そ	↓
	う。(喜美子に) 020 じゃあ, 会社でどなたか。(喜美子, 口	↓
	をとがらせうなずく)	↓
	雄二 (目を伏せて考える) 021 そうだね。(喜美子に) 022 じゃ	TC1.2
	あ, 杉田課長あたりか。	↓
	喜美子 (雄二を見る) 023 そうね。(目を伏せてから雄二を見	
	る) 024 課長にお願いしてみる?	TC2.2

seg. 14①と  
同じ背景.

## 仲人

結婚の仲立ちをして男女を結びつける役をする人を「仲人」と言う。仲人は夫婦でつとめるのが普通である。仲人の主な役割は、双方にとって適当な結婚相手を紹介し見合いをさせること、双方の承諾・拒絶の意思を相手方に伝えること、縁談がまとまれば婚約の印である「結納」の儀式を行うこと、結婚式における「媒酌人」として新郎新婦の介添えなどを勤めること、などであるが、さらに、結婚した後もその男女にとっての親がわりとなっていていろいろな相談にのったり援助をしたりするものとされている。恋愛結婚が一般的になったため、自分たちで結婚を決めた男女が、結婚式の場でだけ仲人になってくれるよう年長者に頼む例が多くなっている。このような形は俗に「頼まれ仲人」と言われている。仲人を頼む相手としては、両親の知人や上司、当人たちの勤め先の上司、出身学校の先生・先輩などの例が多い。

## 登場人物

杉田元樹（男性、MIストアの課長、喜美子の直属の上司）

set. 15①と  
同じ背景.



	にお願いした方がいいんじゃないかなあ。	↓
	喜美子 067 あのう、普段あまりお話ししたこともない方にこんな時だけっていうのは、したくないと思ったものですから。	↓
	課長（笑いながら、内ポケットから手帳を出して一応見る）068 日頃身近にいる者ということですか。（真顔になる）069 じゃ、まあ、やらせていただくとして、帰ってようぼうにも相談しときますから。	↓
04' 13"	喜美子（笑顔になり、頭を下げる）070 あ、ありがとうございます。071 奥様の方がおよろしければ、今度あのう、二人で御自宅の方へおうかがいして。（言いさす）	↓
	課長 072 うん、（手元を見て手帳を閉じる）そうですね。	↓
	喜美子 073 正式にというか、お願いしたいと思いますので。	↓
04' 32"	課長 074 え、じゃ、とにかくウチのに言っときます。（クレジット）	↓
		TC2.2
		↓
		TC4.2, T04（正式な依頼のしかた）
		↓
		TC4.2

## 表現

- 「～ところすみません」（seg.16②-025）他に「申し訳ありません」「恐れ入りますが」などの形もある。何かをしている相手に話しかけたり頼んだりするための丁寧な呼びかけとして用いられる。
- 「なんだ」（seg.16②-047, seg.18①-017）意外なことがらに対する軽い驚きを表す感動詞的な言い方で、くだけた文体で用いられる。「\*なんですか」などの形にはならない。
- 「～と」（seg.16②-063, seg.24④-066等）本来は「～と思います」「～と言えます」などの省略と考えられる。話しことばでは、引用をあらわす助詞「と」をこのように文末で終助詞的に用いることがしばしばある。「と」の前は、「です／ます」を含まない形になるのが原則である。一種の言いさしとして、主張をやわらげる効果があるが、場合により、その内容を自分の判断を含まない客観的事実として表現している印象を与えることもある。

# セグメント 17 結婚式場を決める

【場面①】前のセグメントに先立つ2月中旬の土曜日の午後、結婚式場相談所、雄二と喜美子が式場を予約する。

## 登場人物

沢木雄二 (男性、喜美子の婚約者)  
岸本喜美子 (女性、雄二の婚約者)  
結婚式場相談所係員 (女性、50代)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
	(雄二、喜美子、テーブルをはさんで係員を相手に相談している。係員の後ろにコンピューター端末)	
00' 01"	係員 (二人を見比べながら) 001 お式の方はキリスト教式、神式、仏式がございますが、どういう形がご希望でございますか。	→ (結婚式の ↓ 様式)
	喜美子 002 あ、(雄二に) 神式でいいんでしょう。	↓
	雄二 (うなずく) 003 うん。	↓
	喜美子 (係員に) 004 だけど、神式でもできるだけシンプルに済ませたいんです。	↓
	係員 005 はあ、(二人を見ながら、主に喜美子に) 006 それですと、やはりホテル関係になりますですねえ。007 神社ですとやはりお式の方に力を入れますので。	↓
	008 それで、ご披露宴は、何名様ぐらい？	→ (披露宴の ↓ 人数)
00' 38"	喜美子 009 一応80人のつもりなんです。 (机の上のリストを見る) 010 80人だと、このホテル・サンライズぐらいかしら。	→ (具体案の ↓ 提示)
	係員 011 そうでございますねえ。(端末を振り向き、キーをたたいて、ホテル・サンライズの画面を表示) 012 4月と申しますと、ちょっと迫っておりますので、(二人の方にむきなおす) 土曜・日曜はあまり空いておりませんが。	↓
	喜美子 (机の上のカレンダーを手取る) 013 ええと、18日が土曜で、19の日曜か、あとは25、26の土日ね。(雄二を見て、係員を見る)	↓
	係員 (手元のカレンダーを見て二人に) 014 25日のひは仏滅になりますので、この日はちょっと。	→ (日柄に ↓ ついて)
	喜美子 (乗り出して端末の画面をのぞき込む) 015 あ、どうりで空いてるのね。(雄二に) 016 やっぱりまずいかなあ。	↓
	雄二 017 うん、(少し下を向いて考える) 僕らはよくてもね。	↓
	喜美子 018 そうね、(係員に) 気にする人、多いかしら。	↓
01' 30"	係員 (うなずく) 019 はい、さようでございますねえ。(端末を振り返ってから) 020 お昼にご披露宴でございましたら、18日が空いておりますですが。	→ (代わりの案を ↓ 提示する)
	喜美子 021 ええ、(雄二に) 11時ごろから式で、12時ごろから披露宴かな。(雄二、うなずく) 022 土曜なら来る人も次の日らくだし。	↓
01' 49"	雄二 023 うん、そうね。	↓
	喜美子 (係員に) 024 じゃ、ここをとっていただけます？	TC1.2
	係員 025 はい。(用紙と鉛筆を取出し、喜美子の前に置く) 026 では、こちらにお書きいただけますか。	TC4.2
	(喜美子、記入する)	↓
	係員 (端末に向かい、打ち込みながら) 027 ホテル・サンライズ、4月18日の土曜日、11時からのお式、12時からご披露宴で、80名様。028 お名前が、ええ、(振り返って、喜美子が記入した用紙を見てから打ち込む) 沢木様・岸本様。(喜美子を振り返る) 029 はい、お取りしてよろしゅうございますね。	TC1.1 ↓ ↓ ↓ TC4.2
	喜美子 (うなずく) 030 はい。	↓
	係員 031 はい。(キーを押す)	↓

壁に結婚衣装のポスター。  
係員の後ろにコンピューター端末。

## 結婚式

結婚に伴う儀式として、「結婚式」または「式」と呼ばれる宗教的な儀式と、「披露宴」とを行う人が多い。「結婚式」は、日本の神道の様式による神式の式を行う人が最も多く、主な結婚式場やホテルには、神社の神が祭られた祭壇があり、神主がいることも多い。その他、キリスト教の教会で行うキリスト教式、仏教の寺で行う仏式など、さらに、宗教に関係なく結婚の誓いだけを行う「人前結婚式」なども行われることがある。日本人の中には、強い信仰を持つ人が少ないため、自分の宗教に基づいて結婚式の様式を選ぶよりも、好みで選択する場合の方が多い。神式の場合でも、ウェディングドレスやタキシードを着たり結婚指輪の交換を行うなど、厳密な宗教的儀式的形にはこだわらないことも多い。なお、結婚に関する習慣や伝統は、地域により、また、家庭により、非常に多様なものが見られる。

## 結婚式場

結婚式および披露宴を行う施設を備えた結婚式場が各地にあり、主なホテルや公共集会施設にもその設備があることが多い。また、大きな神社も結婚披露宴会場を備えていることが多く、結婚式は、こうした場所で行われることが多い。こうした有名な結婚式場は、1年以上前に予約する必要がある、特に春や秋の日曜・祝日や大安の日などは、非常に混雑する。レストランなどを借りてもっと小規模なパーティをするカップルもある。伝統的には結婚式は自宅で行われるのが普通であった。

仙滅

中国の陰陽道で定められた六曜が日本でも知られている。そのうち、仏滅は縁起の悪い日で結婚式や祝いごとには不適當、大安は縁起の良い日で結婚式等にふさわしいとしたり、友引は「友を引く」ことから、この日に葬儀をすることを避けたりする習慣がある。こうした考えは迷信であって、捨てるべきだとする意見は強いが、実際にはかなり広く守られている習慣である。

【場面②】翌日の日曜日の午後、不動産屋の店、雄二と喜美子が新居を探しにくる。

## 登場人物

沢木雄二 (男性、喜美子の婚約者)  
岸本喜美子 (女性、雄二の婚約者)  
不動産屋 (男性、30歳前後)

時 間	発話者・文番号・発話内容（非言語行動）	談話構造（話題）
	(住宅情報誌を持った喜美子、続いて雄二、入ってくる)	
02' 26"	喜美子 032 ちょっとすいません、これ、まだあいてます? (カウンターの前に座り、情報誌を見せる) 不動産屋 033 いらっしゃいませ。(情報誌を見ながら筆立てを置きなおす) 034 ええと、ああ、それはちょっともう、入っちゃったんですね。(喜美子を見る) 喜美子 (がっかりして) 035 あ、そう。 (雄二に) 036 どうする。037 他の、きいてみる? 雄二 (喜美子を見て隣に座りながら) 038 うん、なんかあるかな。(二人、不動産屋を見る)	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <div style="font-size: 3em; line-height: 1;">[</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div>D01.2 T03.2</div> <div>↓ (貸家</div> <div>D01.1 ↓ を探</div> <div>↓ す)</div> <div>↓</div> <div>TC2.3</div> <div>T05 (他の貸家</div> <div>↓ を探す)</div> <div>↓</div> <div>T03.2</div> <div>↓</div> <div>↓</div> <div>↓</div> <div>↓</div> <div>↓</div> <div>↓</div> <div>↓</div> <div>↓</div> <div>↓</div> </div> </div> </div>
02' 47"	不動産屋 039 そうですね、(二人を見比べる) どういったところをお探しですか。 喜美子 (情報誌をさす。不動産屋、のぞき込む) 040 これくらいの家賃で、ええと、やっぱり小田急で、新宿まで30分ぐらいのところがあれば。 不動産屋 (後ろの棚からファイルを取りながら) 041 広さは2DK。 喜美子 042 ええ、それ以上はないとねえ。(雄二と顔を見合わせながら情報誌を閉じ、脇に置く) 不動産屋 043 そうですね、だと、これと、こっちのぐらいかなあ。(ファイルを開き、二人の方に向けて置く) 044 あ、(思い出して別のファイルを出し、開いて見せる) これもどうかなあ。	→ (案を示す) ↓ ↓ ↓

新式の不動産屋。物件はあまり表に張り出さず、客はカードやファイルを見て検討する。

03' 21"	喜美子（2冊目のファイルを見ながら）045 ええっと、これは一戸建ね。（不動産屋に）046 各駅停車だと50分ぐらいかかるんじゃないですね。	→（第一の案を検討する） ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	
	不動産屋 047 え、そうですね。048 急行でちょうど30分ですね。		
	喜美子（ひとり言）049 駅からも遠いのね。050 バスで25分。		
	不動産屋 051 ええ、だけど、新築の南向きで、（喜美子に）あと、DKが8畳で広いんですよ。		
	喜美子 052 うーん、（雄二の前にあるファイルをのぞく。雄二、ファイルを喜美子に近づける）こっちはマンション。053 駅からは近いのね。		→（第二の案を検討する）
	不動産屋 054 そうですね。055 これは各駅でも40分だし便利です。		↓
	喜美子 056 あ、そう。（もとのファイルの三つ目の物件を見る）057 これ、小田急じゃないんですね。		→（第三の案を検討する）
	不動産屋 058 え、乗り換えて一つ目だから、まあ、それほどね、変わらないですよ。		↓
	喜美子（雄二に）059 どうでしょうか。		→（意見を求める）
	雄二 060 うん。（喜美子の前のファイルの最初の物件を指して）061 この遠いのはやめようよ。062 家賃もあれだし。		TC1.2
04' 11"	喜美子 063 そうね。（雄二の前のファイルの他の二つを見る）064 あとはこの二つね。	↓	
	不動産屋（二人に）065 なんだったら、両方ご覧になりますか。066 今からすぐご案内しますよ。	TC4.2, T04（下見を勧める）	
	喜美子（雄二に）067 じゃあ、案内してもらおう。	↓	
	雄二（うなずく）068 うん。	TC2.2	
		TC2.2	

（不動産屋、ファイルを閉じて重ね、カウンターから出る）

【場面③】後刻。案内された空き家のマンションの一室。雄二と喜美子、下見をするが、断る。

#### 登場人物

沢木雄二（男性、喜美子の婚約者）  
岸本喜美子（女性、雄二の婚約者）  
不動産屋（男性、30歳前後）

時 間	発話者・文番号・発話内容（非言語行動）	談話構造（話題）
04' 46"	（不動産屋、ドアを開け、雄二と喜美子を案内して入ってくる）	（新居の候補
	喜美子（見回して）069 はーん、部屋は広いのね。	T04を検討する）
	（雄二、窓から外をのぞき、窓に近づいて開けると、すぐ前面に隣家の壁、向く）	喜美子の方を振り
	雄二 070 隣のうちが目の前だな。	→（隣家との
	喜美子（雄二の脇に来て外をのぞく）071 あっ、ほんと。（左手をほおに当てる）072 これじゃあちよっとねえ。	↓ 距離）
	雄二（上目づかいに外を見上げながら）073 こっちは南だから、日当たりも悪いんじゃないかな。	↓
	喜美子（外を見ながら）074 あっ、そうか。	↓
	雄二（喜美子を見る）075 やめようか。	↓
	喜美子（雄二を見返す）076 うん。	TC1.2
	（二人、部屋を出る）	TC1.2

フローリングの床。開け放したクローゼット。

【場面④】後刻。案内された空き家一戸建。雄二と喜美子、下見をするが、断る。

# 登場人物

沢木雄二 (男性、喜美子の婚約者)  
岸本喜美子 (女性、雄二の婚約者)  
不動産屋 (男性、30歳前後)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
05' 20"	(喜美子、雄二、不動産屋の順に入ってくる) 喜美子 077 え、奥の部屋は台所通って行くわけ。	(新居の候補 T04 を検討する)
	(喜美子、向って左手のドアを開けてみると、浴室) 喜美子 078 ふーん、(雄二を振り向く) お風呂入る時は、台所から入るのね。079 変なの。 雄二 (喜美子を見る) 080 使いにくいか。 喜美子 081 うん。 082 どうする。 雄二 083 うん。(視線を落として少し考え、喜美子に) 084 もう少し見よう。 喜美子 085 そうね。 (不動産屋に) 086 じゃ、すいません、せっかくだけど。 不動産屋 087 そうですか。(室内を見回してから喜美子に) 088 この家賃ならお得だと思うんですけどねえ。 喜美子 089 え、(少し目を伏せてから) もう少し考えてからにするわ。 不動産屋 (二人に) 090 じゃ、また、物件が出たら連絡さしてもらいますから。 喜美子 (目を合わさず、雄二と出て行きながら、気がなさそうに) 091 え、そうね。 (クレジット)	→ (ふろ場の作り ↓ について) TC5 T04 (相談する) ↓ TC1.2 TC1.2 T02.2 (断る) ↓ ↓ ↓ TC4.2 ↓ TC2.3
06' 01"		

下に戸棚の  
ついた流し  
台。湯沸器。  
湯ぶね。ガ  
スの風呂が  
ま。

# 表現

「せっかくだけど」(seg.17④-086) 文末の言いさしとして用いると、相手の提案を断る意思をやわらげて伝える表現になる。seg.18②-054の副詞句としての用法も意味的には同様である。

## セグメント 18 スピーチを頼む

【場面①】 3月上旬の金曜日夜。炉端焼き屋。雄二が友人を披露宴に招待し、車を貸してくれるよう頼む。

## 登場人物

沢木雄二 (男性、30歳、近々結婚を予定している、谷口の親しい友人)  
谷口達夫 (男性、30歳前後、フリーライター、雄二の親しい友人)

[illegible]

## 新婚旅行

結婚式を終えた新婚夫婦が、いっしょに旅行に行く習慣があり、「新婚旅行」と呼ばれる。結婚式の後、すぐに出発することが多い。観光地などを数日程度の日程で回ることが多いが、最近では、海外へ行くことも一般化している。

### 表現

「ちょっと頼みなんだけど」(seg.18①-012) 依頼を切りだす前ふれとしての表現。ごく親しい相手に対する男性語的な言い方で、同じく女性語的なくだけた言い方としてはseg.18②-048「お願いがあるんだけどな」などがある。より改まった形としては、「お願いなんです」「実はお願いがあるのです」

「少々お願いしたいことがございまして」など、さまざまなレベルのものが考えられる。いずれも、唐突に依頼を持ち出すことを避け、相手に心の準備をさせるための前置きとして用いられる。

「～といっちゃなんだけど」(seg.18①-027) 自分の発言を不適当なものとして扱って見せることで、主張をやわらげる言い方。より改まった形としては「～と言ってはなんですけれど」「～と申してはなんですが」などがありうる。いずれも、話しことばで用いられる、やや親しみをこめた言い方である。

【場面②】翌週の月曜日の昼休み、MJストア近くのビル周辺のベンチ。喜美子がアメリカに披露宴でのスピーチを頼む。

### 登場人物

岸本喜美子 (女性、26歳、MJストア勤務、アメリカの少し先輩に当たる同僚)  
アメリカ・ソリアーノ (女性、26歳、MJストア勤務、喜美子の後輩)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
(喜美子とアメリカ、歩いてきてベンチに並んで座る)		
01' 44"	喜美子 043 その後に行った不動産屋さんがとてもいい人でね。 044 絶対遊びに来てね。	↓ (披露宴に招く)
01' 51"	アメリカ 045 来月の18日ね。046 もう絶対出席させていただくわ。 喜美子 047 ほんと、ありがとう。 048 それでね、お願いがあるんだけどな。 アメリカ 049 なに。 喜美子 050 会社の仲間の代表で、スピーチしてほしいの。 アメリカ (驚いて体を引く) 051 ええっ、わたしが。 喜美子 052 そ。 アメリカ 053 だめよお。054 せっかくだけど、他の人にして。 喜美子 055 どうして。056 お願い。 アメリカ 057 だってわたし、そんなところであいさつするほど、日本語上手じゃないし、日本の結婚式だって初めてなもの。 喜美子 058 そんなにかたく考えなくていいのよ。059 わたしについて、アメリカが思っていることを、何でも話してくれればいいのよ。 アメリカ 060 でも、やっぱり、…… (下を向く) 喜美子 061 だって、仕事の上でわたしを一番知っているのは、アメリカなんだから。062 ね。 アメリカ 063 うーん。064 だけど、(ちょっと下を向く) できるかしら。 喜美子 065 できる、できる。066 大丈夫。 アメリカ 067 そんな。(体を引く) 068 何言えばいい? 069 岸本さんは、すごいやり手で? 喜美子 (笑いながら) 070 やり手はよくないな。071 あ、(ちょっと下を見て) それに、そういう時は、名字じゃなくて名前で言うんじゃないかな。 アメリカ 072 あ、じゃあ、喜美子さんは? (喜美子、うなずく) 073 ああ、喜美子さんは、すばらしいアイデア・ウーマンで。	TC2.2 ↓ TC3 TO1.2 (スピーチを頼む) ↓ ↓ ↓ TC2.2 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ TC2.2 ↓ ↓ → (できるかどうか) ↓ ↓ → (スピーチの内容) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓

オフィス街のビル周辺のオープンスペース。植え込みがあり、ベンチが置かれている。昼休みに食事に出たOL。制服の上にカーデイガンをはおり、財布を持っている。





**披露宴**

結婚に際して、「式」または「結婚式」と呼ばれる宗教的な儀式に続いて、「披露宴」を行うのが一般的である。式に参列するのは、「新郎新婦」の親族など限られた少数の人々だが、披露宴には、友人、学校の恩師、勤め先や取引先の関係者なども招かれるのが普通である。新郎新婦が出席者を招待して食事を出す形が最も多い。会の内容は、初めに仲人が新郎新婦の経歴等を紹介し、それぞれの恩師や勤め先の上司など、年長の人物が「主賓」として祝いのことばを述べ、同じく年長の出席者が音頭をとって一同で「乾杯」をし、食事をしながら、何人かの出席者が祝いの「スピーチ」をしたり余興として歌を歌ったりした後、新郎新婦自身または両親があいさつをする、といった順序が一般的である。食事の間に、新婦や新郎が席をはずし、服を着換える「お色直し」をすることも多い。招かれた人は、結婚式の前日までにお祝いの品物またはお金を直接届けるか、祝儀袋にいれたお金を当日持参するものとされている。こうした披露宴のかわりに、友人を中心とする場合などは、出席者から会費を集め、簡単なパーティを開いて結婚を祝うこともある。

**表現**

「～たいと存じます」(seg.18③-082) 希望を表す形をとっているが、相手に依頼したり指示を与えるきわめて丁寧な言い方として用いられる。「～たく存じます」は、さらに丁寧な形である。

## 4. ユニット 4 意見の違う人に —問いかえし・反論— (セグメント 19 ~ 24)

**ユニット4の概要** このユニットでは、人のことばに対する反論のさまざまなやり方や、相手の言うことがよくわからなかった場合などの問いかえし方を扱っている。

相手と異なる意見を述べることは、それ自体が摩擦を起こしやすい行為であり、相手との上下・親疎などの関係、話の内容、その場の状況などさまざまな要因を考えあわせて、言い方を選ばなければならない。「確かにその通りですが……」といった前置きをすることもあれば、相手の発言を受ける際の「はあ」「うーん」などの応答を否定的な気の進まない口調で言うことで暗に不賛成の意を表したりすることもできる。このユニットには、そういった配慮をする人、しない人、同じ人でも、する場合、しない場合が、数多く描かれている。やわらげの配慮をしないのはどういう時、どういう相手や場面なのか、配慮の有無によってどのような印象が生まれるかなどに注目して学習を行うのが効果的であろう。

また、相手のことばを問い返す例も多く扱われている。わからないことばが出てきた時、話の展開についていけなくなった時、どうも互いの理解がくい違っているらしいと気づいた時に、不安な点を確認する方策を身につけることも、学習者にとっては重要な学習項目である。

### 主な登場人物

- |      |  |
|------|--|
| 黒川 隆 | (男性、50歳前後、新興大規模団地に住むメーカーの技術系管理職、門田・篠塚・三浦とはテニス仲間) |
| 篠塚善子 | (女性、50代なかば、団地に住む主婦)                              |
| 三浦 健 | (男性、20代後半、団地近くの酒店主の息子)                           |
| 門田久雄 | (男性、60代なかば、団地に住む定年退職した公務員)                       |
| 北野 恵 | (女性、20代なかば、団地内にある保育園の保母)                         |
| 張 麗華 | (女性、20代後半、中国人、団地近くの下宿に住む大学院留学生)                  |
| 黄 力  | (男性、30歳前後、中国人、同じ下宿に住む大学院留学生)                     |

### 場面一覧

#### セグメント 19 イベントを提案する

- 場面① 9月初旬の金曜日夕刻、竹山台駅から団地への道、黒川、帰宅の途中、配達中の三浦に会う。  
場面② 翌土曜日の朝、竹山台団地の一角にあるテニスコート、黒川、門田、篠塚、三浦、テニス談議をする。  
場面③ 同じくテニスのプレー後、クラブハウスの中、三浦、イベント開催を提案する。

#### セグメント 20 相談をまとめる

- 場面① 9月第2週水曜日の午後5時半ごろ、団地内保育園の前、北野、保育園からの帰り道、受け持ちの子供に会う。  
場面② その直後、保育園に近い商店街にある三浦の店、北野、買い物に寄り、イベントの相談に誘われる。  
場面③ その夜7時半すぎ、団地内集会所、一同、集まってイベントの相談をする。

#### セグメント 21 打ち合わせをする

- 場面① 9月下旬の水曜日夕刻、竹山台ニュータウン文化センター管理事務室の窓口前、黒川、シンポジウムとバザーの会場を予約する。  
場面② 同日午後7時半すぎ、団地内集会所、バザー会場のレイアウトと係の分担を相談する。

#### セグメント 22 交渉をする

- 場面① 9月末の土曜日午前中、袋物問屋の店内、一同、バザーの目玉商品にするため、品物を選び、値段の交渉をする。  
場面② 10月初旬の平日午前、シンポジウムの司会を依頼した大学教授の研究室、三浦、北野、シンポジウムについての打ち合わせをする。

#### セグメント 23 会場の準備をする

- 場面① バザー前日の会場、篠塚、仕切り壁の色に注文をつける。  
場面② 同じバザー会場の一角、黄、風邪をひいたらしく、病院へ行くことになる。  
場面③ 後刻、渡辺病院、黄、張に付き添われて診察を申し込む。  
場面④ 後刻、渡辺病院の診察室、黄、医師の診察を受ける。

#### セグメント 24 討論をする

- 場面① 10月28日、バザー会場、篠塚、バザーに招待した夫の上司夫人と話す。  
場面② 同じバザー会場、篠塚、バザーに来た高校の同級生と話す。  
場面③ 同じバザー会場、篠塚、品物についての苦情を聞く。  
場面④ 10月29日、シンポジウム会場、敬語に関する討論が行われる。

## セグメント 19 イベントを提案する

【場面①】 9月初旬の金曜日夕刻。ニュートウンに近接する私鉄竹山台駅出口から団地への道。黒川、帰宅の途中、配達中の三浦に会い、あいさつを交わす。

## 登場人物

黒川 隆 (男性、50歳前後、竹山台団地に住むメーカーの技術系管理職、三浦とはテニス仲間)  
三浦 健 (男性、20代後半、団地近くの酒店主の息子)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造(話題)
00' 35"	<p>三浦(ビールのケースを持ち上げている) 001 ああ、お帰んなさい。</p> <p>黒川(振り向き、足を止める) 002 ああ、どうも、ああ、明日でしたね。</p> <p>三浦 003 は。</p> <p>黒川 004 それじゃ。(軽く会釈し、歩いて去る)</p>	<p>D01.2</p> <p>└ D01.1</p> <p>TO4 (約束の ↓ 確認)</p> <p>DC1.3</p>

【場面②】翌土曜日の朝、竹山台団地の一角にあるテニスコート脇からクラブハウス。黒川、門田、篠塚、三浦、テニス談議をする。

## 登場人物

黒川 隆 (男性、50歳前後、団地に住むサラリーマン、門田、篠塚、三浦とはテニス仲間)  
門田久雄 (男性、65歳前後、団地に住む定年退職した公務員)  
篠塚善子 (女性、50代なかば、団地に住む主婦)  
三浦 健 (男性、20代後半、団地近くの酒店主の息子)

時 間	発話者・文番号・発話内容（非言語行動）	談話構造（話題）
(プレー中の人々を、黒川、篠塚、門田、三浦、金網越しに見ている)		
01' 00"	三浦(門田の背中越しに) 005 ラケットを引くのが遅いんですよ。 ね。	T04 (テニスの腕 前の批評) ↓ ↓ ↓
	門田(少し声をひそめて篠塚に) 006 あれなら、我々がうまいなあ。(篠塚、笑い返す)	
	黒川(一同に) 007 うーん、篠塚さんもずいぶん上手になったしねえ。	→ (篠塚の上達について) ↓ ↓ ↓
	篠塚(黒川に) 008 あらあ、あたし、当たるだけよ、飛ばないんだもん。(一同、笑う)	↓ ↓ ↓
(4人、金網を離れ、用具を持ってクラブハウスに向かって歩く)		
	門田 009 いやいや、半年であれだけ打てれば、たいしたものだ。	↓ ↓ ↓
	篠塚(汗を拭きながら、振り返る) 010 まあ、クラブハウスに入り、ロビーのベンチ周辺に荷物を降ろす)	↓ ↓ ↓
01' 30"	門田 011 いい汗かいたな。(ウーロン茶を買いに立つ)	………
	三浦(どっかと腰を降ろす。ボールを持って、回したりついたりしながら、篠塚に) 012 そうだ、(ボールを持った左手で篠塚を指す) テニス大会、出てみたらどうですか。(黒川、篠塚、タオルで汗を拭く)	T04 (大会出場を勧める) ↓ ↓ ↓
	黒川(やや乗り出す) 013 え? テニス大会って、老人会の?	
	三浦(黒川の方に乗り出す) 014 老人会なんて、(手を振って強調する) シルバー・ソサエティって言いますよ。	→ (老人会という名前) ↓ ↓ ↓
	門田(ウーロン茶の缶を持って戻ってきて、ベンちに座る) 015 老人なんだから、老人で結構。	↓ ↓ ↓
	黒川(門田に) 016 ああ、いや、門田さんのテニスも、さすがベ	↓

02' 02"	テランですなあ。	↓
	門田（少し反り返る）017 いやいや。	↓
	篠塚（立ち上がり、門田に）018 亀の甲より年の功。（洗面所入り口の鏡を見て、髪に触れる。一同、笑う）	↓
	黒川 019 篠塚さん。	↓
	門田（右手を缶にかけ、篠塚に）020 いやいや、篠塚さん、ほんとに出てみませんか。（黒川、たばこを吸いはじめる）	→（再びテニス大会出場の勧め）
	三浦（篠塚を見上げる）021 門田さんとダブルス組んで、ねえ。	↓
	門田 022 そうだねえ、（左手を振って篠塚を指す）こういう強力新人となら、けっこううまくいくんじゃないかなあ。（顔を左右に振る）	↓
	篠塚 023 あらあ、新人だなんて、うそばかり。（ポーチとタオルを持って洗面所の方へ去る。3人、見送りながら、笑う）	↓
		↓
		↓

## 団地

ひとつの敷地内に、3～4階以上の中高層の集合住宅がたくさん建っているものを団地という。大都市の周辺には、都市に通勤する人々を収容するための団地が次々に建設され、いわゆるベッドタウンを形成している。団地の住民は、他の土地から移り住んできた人々が圧倒的に多いため、住民同士のつながりが弱く、団地の周辺に古くから住んでいる住民との接触も少ないことがひとつの特徴とされている。

## 表現

「さすが」（seg.19②-016, seg.21②-033）語としての意味は、その相手や対象について、以前から高い評価を持っていて、その評価にふさわしい行為をしたり性質を示したりしたことに感心した、といったものである。ほめことばとして用いることが多い。

「うそばかり」（seg.19②-023）主な使い方のひとつは、ここに見られるように、自分についてのほめことばなどを打ち消して、謙遜したり恥ずかしがってみせたりするものである。その他に、相手がいったことが信じられない、といった軽いからかいの意味を表すこともある。いずれも、きわめて親しいレベルの会話で用いる言い方で、相手の発言が嘘である、という意味ではなく、ふざけて逆らってみせる態度を表す表現である。

【場面③】 同じくテニスのプレー後。クラブハウスの中。三浦、イベント開催を提案する。

## 登場人物

黒川 隆（男性、50歳前後。団地に住むサラリーマン。門田、篠塚、三浦とはテニス仲間）  
門田久雄（男性、65歳前後。団地に住む定年退職した公務員）  
篠塚善子（女性、50代なかば。団地に住む主婦）  
三浦 健（男性、20代後半。団地近くの酒店主の息子）

時 間	発話者・文番号・発話内容（非言語行動）	談話構造（話題）
02' 19"	（黒川、門田、三浦、ベンチに座っている。ロビーのテレビに秋祭りの映像が映っている）	テレビの上にビデオデッキ。そばに雑誌の棚。観葉植物の鉢。テレビの画像は、祭りの風景。川沿いの柳並木をみこしが進んでいく。はっぴはちまきの人々。大うちわ。
	黒川（画面を見ながら）024 お、お祭りの季節ですか。（三浦、門田、テレビを見る）	
	門田 025 ああ、みこしねえ、なつかしいねえ、よくかついでもんですがねえ。	
	黒川 026 いや、わたしもやりましたよ。	
	門田 027 今じゃ、こんな団地じゃ、みこしありませんからなあ。	
	三浦（手の中でテニスボールを転がす）028 だけど、いいでしょうねえ、みんなでおみこしかつぐなんて。（右手でかつぐしぐさ。黒川、たばこを吸っている）	
	門田 029 そりゃそうですよ。（たばこを取り出すが、空なので、パッケージをひねりつぶす）030 なんだってあんた、仲間、って感じになるしね。（たばこを買いに立つ）	
	三浦 031 そういう（左手を振って切りながら）「連・帯・感」みたいのが、ないんですよえ。032 まあ、僕は毎日店にいる	
02' 45"		→（現状について↓の感想）

	から感じるのかなあ。(宙を見てから目を伏せる) 033 会社に行ってる人たちは別にこれでいいのかもしれないね。(黒川を見る)	↓ ↓ ↓ ↓
	黒川 034 ああ、(首を少し傾げながら)でも、たまには、みんなでなにかやってみるのもいいかもしれんよ。035 お祭りじゃなくて、イベントとか。	→ (行事をするこ との提案) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	三浦(考え込む) 036 ううん、(顔をあげる)そうですね。(明るい口調で) 037 黒川さんたちが一緒にやってくれるんだったら、できるかも知れないですね。(黒川、ほほえんでうなずく)	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	篠塚(戻ってきて座りながら) 038 何のおべんとですって。	↓ TC2.2 (話の内 容を尋ね る) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	三浦(振り向く) 039 え?お弁当? 040 おべんとじゃなくて(左手を振る) イベントですよ、イベント。(篠塚、うなずいて座る)	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	門田(戻ってきて座る。篠塚に) 041 団地で何か行事をやったらって話ですがね。	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	042 どうせやるなら、お祭りがいいなあ。	↓ TC2.2 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	篠塚(少し乗り出し、いやそうな口調で) 043 だって、おみこしもないんでしょ。044 あったって、かつぐ人いないわよ。	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	三浦(篠塚に) 045 だから、もっと違ったことならどうですか。(少し考える) 046 ううん、展覧会とか、(前を見て、また篠塚に、手を振って強調しながら) あ、コンサートとか。	↓ TC2.2 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	篠塚 047 そんなの、考えたり準備したり誰がやるの?(少し体を引いて) 048 あたしはできないわよ。	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	三浦 049 そうですねあ?(黒川、門田の方に向く) 050 やっぱり、自分たちの住んでるところですからねえ。(前の方を見て考えながら) 051 食べて寝るだけじゃなくて、こう、(手を軽く振って篠塚に) 文化、ってことがあってもいいんじゃないかなあ。(篠塚、ため息をついて脇を見る)	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
04' 03"	門田(三浦に) 052 文化なら、お祭りだって立派な文化ですよ。篠塚(一同に) 053 でもねえ、この辺もいろんな人がいるから、まとまんないわよ。	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	(思い出して乗り出す) 054 そうそう、外国の人だってね、いるんだし。	→ (近所の外国人 のこと) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	黒川 055 ああ、あの中国の人ね。(少し乗り出す) 056 あの人たち、何してるんだろう。(門田、たばこを出し火をつける)	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	三浦(黒川に) 057 大学院の学生さんだそうです。058 コンピューターやってるみたいですよ。	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	黒川 059 ええ、いいじゃないですか。(門田に) 060 その人たちも入ってくれば、おもしろいじゃないですか。(三浦の方に向き直る)	→ (再び行事の提 案) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	三浦 061 そうですね。(一同を見回しながら)	↓ TC2.2 ↓ TC4.2 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	062 ねえ、自治会の方には僕が出してみますから。063 このメンバーが実行委員になって。(篠塚、気の進まない顔で前の方を見る。三浦、黒川、門田、互いに顔を見合わせ、やや乗り出す)	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	門田 064 そうだねえ。065 ま、素人がどれだけできるかわからんがね。	↓ TC2.2 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	三浦(一同を見回しながら) 066 じゃ、今度、一度集まりましよう。(篠塚に) 067 来週の水曜、どうですか。(篠塚、ちらっと三浦を見てため息をつく)	↓ TC4.2 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	(話は続いている)	
04' 42"	(クレジット)	

#### 表現

「だけど」(seg.19③-028) 本来は、それまでに述べられたことに反する内容を述べる逆接の意味を表すが、ここでは単に、それまでの話題を違った角度から取り上げる意図を表している。「しかし」にも同様の働きがあり、「だけど」に比べてやや改まった会話で用いられる。

## セグメント 20 相談をまとめる

【場面①】 9月第2週水曜日の午後5時半ごろ。団地内保育園の前。北野、保育園からの帰り道、受け持ちの子供に会う。

### 登場人物

北野 恵 (女性、20代なかば。竹山台団地の中にある保育園の保育)  
男の子 (保育園で北野が受け持ちの子供。帰宅後、母親と買い物に行く途中、北野に会う)  
母親 (男の子の母親。子供を連れて北野に出会い、会釈してすれちがう)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
00' 03"	(北野、ショルダーバッグをかけ保育園の前を歩いている。母親と5歳ぐらいの男の子が通る。母親、北野、互いに会釈する) 北野 001 さとし君、さよなら。 男の子 002 先生、さようなら。	D01.2 DC1.3 DC1.3

保育園の庭の遊具など。

【場面②】 その直後。保育園に近い商店街にある三浦の店。北野、買い物に寄り、イベントの相談に誘われる。

### 登場人物

三浦 健 (男性、20代後半。酒店主の息子。なじみ客の北野に秘かに思いを寄せている)  
北野 恵 (女性、20代なかば。団地内の保育園の保育)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
00' 21"	(北野、やや歩いて、酒屋の店に入る。店内で三浦、紙ばさみを手に、在庫調べの最中。振り向いて北野を見る) 三浦 003 あ、先生、いらっしゃい。(寄ってくる) 北野 004 こんにちは。 (棚を見回して) 005 お味噌とね、それからゴマ油お願いします。 三浦 006 はい。(手前の棚からゴマ油のびんを取り、かがんで奥の棚から味噌のパックを取る) 007 ええと、お味噌は、赤いのでしたよね。 北野 (少しかがみ込んで) 008 ええ。009 でも、この前の、なんかからすぎたから。 三浦 010 あ、じゃあ、こっちの、試してみてください。(別のパックを取り、北野に見せる) 011 割と甘口になってますから。(北野、うなずいて受け取る) (二人、レジの所へ行く) 三浦 (品物をポリ袋に入れながら) 012 そうだ、先生、今夜、なにか予定ありますか。 北野 (首を軽く横に振る) 013 いいえ、別にないけど。 三浦 014 じゃあ、よかったら、団地の人たちの相談の会があるんですけど。(ちょっと横を見て) 015 なんかイベントやろうって話で。(ポリ袋をカウンターに置く) 北野 (三浦を見る) 016 ええー、どんなイベント。 三浦 017 そら、まだ、今夜相談するんですけどね。018 とにかく、(右手を小さく振りながら) みんなでできるようなことを、考えようって。 北野 019 そう。(ややためらいがちに、笑顔で) 020 じゃ、ええ、相談だけなら。 三浦 021 あ、そうですか。(いかにもうれしそうに) 022 よかった。 01' 19" 023 僕ね、あれどうかと思うんですよ。024 あのう、先生たちが交替で話をして、それからみんなで質問したりするやつ。 北野 (考えながら) 025 ああ、あの、シンポジウム？	[D01.1, D02.1 D02.1 T04 (買物をする) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ TC1.2 ↓ ↓ T03.2 (イベントの相談に誘う) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ TC2.2 ↓ TC3 ↓ → (イベントの内容について) ↓ ↓

酒屋の店。棚に並んだ酒びんや食料品。

レジスターのあるカウンター。後ろの棚に酒類のびん。

↓  
↓  
↓  
→ (場所を尋ねる)  
TC2.1

黒川 隆 (男性、50歳前後、団地に住むメーカーの技術系管理職)  
門田久雄 (男性、60代なかば、団地に住む定年退職した公務員)  
篠塚善子 (女性、50代なかば、団地に住む主婦)  
三浦 健 (男性、20代後半、団地近くの酒店主の息子)  
北野 恵 (女性、20代なかば、団地内保育園の保母)  
張 麗華 (女性、20代後半、中国人、団地近くの下宿に住む大学院留学生)  
古山省二 (男性、40歳前後、団地に住む事務系サラリーマン)

時 間	発話者・文番号・発話内容（非言語行動）	談話構造（話題）
(黒川、 01' 44"	門田、三浦、篠塚、北野、古山、張、集まって座卓を囲み、話している) 三浦（一同を見回しながら）031 ということで、やはり、地域の文化を創造しながらですね、ま、連帯意識を持とうっていうようなことで、やってみたらどうかと。（北野、三浦をちらっと見てうなずく）032 その、お祭りも面白いんですけど、こう、遊びよりはですね、もうちょっと、（一度視線を落とし、門田たちの方にかがみ込んで）うーん、やっぱり文化的にと。	↓（イベントの内容を提案する） ↓ ↓ ↓ ↓
(一同、 02' 07"	やや沈黙 黒川 033 うん……。 （一同の様子を見まわして、苦笑しながら、三浦に）034 で、具体的にはどんなことになります？ 三浦 035 それが、あの、（ことばにつまり、お茶を飲んでいる北野に助けを求める口調で）先生、なんでしたっけ。 北野（湯のみを持ったまま）036 シンポジウムでしょ。 三浦（安心した表情で）037 ああ。 篠塚 038 シンポジウムって、あの学者の？（いやそうな口調で）039 そんな、無理よ。040 寝ちゃうわ。 門田（腕を組んだまま心配そうな口調で）041 うん。042 それより、派手にお祭りやったほうが盛り上がるんじゃないかなあ。 三浦（困った口調で）043 いえ、あのう、そんな固い話じゃなくてですね。みんなが興味があって、えと、こう、気楽に聞けるテーマってあるとおもんですよ。	→（具体的な内容） ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ →（シンポジウムへの反対） ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
02' 55"	北野（黒川に向かって手をあげて）044 あの、すいません。045 地域活動でシンポジウムやったりって、割とあるみたいで。046 もちろん、専門的なことじゃなくて、地域の歴史とか文化財とか、（篠塚に）それから子供のこととか取り上げると、（門田に）興味持つ人も多いんじゃないかと思うんですけど。 黒川 047 うん、（うなずく）案外こう、（篠塚、門田の方に）地域生活っていうんですか、気にしてる人、多いかもしれないですね。048 僕ら、ただ普段は帰って寝るだけだけど、子供たちにとっちゃここがふるさとってことなるんだしねえ。（北野、うなずく）049 もっとこう、積極的に関わりなくちゃとは、（三浦、北野の方に）みんな思ってるんじゃないのかな。 門田（少し体を起こしながら）050 ほう、そら、まあわかりますね。051 そいじゃ、ま、（やや前に乗り出す）おみこしはあきらめですか。	→（シンポジウムへの賛成） ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ TC2.2 ↓ ↓
03' 45"	篠塚（不満そうに聞いていたが、急に思い出し、笑顔で）052 それからね、さっきチャンさんと話したらね、前、日本語学校でバザーやったのが、とってもよかったんですって。（張に）	T04（バザーの提案） ↓ ↓

	053 ねえ。	↓
	張(篠塚に) 054 はい。(三浦, 北野の方に) 055 留学生は、いろいろ、買いたいものがありますけど、日本は物が高いですから。(見回して、首を振りながら) 056 着るものとか、それから冬になると暖房器具とか、安く買えればとても助かるんです。	↓
	北野(張に) 057 そうですよ。058 どこのうちでも、まだ使えるけど要らないものとか。	↓
	篠塚(大きくうなずいて北野に) 059 あるのよねえ、ほんと。(一同に) 060 バザーに出しちゃえば、うちん中の整理にもなるし。(北野にささやく) 061 うちの旦那も出しちゃおうかな。(北野, 肩をすくめて笑う)	↓
	門田(篠塚に) 062 しかしさ、そんな古着みたいなもの、みんな買うのかね。	↓
	篠塚(少しムキになって背すじをのぼす) 063 古着じゃないのよ。064 割といいもの、しまいこんでるもんなんですよ。(北野に) 065 ねえ。(北野, 笑いながらうなずく)	↓
04' 35"	黒川(一同を見回す) 066 ええ、じゃ、さっきの、シンポジウムですか? それとバザーを両方ということにしましょうか。067 自治会も予算は出さだろうけど、バザーで収益があれば助かるし。(古山に) 068 古山さん、いかがですか。	TC1.2
	古山(気のない様子で) 069 あ、よろしいんじゃないですか。	↓
04' 53"	黒川(古山にうなずいて、一同に) 070 それと、バザーの会場です。何かこう屋台か模擬店のようなもので、食べ物でも売ってみたらどうですか。071 少しはお祭りの雰囲気も出るかも知れないし。	T04 (屋台を出す ↓ 提案)
	門田(勢いこんで、目を細め、首を前にのぼす) 072 屋台。073 いいですねえ。074 綿あめとか、焼きそばとか。	↓
	張(門田に) 075 すみません、やたいっていうのは。	↓
	篠塚(相手をたたくように手を振って) 076 ほら、夜になると駅前に出るじゃない。077 おでん屋。	↓
	張 078 あ、わかりました。	↓
	(一同に) 079 ギョウザでよければ、(門田に) 「屋台」ですか、(黒川の方に) 出しましょうか。	↓
	門田(つぶやく) 080 お祭りにギョウザか。(少し考えて、黒川に) 081 ふんふん、でも、まあ、いいかな。	↓
	黒川(大きくうなずく) 082 ええ、チャンさんのせっかくの提案だし、第一、本場のギョウザでしょう。083 ぜひお願いしようよ。(北野, 大きくうなずく。一同, 手をたたく)	↓
05' 45"	(クレジット)	↓

## 表現

「～っていうんですか」(seg.20③-047) 疑問の形をしているが、聞き手に尋ねる意味はない。自分の用いたことばが適切であるかどうか自信がない、そう言ってよいかわからないがとにかく、といった含みを表す話しことば的な言い方である。

「～っていうのは……」(seg.20③-075) 低くのびるイントネーションで言うと、それに関する説明を求める表現になる。「～っていうのは何ですか」などを言いさしたものと考えられる。「～と申しますのは……」などのバリエーションがあるが、いずれも、少し遠慮がちに相手の教えを願う態度を表す。



## セグメント 21 打ち合わせをする

【場面①】 9月下旬の水曜日夕刻。竹山台ニュータウン文化センター管理事務室の窓口前。黒川、シンポジウムとバザーの会場を予約する。

## 登場人物

黒川 隆 (男性、50歳前後、竹山台団地に住むサラリーマン、団地自治会の行事としてシンポジウムとバザーを企画する実行委員)  
文化センター係員 (女性、40代)

時 間	発話者・文番号・発話内容（非言語行動）	談話構造（話題）
	(仕事を早退してきた黒川、入ってきて、奥のデスクに向っている係員に声をかける)	
00' 02"	黒川(窓口にかがみこむ) 001 すいません、10月の21んちと22んちは、講堂と大会議室は空いてるでしょうか。 係員(ゆっくり顔を上げ、窓口のカウンターに近づき、カウンターの下から会場使用申込用紙を出す) 002 こちらになりますね。 黒川(用紙を受け取って見ながら) 003 ええと、これは。 係員(さえぎって、手でカウンターの横を指す) 004 そちらに記入例があります。	D01.2, T03.2(会場を予約する) ↓ →(予約用紙を書かせる) ↓ ↓ ↓ DC3.1 ]
	(黒川がそちらを見る間に、係員、窓口を離れて自分のデスクに戻る。黒川、むっとしながら例を見て記入する)	
00' 38"	黒川(書き終わり、窓口にかがみ込んで用紙を指す) 005 ええと、ここは何を書くんでしょう。 係員(手を止め、黒川を見、ゆっくりと立って窓口に近づく) 006 記入例の通りに書いてください。 黒川(記入例を見てから、とがった声で) 007 該当するのがないんです。 係員 008 何、なさるんですか。 黒川 009 団地自治会の行事で、シンポジウムとバザーをやるんですが。 係員 010 自治会。(黒川の手から用紙をとって見る) 011 二百人も集まる行事は、もっと早く知らせていただかないと、予約が入ってしまいますからね。 黒川(じつとにらんで、とがった口調で) 012 ですから、いつが空いてるか教えていただきたいんです。 係員(デスクに戻り、スケジュール表を見る。目を上げず) 013 10月22日の大会議室は予約が入っています。 黒川(乗り出す) 014 じゃ、28んちと29んちはどうですか。 係員(次のページをめくって見る。目を上げないまま) 015 大会議室はその日は空いています。 黒川 016 講堂は? 係員(黒川を見る) 017 講堂はいつも、使う人がいませんから。 黒川 018 空いてるんですねっ。 係員(黒川をにらみつけて) 019 空いています。 黒川(ひとりごとで) 020 ええと、そうか……。 (係員に) 021 じゃあ、その日を取ってください。(係員、表に記入する)	D01.2, T04(書き方を尋ねる) ↓ ↓ ↓ ↓ →(使用の内容を尋ねる) ↓ ↓ ↓ ↓ →(空いた日を尋ねる) ↓ TC2.1 ↓ T03.2(別の案を出す) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ TC1.2 ↓

地域文化センターの窓口。低く小さい窓口にはガラス。そばに資料や記入例。奥は事務室。事務机の上に書類。

## 表現

「～になります」(seg.17①-006, seg.21①-002等)断定を避け、やわらげながら結論を述べる言い方。時間の経過に従って変化するという「なる」の本来の意味は失われている。相手の意向や周囲の状況を考慮すると、そのような結論が導かれる、といった気持ちを含む。場合により、そうなるってしまうことが気の毒である、といった気分を含むことがあり、逆に、そうなるしまうのは相手の責任だ、といった非難を含むこともある。

— 83 —

	黒川 051 ああ。	TC2.3
	(図を見て考える) 052 ええと待てよ。(乗り出してカードに手をのぼす) 053 ギョウザは動かさないほうがいいと。	↓
04' 02"	054 こんなんで、どうかな。(左手をテーブルにつき、右手でカードを動かす) 055 出口はどこかなあ、なんて、ちょっとほら、通路も曲げちゃって。	T04 (代わりの案を出す)
	三浦 (見取り図を見ながら) 056 なるほどね、これで目玉のお買い得品をこの奥にでも置けば。(手で指し、門田の方を見る)	↓
	門田 (賛成して) 057 うんうん、篠塚さん、どうです。	TC2.2
	篠塚 (うれしそうににっこりする) 058 ええ、こんならいいいんじゃない。	TC2.2
	古山 059 いやあ、よかったですねえ、へへへ。(一同を見回す。一同、白い目で古山を見る。古山、首をすくめる)	↓
04' 41"	黒川 (あわてて) 060 じゃ、これはいいとして、係の分担の方、いきましようか。(座る)	TC3
	三浦 (一同に) 061 そうそう、会場の掲示、門田さんをお願いしましょうよ。(字を書く手ぶり) 062 字がすごいお上手なんですよ。	TC4.1, T04 (係の分担を決める)
	門田 (手を横に振り、いかにもうれしそうに) 063 いやいやあ、とんでもない。064 私なんか。(にこにこする)	↓ (掲示を書く係)
	篠塚 (にっこりして、一同に) 065 そうよね、門田さん書いてくだされば、その分、経費も浮くし。	↓
	三浦 (篠塚に) 066 篠塚さん。(申し訳なさそうに、門田に)	↓
	067 いや、そんな意味じゃないんですよ。	↓
	門田 (手を前に出しておさえる手振り) 068 いやいや、そんな意味も含めてということで、書かせていただきますよ。	TC2.2
	黒川 (門田に) 069 いやあ、申し訳ありません。070 よろしくお願いします。(頭を下げる)	↓
05' 19"	北野 (黒川から一同を見回して) 071 それから、シンポジウムの方の係も決めていただきたいんですけど。	TC3
	三浦 072 ううん、あと、仕事が決まってないのは。(一同を見回して、古山を見る。一同も同じく古山を見る)	↓ (シンポジウムの係)
	古山 073 私はもう、なんにも能の無い人間でしてねえ。	↓
	(一同、冷たい目で古山を見る。古山、首をすくめ、見回す)	TC2.2
05' 39"	(クレジット)	

# セグメント 22 交渉をする

【場面①】 9月末の土曜日午前中。袋物問屋の店内。一同、バザーの目玉商品にするため、品物を選び、値段の交渉をする。

## 登場人物

門田久雄 (男性、60代なかば、竹山台団地に住む定年退職した公務員、イベントの企画実行委員)  
 篠塚善子 (女性、50代なかば、団地に住む主婦、同じく実行委員)  
 三浦 健 (男性、20代後半、団地近くの酒店主の息子、同じく実行委員)  
 北野 恵 (女性、20代なかば、団地内保育園の保母、同じく実行委員)  
 袋物問屋店員 (男性、30代)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
00' 05"	(門田、三浦、篠塚、北野、店員を相手に、デイバック、ウェストポーチなどを選んでい	袋物問屋の 店内。壁に かけ並べら れたバッグ やデイベッ ク、ウェス トポーチ。 エプロンを かけた店員。
	北野 (ウェストポーチを持ち、隣の篠塚に見せる) 001 篠塚さ	
	ん、これなんかいいんじゃないですか？ (篠塚を見る) 002 大	
	きさもね、たっぶりしてるし。	
	篠塚 003 ええ？ そうねえ。(手に取って見て、首をかしげる)	
	004 この赤っていうのがねえ。005 あたし、だいたい赤系統は	
	あんまり似合わないのよ。(北野を見る)	
	北野 006 あ、色違いもあるんですよ。007 ほら。(台の上から	
	水色を取り、見てから渡す)	
	篠塚 (受け取る) 008 そうねえ。(ウェストに当ててみる) 009	
	どう？ (北野を見る)	
	北野 (バッグをのぞき込んでから、篠塚を見る) 010 え、お似合	
	いですよ。011 若く見えて、いいんじゃないかな。	
	篠塚 (北野を見て、うれしそうに) 012 若く見える？ (バッグを	
	見回しながら) 013 だけど、あたしがこういうのすると、スイ	
00' 57"	(門田、三浦、吹き出す。北野、ことばにつまり、二人をにらむ。店員、	デイベック。
	門田 (笑いながら篠塚に) 014 別に、篠塚さんがお買いになるわ	
	けじゃないんだから。	
	(店員に) 015 これ、けっこう人気あるんですよ。	
	店員 (門田を見る) 016 え、この辺が今、一番よく出てまして。	
	門田 (北野に) 017 じゃあ、これにしましょ、ね。	
	北野 (門田に) 018 そうですね。019 保育園のお母さんたちも、	
	よくこんなの使ってますから。(篠塚を見てから三浦を見る)	
	三浦 020 それじゃあ、(手元を見る) ウェストポーチはこれ、	
	デイベックは (振り返り、後ろの壁にかかったデイベックを指	
	す) さっきのあの紫のやつでいいですね。(一同を見回す)	
	篠塚 (壁のデイベックを見ながらうなずく) 021 うん。	
	(三浦に) 022 あとは、値段よね。	
	三浦 023 ええ。(店員に) 024 まあ、そういうわけで、バザー	
	の目玉商品ってことで、ひとつ、勉強してもらえると。	
	店員 (三浦に) 025 はあ。026 ま、地元のみなさんのことす	
	ので、(篠塚に) もう格安にさせていただきたいと思いま	
	す。	
	篠塚 (店員に) 027 三割ぐらいにはしてもらえます？	
	店員 (篠塚に) 028 三割。029 それぐらいでしたら。	
	篠塚 030 ほんとにもうちょっととってところだけど、まあ、それ	
	ぐらいで、(他の3人に) どう？	
	三浦 (目を伏せ、考えながら、不満げな口調で) 031 三割引きで	
	すか。(店員に) 032 もう少し引いてもらえますよねえ。	
	篠塚 (三浦に) 033 違う違う。034 三割は三割よ。035 だから七	
	割引き。	
	店員 (あわてて篠塚を見る) 036 え、あ、それは、いや、七割引	
	き。037 そらあちょっと。(首をかしげ、顔をしかめる)	

02' 19"	篠塚 (不審そうに、店員に) 038 なんなの？	↓
	店員 039 え、あの、ええ、あ、他の販売店さんの手前もありますので、あのう、そんなにはちょっと。(顔をしかめ、目を伏せる)	↓
	篠塚 (突っかかる口調で) 040 あら、格安っていったでしょ。	↓
	041 それぐらい何よ。(北野に) 042 ねえ。	↓
	店員 043 しかし、七割引きってのは、あまり、むちゃくちゃですよ。	↓
	篠塚 044 むちゃくちゃとは何よ。	↓
	門田 (顔をしかめ、篠塚を手で制しながら) 045 まあまあ、(店員に)とにかくここはね、商売抜きということで、考えてみてはくれませんか。	↓
	店員 (下を向いて考える) 046 はあ、それではね。(一同を見回す) いっそですね、店の名前を出していただけるのであれば、宣伝のためということで、一定数無料でご提供ということで。	→ (代わりの案を出す)
	北野 047 あ、ポスターなんかにお店の名前も出そうですね。	↓
	篠塚 048 いくつぐらいいただけるの。	→ (条件を尋ねる)
	店員 (篠塚に) 049 ええ、それはちょっと社長にも相談しませんと。	↓
	篠塚 (他の3人に) 050 あ、じゃ、あたし達からも社長さんをお願いしましょうか。	TC4.2
	店員 (困った表情で) 051 あ、いえ、それは結構ですから。	↓
	三浦 (店員に) 052 すいません。	TC3 DC1.2
	053 よろしくお願いします。	↓ DC2.2
	門田 (店員に) 054 ま、あんたも大変でしょうけど、よろしくたのんます。	TC4.2 DC2.1, DC2.2

## 表現

- 「ひとつ」(seg.22①-024) 何かを頼む文の中で用いる。自分に対して特別な好意をもって配慮してくれるよう頼む意味を表す。親しみを表すので、上位の相手に用いるには注意を要する。
- 「～とは何よ」(seg.22①-044) 相手の発言に、とうてい容認できないものとして強く反発する言い方。「何よ」は女性語的で、この他「何だ」「何ですか」などの形がある。これらの形が用いられる会話は、すでにけんかである。
- 「いっそ」(seg.22①-046) それまでの話の流れから予想されることや一般に普通と考えられるものとは大きく違った案を提出する時に用いる。場合によって、やや投げやりな態度を表すことがある。

【場面②】10月初旬の平日午前。シンポジウムの司会を依頼した大学教授の研究室。三浦、北野、シンポジウムについての打ち合わせをする。

## 登場人物

- 三浦 健 (男性。20代後半。竹山台団地近くの酒店主の息子。イベントの企画実行委員)
- 北野 恵 (女性。20代なかば。団地内保育園の保母。同じく実行委員)
- 笹原千恵子 (女性。50代。大学教授。文化人類学専攻。シンポジウムの企画・人選と司会を依頼されている)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
02' 56"	(三浦、北野、シンポジウムの最終打ち合わせに来ている。三浦、固くなってきちんと腰かけ、両手をひざにそろえている。北野、ひざのバッグの上に両手を重ねている)	
	三浦 055 この度は色々とお手数をおかけしまして。056 おかげさまで、なんとかイメージもはっきりしてきましたよう。	D03.1
	笹原 (三浦に) 057 はい、この新しい地域社会の人間関係というのは、わたくしどもにとっても非常に興味があって、(北野に)避けて通れない問題ですのね、(三浦に)いろんなお話が聞けるのを楽しみにしております。	T04 (シンポジウムの内容について)の感想
	三浦 058 はい。	↓

学部長クラスの教授の研究室。壁ぎわの書庫に本や資料。タイプライター。ワープロ。部屋の中央に応接セット。デスクの上で電話。



# セグメント 23 会場の準備をする

【場面①】10月27日金曜日夜、バザー前日、会場になる大会議室。塗装職人が仕切り壁にペンキを塗っていると、篠塚がその色に注文をつける。

## 登場人物

篠塚善子 (女性、50代なかば、竹山台団地に住む主婦、イベントの実行委員)  
 門田久雄 (男性、60代なかば、団地に住む定年退職した公務員、同じく実行委員)  
 三浦 健 (男性、20代後半、団地近くの酒店主の息子、同じく実行委員)  
 塗装職人A (男性、40代)  
 塗装職人B (男性、20代)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
	(三浦、会場内にポスターなどを貼っている。門田、段ボール箱から中身を出している。職人A、B、会場内の仕切りにするついたてにローラーでグレーのペンキを塗っている。篠塚、布のバッグを左手にかけて入ってくる)	
00' 13"	篠塚 (ついたてを見て) 001 ああ、なんだかうすぐらいわねえ。(職人たち、振り返る。三浦、近寄ってくる。篠塚、仕切り壁を指して三浦に) 002 ねええ、仕切り壁の色って、こんなだった? 三浦 (篠塚に) 003 でも、一応グレーってことでしたから。 篠塚 (批判的な口調で) 004 だめよ、こんな陰気くさくちゃ。(ついたてを指して、職人たちに) 005 この色ねえ、もう少し明るいのになりませんか? 職人A (篠塚を見て) 006 いまから? 職人B (篠塚に) 007 塗り直してると、明日までに乾きませんけど。 門田 (近寄ってきて、手で押さえるしぐさ) 008 篠塚さん、そんな無理言わないで。 篠塚 (批判的な口調で) 009 だって、これじゃ、お客が入ってこないわよ。	D03.2 T03.2 (ついたての色を変える) ↓ ↓ ↓ T04 (塗り直しを頼む) ↓ ↓ ↓ → (反対する) ↓ ↓ ↓
(三浦、門田、職人たち、顔を見合わせる。しばし沈黙)		
00' 41"	職人B (一同を見回してから職人Aに) 010 じゃあ、あのテープ貼る手はどうですか。 門田 (職人Bに) 011 テープって言うのと? 職人B (ついたての前で両手を横に動かし、門田に) 012 この上から横に色違いのテープ貼ると、大分明るくなるんですけどね。(テープを取り出す) 013 こんなのを。 三浦 014 ふうん、(テープを手にとってみる。職人たちに) でも、いくらぐらいかかります? 篠塚 (三浦に) 015 大丈夫よ。016 それくらい出せるわよ。 017 やってらおう。(三浦、篠塚を見て苦笑する) 門田 (うなずき、職人たちに) 018 じゃあ、色は? 職人B (一同を見回して) 019 ええと、明るくってことなら、青か緑か、(職人Aに) 黄色ぐらいですか。 職人A 020 ま、緑だろうな。(色見本を出し、ついたての前にかざして指す) 021 こんな緑。(職人A、職人B、振り返って一同を見る) 門田 (申し訳なさそうな口調で) 022 じゃあ、それを急いでやってもらえますか。023 すいませんねえ。 職人B (職人Aに) 024 じゃ、店に電話してきます。 職人A 025 ああ、急いで持ってくるように言って。 職人B 026 はい。(出ていく)	→ (代わりの案を出す) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ TC2.2 → (色を決める) ↓ ↓ ↓ ↓ TC1.2 TC3 TC4.2 DC3.1 TC2.2 DC3.1 ↓
	(職人A、再びローラーで塗り始める。篠塚、門田、三浦、去る)	

塗装職人の道具類。ペンキ缶。ローラー。脚立。つなぎの作業服を着た職人。

## 表現

「～けど」(seg.23①-007) 文末で終助詞的に用いる「けど」のうちで、相手の発言内容などを受け、その結果起こることを指摘して「それでいいのか」と念を押す働きをする例である。その他に、「それからどうしようか」「それがどうかしたか」といった意味を表す場合もある。特に、ここでのように軽い上昇のイントネーションで発せられると、相手に対する非難を含む言い方になる。

【場面②】 10月27日金曜日の夜、同じバザー会場になる大会議室の一角。餃子の店を準備していた黄が、風邪をひいたらしく、病院へ行くことになる。

## 登場人物

門田久雄	(男性、60代なかば、竹山台団地に住む定年退職した公務員、イベントの実行委員)
篠塚善子	(女性、50代なかば、団地に住む主婦、同じく実行委員)
三浦 健	(男性、20代後半、団地近くの酒店主の息子、同じく実行委員)
張 麗華	(女性、20代後半、中国人、団地近くの下宿に住む大学院留学生、バザーに餃子の店を出すことになっている)
黄 力	(男性、30歳前後、中国人、団地近くの下宿に住む大学院留学生、同じく餃子の店を出す)

時 間	発話者・文番号・発話内容（非言語行動）	談話構造（話題）
(篠塚 01' 38")	門田、三浦、会場一角の餃子の店に近づく。黄、そばのいすに座り込んでいる。 篠塚（歩いてきて黄のそばに寄り、のぞき込む）027 あら、ホアンさん、どうかしたの。 張（横から篠塚に）028 なんか熱があるみたいなんです。 篠塚 029 え？どれどれ。（黄の額に手を当て、手を離し、張を見る）030 ほんと。031 いけないわ。 032 お医者さん、行ったほうがいいわね。（張、うなずく） 三浦 033 ええ、この時間だと、（脇を見て考え、篠塚に）渡辺病院がまだ診察時間でしょう。（張、時計を見る） 黄（右手を上げて制する）034 大丈夫ですよ。 篠塚（黄に）035 だめだめ。（三浦に）036 渡辺病院って言う と。 三浦 037 ほら、小学校の先に割と大きな病院、あるでしょう。 張（三浦に）038 あ、私、わかります。039 行ったことがありますから。 三浦 040 だけど、ここの準備もあるでしょう？（一同に）041 僕、ついていきましょか。 張（三浦に）042 いいえ、あとはあした始まるまでに中身を作 て、皮は売りながら作りますから。 門田（張・黄に）043 うんうん、とにかく早く行ってらっしゃ い。（手でうながすしぐさ） (張、黄、出ていく。一同、心配そうに見送る)	〔D03.2 T04（様 ↓子を尋 ↓ねる） ↓ ↓ ↓ T04, T0C1.2（病院 ↓に行くこと ↓を勧める） ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ →（付き添いの申 ↓し出） TC2.2 ↓ TC4.2 DC3.1〕 ↓

【場面③】後刻、渡辺病院の入り口から受付、黄、張に付き添われて診察を申し込む。

## 登場人物

張麗華（女性、20代後半、中国人、竹山台団地近くの下宿に住む大学院留学生、黄とは同じ下宿に住む友人）  
黄力（男性、30歳前後、中国人、張と同じ下宿に住む大学院留学生）  
病院事務員（女性、30代、渡辺病院の受付事務員）



時 間	発話者・文番号・発話内容（非言語行動）	談話構造（話題）	病院前の路上。階段の上の入り口。止めてある自転車。並んだ植木鉢。病院の受付。窓口、奥にカルテの棚。パソコン。張り並べられた掲示・ポスター。白衣の事務員。
(張, 玄関のドアを開け, 黄を通してから入る。張, 受付窓口をのぞき込み, 女性の事務員に話しかける)			
02' 44"	張 044 すみません, (事務員, 顔を上げる) 診ていただきたいんですが。 事務員 045 初診ですか。 張 (黄の顔を見て) 046 しょん? (黄, 首を横に振る) 事務員 (外国人だと気づいて) 047 ああ, 初めてですね。 張 (うなずく) 048 はい, 初めてです。 事務員 049 ええっと, 保険証, お持ちですか。 (張, 黄を振り返る) 黄 050 はい。 (診療証明書を出して両手で差し出す。窓口に向腕をかける) 事務員 (証明書を受け取り, 見る) 051 あ, これですと, 一応全額お支払いいただいて, (黄を見る) 領収書を大学に出していただくと, 払い戻しになりますから。 052 よろしいですね。 黄 053 はい, 結構です。 事務員 054 それでは, お熱を計ってください。 (黄に体温計を渡す) 黄 (体温計を受け取る) 055 はい。 事務員 056 では, そちらにかけてお待ちください。 (待合室を手で指す) 黄 057 はい。 (頭を下げる) (二人, 待合室の方へ行く)	D01.2 T04 (診察 ↓を申し ↓込む) ↓ ↓ ↓ → (保険 ↓証につ ↓いて) ↓ ↓ ↓ ↓ TC2.3 T04 (熱を計 ↓るよう ↓指示) TC4.2 DC3.1 ↓ TC2.2	

## 保険証

日常「保険証」と言う場合は、公的な医療保険に加入していることを示す証明書を言うことが多い。保険を取り扱っている医療機関で診療を受ける場合、申し込みの前に保険証を提示すれば、医療費の全部または一部を支払わずにすむ。取り扱い機関でない場合は、全額を支払い、あとで申請して還付を受ける。日本では、すべての国民が公的な医療保険に加入することになっており、扶養家族は、世帯主などの医療保険に家族として入ることになる。医療保険の種類には、会社員などが勤務先で加入する健康保険や船員の船員保険と、それ以外の人が加入する国民健康保険とがある。国民健康保険は、住民登録をした役所に申し込んで加入するもので、外国人登録をしていれば外国人も加入できる。この場面では使われている留学生の診療証明書の制度は大学等が扱うもので、留学生が医療を受けた場合、医療費の領収書を提出すると、還付を受けられるものである。

【場面④】しばらく後。張と黄、渡辺病院の待合室で待つうち、呼ばれて黄は診察室に入り、医師の診察を受ける。

## 登場人物

張 麗華 (女性, 20代後半, 中国人, 竹山台団地近くの下宿に住む大学院留学生。友人の黄に付き添って病院へきている)  
 黄 力 (男性, 30歳前後, 中国人, 団地近くの下宿に住む大学院留学生。翌日のバザーのため餃子の店の準備をするうち, 気分が悪くなり, 病院へきている)  
 医師 (男性, 30代)  
 病院事務員 (女性, 30代, 声のみ)

時 間	発話者・文番号・発話内容（非言語行動）	談話構造（話題）	病院の待合室。壁のポスター, 時計。スタンド型の灰皿。ベンチ。
03' 44"	(黄, 張, ベンチに座って待っている) 事務員 (声のみ) 058 どうぞ, お入りください。 張・黄 (受付の方に) 059 はい。 (黄, 張にジャンパーを渡す。 張, ひざの上に置く)		

診察室。ベッド、血圧計その他の器具。壁にカレンダー。額。机の上にカルテ。白衣の医師。首にかけた聴診器。

# セグメント 24 討論をする

【場面①】10月28日土曜日。バザー会場。篠塚、バザーに招待した夫の上司夫人と話す。

## 登場人物

篠塚善子 (女性、50代なかば、竹山台団地に住む主婦。バザーの実行委員。客Aにバザーの案内を出した)  
客A (女性、50代後半、篠塚の夫の会社の上司夫人)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
	(三々五々訪れる買い物客。場内はかなりの盛況。餃子の店が人気を呼んでいる。忙しく働く張、黄と友人たち。続いて、別のコーナー前)	
00' 23"	篠塚 (知り合いの客Aを見つけて手を前で組み近づく) 001 まあ、本日は、わざわざどうもお運びいただきまして。(互いに丁寧に頭を下げる) 客A 002 いいえ、ご案内、ありがとうございました。(頭を下げる。ちょっと見回して) 003 まあ盛況でよろしゅうございましたわねえ。 篠塚 004 いいええ、なんですか、こんなことも初めてでございませよ。(目を伏せる) 005 至りませんことばかりで。 客A 006 ああら、そんなこと。007 ご立派になさってるじゃございませんの。(顔を指す) 008 あのね、あたくし、セーターでもいただこうかと思っておりますの。 篠塚 009 あ、(手で指す) あちらの方に、割といい物が出ておりますんですの。010 ご案内いたしますわ。(体をそちらに向ける) 客A (手を横に振る) 011 あ、いえいえ。 012 お忙しんでしょう。013 あたくし探しますわ。(体を前に傾けながら) 014 ね、お構いなく。 篠塚 015 さいでございますか。 016 どうぞそれじゃ、ごゆっくり。 (篠塚、客A、互いに相手の体の横に頭を下げ、すれ違う。客A、立ち去る。篠塚、見送って去る)	D01.1, D02.1 D03.1 D03.2 T04 (バザーの盛況) ↓ ↓ ↓ T04 (買い物の心づもり) ↓ ↓ ↓ TC2.2 ↓ DC3.1 ↓ TC2.3 TC4.2 DC2.1

地域文化センター入り口。入り口ドアにポスター。出入りする子供連れの客たち。  
バザー会場。テープの貼られた仕切り壁。商品の置かれた台。餃子の店。水餃子の鍋。発泡スチロールの食器。古本コーナー。

【場面②】同じバザー会場。篠塚、バザーに来た高校の同級生と話す。

## 登場人物

篠塚善子 (女性、50代なかば、竹山台団地に住む主婦。バザーの実行委員。客Bとは高校の同級生)  
客B (女性、50代なかば、篠塚の高校の同級生)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
	(向こうの方で客Bが手を振っている。篠塚、駆け寄る)	
01' 14"	客B (相手をたたくように右手を振る) 017 見てたわよ。(上体を相手に近づける) 018 誰、あれ。019 気取っちゃってさ。 篠塚 020 やあだ、来てたの。 021 ね、なんか買ってくれた? 客B 022 今来たばかりだもん。 023 これから見せてもらう。 篠塚 024 うん。025 せいぜいたくさん買ってって。 客B 026 うん。 027 また後でね。(右手を軽く上げて去る) (勘定場で代金を払う客)	D03.2 D01.1 T03.2 (何か買うように求める) ↓ ↓ TC4.2 DC3.1 TC2.2 DC3.2
01' 32"	会計係 (客が持っている品物の値札を見る) 028 八百円です。 029 ありがとうございます。030 二百円のおつりです。 031 どうも。(頭を下げる)	TC4 (代金を受け取る) ↓ DC1.2

後ろに餃子の店。

【場面③】同じバザー会場。篠塚、品物を買った客の苦情を聞く。

登場人物

篠塚善子 (女性、50代なかば、竹山台団地に住む主婦、バザーの実行委員)  
客A (女性、40代、バザーでセーターを買った)

時 間	発話者・文番号・発話内容 (非言語行動)	談話構造 (話題)
01' 38"	(篠塚、勘定場付近に来る。客C、先買ったセーターを持ってあたりを見回している) 篠塚 (客Cに) 032 あ、何か。 客C 033 あ、う、これ、さっき買ったんですけど、帰ってから見たら、(セーターを指す。篠塚、のぞき込む)ここにシミがあるのと、それから、ここに穴があいてるんですよえ。 篠塚 (客Cを見て、申し訳なさそうな口調で) 034 ああ、すみません。035 よく調べたはずなんです。 客C 036 これと同じ物ありません？ 篠塚 037 それが、みなさんからお出しいただいたもので、ほとんどが一点きりなんですのよ。 客C 038 そうですかあ。(セーターを見る) 039 これ、とっても気に入ったんですよえ。	D01.2 T02.2 (用 ↓件を尋ね ↓る) ↓ ↓ ↓ → (同じ品 ↓があるか ↓尋ねる) ↓ ↓ → (代わり ↓の品を勧 ↓める) → (しみに ↓ついて) ↓ ↓ ↓
02' 05"	篠塚 (客Cのひじに手をかけ、近くのセーターの台に導き、別のセーターを見せる) 040 かわりにこちらなんかいかがですか。 041 ちょっとおとなしい感じにはなりますけど。 客C (首をかしげ、またもとのセーターを見る) 042 このシミ、取れるかしら。 篠塚 (のぞき込んで) 043 さあ、わかりませんが、穴の方は糸でかがってしまえばわからなくと思いますよ。(客Cを見る) 客C 044 そうねえ、じゃあ、ちょっと洗濯屋さんに相談してみますね。045 もし取れないようだったら、返品できます？ 篠塚 046 ええ、このバザーの間でしたら、結構ですよ。 客C (明るく) 047 あ、明日まででしたよね。 048 それじゃあ。(頭を下げて去る) (篠塚、お辞儀をして送り、先程のセーターをたたむ)	TC4.2 → (返品に TC2.1ついて) TC2.3 DC1.3

表現

「それが」(seg.09①-010, seg.16①-018, seg.24③-037等)相手の提案や発言を受け入れられない理由を述べるのに用いる。相手はその事情を知らないと思われる場合に、遠慮を示しながら反論する言い方である。

笹原千恵子 (女性、50代、大学教授、文化人類学専攻、シンポジウムの司会をつとめている)  
 野沢喜代雄 (男性、60代、大学教授、言語学専攻、シンポジウムの発題者)  
 井上正文 (男性、40代、博物館学芸員、シンポジウムの発題者)  
 石川慎吾 (男性、50代、作家、シンポジウムの発題者)

シンポジウム会場。ステージ上にタイトルの横断幕。壇上にテーブル。各発題者の前に名前を書いた紙。中央のテーブルにマイクスタンド。脇にOHP。後ろのスクリーンに待遇表現分類表、待遇表現モデル図。マイクは手に持っている。座って聞く聴衆。立ち見の聴衆。

	切るようなしぐさ)それをつきつめると、敬語廃止論。066 で すけど、(石川を見てから笹原の方を見る)一方ではむしろや たらにおおげなことばづかいが広まりつつあると。(笹原、 うなずく) 067 いい悪いは別にして、これも現実なんですね え。	↓ ↓ ↓ ↓ ↓
05' 39"	笹原 068 やはり、日本人の意識から待遇表現というものを取り 去るのはかなりむずかしいことのようにございますね。(石川 ・野沢の方を見る)	TC1.1 ↓
	野沢(笹原を見てうなずく) 069 うん。(会場に) 070 ひとつに はやはり、場面による使い分けということを考えるべきだと思 いますね。071 どんな時にもただただバカ丁寧にしていればい いというものではない。072 それからもうひとつ、さっき申し たように、全体として簡潔にわかりやすくしていく努力が必要 であると思います。	TC1.2 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
06' 12"	(クレジット)	↓

## 表現

- 「～は別にして」(seg.24④-067) その観点からの判断でなく、別の側面のことを述べる、との意味を表す。多くの場合に、後に述べる観点からの判断の方がより重要である、との主張を含んでいると受け取るのが適当である。
- 「ひとつには」(seg.24④-070) 話題になっていることに関連して、新たな内容を述べる時に用いる。表面上は、問題にすべきことのうちのほんの一つに過ぎない、といった控えめな形をとっているが、多くの場合、そのことこそが重要な点である、との主張をやわらげる言い方である。
- 「ひとつ」(seg.24④-061) も同様の効果を持っている。

## シナリオにあらわれた談話行動の分析 (執筆：小林ミナ)

### 1. 前言にかえて——分類が拠って立つ立場

言語的な単位の一つである「談話」を、非言語的コミュニケーションも含めた全体的なコミュニケーションの一部分として位置づけると、「コミュニケーション行動におけるひとまとまりの談話行動」(以下、談話行動)という構造体としてとらえなおすことができる。本解説書では、そのような構造体の成分(マクロストラクチャのコンポーネント)としての談話方策をシナリオから抽出し分類することによって、日本語による談話行動のモデルを記述することを試みた。

現実にあられるさまざまなコミュニケーション行動の中で、どこからどこまでを一つの談話行動として認定するかという難しさは、言語的な単位としての談話を認定する難しさとパラレルな関係にある。そこでここでは、談話行動を「会話参加者同士の接触が開始されてから終結するまでのひと続きの発話行動」と定義し、談話方策の抽出と分類を行なった。具体的な談話行動の例としては、「知人の家を訪ねてから辞去するまでの発話行動」「店に入って買物を済ませ店を出るまでの発話行動」などが考えられる。

### 2. マクロストラクチャのコンポーネントとしての談話方策

#### 2.1. 談話行動の構造と談話方策

談話方策を抽出する前提として、談話行動のモデルを下図の構造をもつものと仮定した。

会話参加者が接触を開始する際に、あいさつを交わしたり、初対面であれば名乗ったりする。接触を終結する際にもあいさつを交わしたりする。談話行動の開始と終結にみられるこのような部分を、談話開始部および談話終結部とした。

友人に電話をかけて買物に誘うという談話行動を例にとると、「こんにちなどの挨拶をする」「今、電話で話していても差し支えないか都合を尋ねる」などが談話開始部、「さよなら、バイバイなどの挨拶をする」「家人によろしくと言う」などが談話終結部である。

そして、「談話の開始 (Discourse Opening 以下 DO)」と「談話の終結 (Discourse Closing 以下 DC)」に用いられている方策を、談話開始部と談話終結部を構成する要素としてそれぞれ抽出した。談話開始部と談話終結部は、談話行動における実質的な情報のやりとりという側面からみると余剰とも考えられるが、コミュニケーションの円滑な遂行という側面からみると、必須と考えられるものである。

次に、談話開始部と談話終結部とは含まれた部分を話題部とした。上に一例としてあげた買物に誘う談話行動では、実際に勧誘を行なう部分が話題部である。そして、「話題の開始 (Topic Opening 以下 TO)」と「話題の終結 (Topic Closing 以下 TC)」に用いられている方策を、話題開始部と話題終結部を構成する要素としてそれぞれ抽出した。

#### 2.2. モデル記述の限界と意義

上で「知人の家を訪ねてから辞去するまでの発話行動」など、いくつかの談話行動を例としてあげたが、私たちが現実に行なっているさまざまなコミュニケーション行動が、上にあげたモデルのような、明解な構造体をもつ談話行動の連続ばかりでないことは、言うまでもない。現実にあられる個々の談話行動というものは、変則的、階層的な形で実現する。

例えば、他の会話参加者があらわれることによって中断したり、一つの談話行動が他の談話行動を内包したり、複数の談話行動が同時に進行したりといったことはもちろん、談話開始部をもたずにいきなり話題部に入る談話行動が出現することも考えられるし、用件だけを告げて談話終結部をもたずに別れてしまう談話行動が出現することもある。また、一つの話部と次の話部の境界が必ずしも明確でない場合もある。さらに、近況報告やおしゃべりのように、実質的な情報のやりとりよりもことばを交わし合うことに重きがおかれている談話行動では、談話開始部と話題部、あるいは話題部と談話終結部の境界が明確でない場合もあり得る。

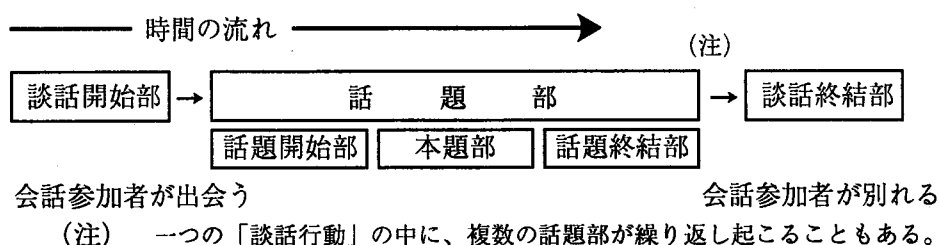
しかし現実にあられる談話行動が、変則的、階層的な形で実現するものであったとしても、談話行動をひとつの構造体ととらえ、実際の談話資料を用いてその実態を記述しつつモデルを構築していく作業が必要であることは疑いがない。なぜなら、日本語でのコミュニケーション能力の習得を目的とする日本語教育におけるシラバスおよびカリキュラムの作成、その助けとなる基礎資料作成には、実際の言語運用資料を分析することによって得られた成果が大いに貢献することが予想できるからである。

さらに、異なる言語による談話行動を同じ枠組みで記述する作業によって、談話方策や談話の進め方のレベルでの対照研究が可能になる。

### 3. シナリオにあらわれた談話方策

#### 3.1. 談話方策リスト

これまで述べてきたことを前提に、シナリオから「談話の開始/終結 (DO/DC)」と「話題の開始/終結 (TO/TC)」のそれぞれの方策を抽出し、分類したものが以下のリストである。



### ① 談話の開始 (DO) に用いられる方策

- DO1.1.相手の存在を認める等の注目表示
- DO1.2.呼びかけ等, 注目を要求する
- DO2.1.出会いのあいさつ
- DO2.2.名乗り
- DO3.1.互いの関係や共通体験への言及
- DO3.2.その場でみとめられる状況への言及
- DO4. その他

### ② 談話の終結 (DC) に用いられる方策

- DC1.1.談話を終結させる意思表示
- DC1.2.感謝または陳謝の表明
- DC1.3.別れのあいさつ
- DC2.1.聞き手への配慮の表示
- DC2.2.話し手自身への配慮の要請
- DC2.3.他の誰かへの配慮の表示
- DC3.1.他の行動に移る意思表示
- DC3.2.再会への言及
- DC4. その他

### ③ 話題の開始 (TO) に用いられる方策

- TO1.1.話題を開始する意志表示
- TO1.2.話題の種別の表示
- TO2.1.話題の開始の催促
- TO2.2.話題の種別の質問
- TO3.1.話題の前提となる情報の提示
- TO3.2.話題の前提となる情報の要求
- TO4. 話題そのものの提示
- TO5. その他

### ④ 話題の終結 (TC) に用いられる方策

- TC1.1.話題内容の要約・まとめ
- TC1.2.話題に関する結論または決定
- TC2.1.質問等に対する返答
- TC2.2.提案・行為要求の受諾または拒絶
- TC3. 話題内容・結末に関する論評・感想
- TC4.1.次の話題に移る意思表示
- TC4.2.話題内容・結末に基づく行動への言及
- TC5. その他

### 3.2. シナリオにあらわれた談話方策

シナリオにあらわれた談話方策の具体例を上述のリストに沿って掲げる。

#### ① 談話の開始 (DO) に用いられる方策

##### DO1.1.相手の存在を認める等の注目表示

会話参加者が互いの存在に気づいたことを示す。

例: 「おい, 小山。」「やあ」(seg.03②-014, -015), 「(会釈して)すみません」(seg.05②-021)

##### DO1.2.呼びかけ等, 注目を要求する

談話を始めたい相手に気づいてもらいたいことを示す。

例: 「ああ, 鈴木君」(seg.04②-013)

##### DO2.1.出会いのあいさつ

人と出会った時のあいさつとして慣用されている表現を用いる。

例: 「はじめまして。(後略)」「はじめまして。(後略)」(seg.02①-005, -007), 「いらっしゃいませ。」(seg.06①-002)

##### DO2.2.名乗り

会話参加者が初対面の場合は, 互いに名乗りあうことがある。やりとりされるのは名前だけとは限らず屋号や職業のこともある。必要であれば, 肩書や出身などの情報が付加される。

例: 「こちら編集を担当しております吉岡です。」

「編集の吉岡でございます。」(seg.10①-009, -010)

##### DO3.1.互いの関係や共通体験への言及

互いの関係や共有する話題や経験を持ち出す。共通の話題・経験に言及することによって, 互いの関係がその場限りのものではなく恒久的なものであることを示し, 会話参加者の共感性を高めるのではないかと思われる。seg.06②に見られる岸本と中村の共通の知人である田中に関するやりとりが, この例である。

##### DO3.2.その場でみとめられる状況への言及

その場の状況, 具体的には互いの健康状態や服装, その日の天候などを話題にする。その場での相手の状態へ言及することによって相手への関心を示したり, 天候へ言及することで場を共有していることを示したりする。

例: 「お前, 元気そうじゃないか。」(seg.03②-017)

##### DO4.その他

#### ② 談話の終結 (DC) に用いられる方策

Clark and French1981, 岡本1990によれば, 談話行動を終結させること, すなわちそこでの接触を終わらせることは, 会話参加者にとってできるだけ回避したいことである。そのため, そこでの接触の終結が互いの関係を維持する上での絶対的なマイナスとならないために, 会話参加者はさまざまな方策を用いる。

##### DC1.1.談話を終結させる意思表示

結論がでたことを確認する, あるいは, 談話を終結させなければいけない外部の事情を持ち出す。

例: 「じゃ, いま, ちょっと電話中なので。」(seg.07②-036)

##### DC1.2.感謝または陳謝の表明

感謝または陳謝をあらわす表現を用いる。表現の選択には談話行動の内容が関わっている。例えば, 依頼の談話行動であれば感謝を, 謝罪の談話行動であれば陳謝を表明する, などがある。また感謝のことにどのような応答を返すかは, 互いの関係が関わっており, 必ずしも日本語のテキストにとりあげられることの多い「ありがとうございました——どういたしまして」というやりとりであるとは限らない。

例: 「どうもありがとうございました。」「よろしくお願ひ致します。」(seg.04③-045, -046), 「どうもありがとうございました。」「お大事に。」(seg.23④-089, -090), 「どうもありがとうございました。」「どうも。」(seg.08②-060, -061)

##### DC1.3.別れのあいさつ

人と別れる時のあいさつとして慣用されている表現を用いる。適切なあいさつ表現の選択には, 互いの関係や談話行動が行なわれた場所や時刻などの外的な条件が関わっているようである。例えば, 家族や同僚に対しては「さようなら」は使わない, 夜遅く別れる際には「さようなら」のかわりに「おやすみなさい」ということがある, などがある。

例: 「それじゃ, 失礼します。」「じゃあ, ごめんください。」(seg.07③-053, -054)

##### DC2.1.聞き手への配慮の表示

談話を終結させるにあたり, なんらかの配慮をあらわす。聞き手に対する配慮の表示をDC2.1.に, 話



し手自身に対する配慮の要請をDC2.2.に、第三者に対する配慮の表示をDC2.3.に分類した。

例：「来週でも、一段落したら、うちにも遊びにいらして。」「ええ、とにかく一度、お電話します。」  
「じゃあ、後片付けがんばって。」(seg.07①-048~-052)

#### DC2.2.話し手自身への配慮の要請

例：「じゃ、お願いします。」「よろしく。」(seg.07④-086, -087)

#### DC2.3.他の誰かへの配慮の表示

例：「機械部の中村さんだ。それじゃ、よろしく。」(seg.02②-068, -069)

#### DC3.1.他の行動に移る意思表示

次の行動に移ることを示す。話し手自身が次の行動に移ることを示す場合と、聞き手に次の行動に移ることを促す場合の両方をここに分類した。

例：「ちょっと、お待ちになって。(=話し手自身が次の行動に移ることを示す)」(seg.07①-020),  
「さあ。(=聞き手に部屋を出るよう促す)」(seg.02③-091)

#### DC3.2.再会への言及

将来における再会を話題にすることにより、そこでの談話行動の終結が一時的なもので、互いの関係は恒久的なものであることを示す。この方策が用いられるのは、実際に再会の予定があるかないかに関わらない。

例：「じゃ、またそのうちに。」「うん。そのうちに一杯やろうか。」(seg.03②-060~-062)

#### DC4.その他

### ③ 話題の開始 (TO) に用いられる方策

#### TO1.1.話題を開始する意志表示

#### TO1.2.話題の種別の表示

会話参加者の一方が、明確な目的をもって臨んでいる談話行動では、話題の目的(種別)をはっきり提示することによって、談話開始部から話題部に移行することがある。

例：「おじさん、今日はちょっと、えと、頼みがあって。」(seg.16①-001)

#### TO2.1.話題の開始の催促

TO1.2.と同様に、話題部に移行することを催促する。

例：「なんか、話でもあるのか。」(seg.18①-001)

#### TO2.2.話題の種別の質問

TO1.2.と同様に、話題部に移行するためにその目的を尋ねる。

例：「それで、相談とは？」(seg.10①-015)

#### TO3.1.話題の前提となる情報の提示

いきなり本題に入らず相手の反応や状況によって、話の進め方を調節するために、本題の前提となる情報を提示する。次の例では、敏子はちょうちん祭りに誘うためにベティに電話をしたが「ちょうちん祭りに行きませんか」などの直接的な勧誘表現を用いずに、電話の直前の状況を描写している。

例：「ええ、いま、吉岡さんが見えてるんです。もし、よろしかったら、わたしのところにいらっしやいませんか？三人で川越のちょうちん祭りにでも行ってみようって、話しているんですが。」(seg.12①-037~-039)

#### TO3.2.話題の前提となる情報の要求

TO3.1.と同様の理由で、本題の前提となる情報を

要求する。seg.20②では、三浦は北野をその夜に行なわれる団地の相談会に誘おうとしているが、勧誘のことばの前に、今夜の予定を尋ねている。

例：「そうだ、先生、今夜、なにか予定ありますか。」(seg.20②-002)

#### TO4.話題そのものの提示

新しい話題そのものを提示することによって、結果的に次の話題部が開始されることがある。しかしこの方策は、相手の話に興味がないことの表明、これまでの話題がその場にふさわしくないことの指摘など、マイナスの含意をうみだす可能性がある。そこでこの方策を用いるときには、「あと／それから／さっそくですが」などの表現によって、新しい話題を導入することが言語的に明示されることが多い。

例：「それからね、さっきチャンさんとはなしてたらね。」(seg.20③-052)

#### TO5.その他

### ④ 話題の終結 (TC) に用いられる方策

#### TC1.1.話題内容の要約・まとめ

それまでの話題部の内容をまとめたり、オチをつけたりする。

例：(戸籍謄本を取りに行つてほしいという依頼に一応の承諾を得た後に)「じゃあ、お願いしたいかしら。」(seg.07⑤-095)

#### TC1.2.話題に関する結論または決定

話題部で検討されてきたことの結論を述べる。

例：(本のページ数を減らす相談をしていて)「その写真5枚を……、別な写真1枚に替えますか。」(seg.10①-010)

#### TC2.1.質問等に対する返答

相手の要求に応答する。相手が情報を要求している(=質問)場合の応答をTC2.1.に、行為を要求している(=提案・行為要求)場合の応答をTC2.2.に分類する。

例：(本の発行予定日を尋ねられて)「ええ、変更はちょっと。」(seg.09①-054, -055)

#### TC2.2.提案・行為要求の受諾または拒絶

例：(そうめんを勧められて)「じゃ、ごちそうになります。」(seg.12②-065)

#### TC3.話題内容・結末に関する論評・感想

話題部の内容や結末に対して、自分の感想や意見を述べる。

#### TC4.1.次の話題に移る意思表示

次の話題に移ることを示すことによって、結果的にその話題部が終結されることがある。

例：「ほかに何か。」(seg.10①-039)

#### TC4.2.話題内容・結末に基づく行動への言及

話題部の内容や結末から導かれる次の行動や予定を述べたり、確認したりする。

例：「では、これ拝借します。」(seg.10②-070)

#### TC5.その他

## 4. 教育内容としての談話構造

### 4.1. 談話教育の意義

日本語によるコミュニケーション能力の獲得を目標とする日本語教育では、その教育内容として、文法・語彙など体系に関する知識だけでなく、「ある語彙や表現をどのように使うか」という運用に関する知識も含めて考える必要がある。

例をあげると、「～ていただけませんか／～てくだ

さい」という文末形式がともに依頼の機能をもつ、「ちょっと」という副詞が「少し」という本来の意味を離れて話の調子を整えるためのいわば間投詞のように用いられることがある、といった記述は、共に、日本語運用の一側面をとらえたものと言える。このような、ある文末形式や語彙に関する運用面での知識は、コミュニケーションを円滑に進めるためには不可欠なものであろう。

それと同時に、談話レベルでの日本語運用に関する知識も、教育内容の一項目として取り上げられるべきものである。談話レベルでの運用の知識とは、出会ったときにどのようにあいさつをするか、どのように話を切り出すかなど、ひとまとまりのコミュニケーション行動としての談話行動を円滑に進める上での方策（ストラテジー）や、そのために、ある形式や表現が担う機能などに関する知識をいう。

ザトラウスキー1986-a, -b, 1987では、勧誘を目的とした談話が、勧誘の機能をもつとされる表現（～ませんかなど）だけによって実現されるのではなく、相手の反応によってプラス情報やマイナス情報を調節しながら提供したり、相手が断わった場合でも気まづくならないような方策を用いたりしながら進行することが指摘されている。この指摘が示唆しているように、コミュニケーション能力とは、談話の進行に関わる知識も含んだ総体ととらえるべきものである。

したがって、日本語でのコミュニケーション能力の獲得のためには、談話レベルでの日本語運用に関する知識を取り上げる談話教育が意義あるものと考えられる。

## 4.2. 談話教育における本映像教材の可能性

4.1. で述べた談話教育の基礎資料として『日本語教育映像教材 中級編』がもつ可能性を示すものとして、本解説書の談話行動モデルおよび談話方策のリストの利用例を以下に記す。

- (1) 既習の文末形式や表現について、それぞれの方策に用いられるものをリストアップし、談話レベルでの機能という観点からカテゴリー化する。
- (2) 「勧誘」「依頼」「提案」など話題部の内容によって典型的にあらわれる方策の組み合わせを作る。
- (3) 談話の開始と終結に用いられる方策について、「上司と部下」「友人」「家族」など会話参加者の関係によって、用いることができる／できないという観点からカテゴリー化する。
- (4) 上の(2)と(3)を組み合わせ、「上司に依頼する」「家族を勧誘する」など具体的な「談話行動」のモデルを作る。学習者のレベルによって、単純なものから複雑なものまで、さまざまな組み合わせが考えられる。
- (5) 異なる言語による談話行動を、同じ枠組みで記述し、日本語談話行動との異同を明らかにする。

### <参考文献>

- Clark, H.H. and J.W. French 1981 "Telephone goodbyes", *Language in Society* vol.10, pp.1-19
- 岡本能里子 1990 「電話による会話終結の研究」『日本語教育』72号, 日本語教育学会: pp.145-159
- 1991 「電話会話における対人関係維持としての言語使用——電話会話と留守番電話の終結部を分析して」『ディスコースプロセス研究』第3巻第2号, ディスコースプロセス研究会: pp.51-60
- ポリー・ザトラウスキー 1986-a 「談話の分析と教授法 I —— 勧誘表現を中心に」『日本語学』11月号, 明治書院: pp.27-41
- 1986-b 「談話の分析と教授法 II — 勧誘表現を中心に」『日本語学』12月号, 明治書院: pp.99-108
- 1987 「談話の分析と教授法 III — 勧誘表現を中心に」『日本語学』1月号, 明治書院: pp.78-87
- Schegloff, E.A. and H. Sacks 1973 "Opening up Closings", *Semiotica* 8, : pp.289-327

# 索引

以下に、「索引」として次の5種を掲載する。これらは、「中級編」を多角的な観点から利用するための資料として作成されたもので、ある伝達機能が描かれた場面を全セグメントから集める、ある形式が担いえる機能を一覧する、体のある部位を使った動作で何が伝達できるかをリストアップする等、さまざまな目的でこの教材を分析し、多様な教授内容を設定するために利用することを目的としている。

1. **場面機能索引** 「映像解説」の「流れにそって」の表中に記された話題内容の索引で、話題の種類ごとに、その談話構造や用いられる言語形式を整理するために用いることができる。
2. **非言語行動索引** 同じく「流れにそって」の表中にト書きとして記された随伴動作等のうち、伝達手段として意味を持ちうるものを分類して掲げたもので、総合的コミュニケーションの手段として用いられる動作の実例を検索するために用いることができる。
3. **画像索引** 同じく「流れにそって」の表の欄外に記された事物の索引で、事物を映像によって提示するために使用することができる。
4. **文化事項コラム一覧** 本書で各セグメントについて記された「文化事項コラム」のタイトルを掲載順に列挙したリストである。
5. **表現形式一覧** 同じく、「表現形式」として挙げられた内容を列挙したリストである。

## 1. 場面機能索引

**凡 例** この索引には、「中級編」で描かれた各場面の機能を分類して挙げてある。各場面の機能は、主に、本文中で TO および → の箇所にある発話の性格によって認定することにし、それらの発話を持つと考えられる機能のうち、最も顕著なものを、Jakobson1960(訳語は川本他訳1973による)の言語機能分類を参考にした以下のような分類表により分類した。

cf. Jakobson, R. 1960 *Linguistics and Poetics* (*Style in Language*, T.A.Sebeok ed., M.I.T. Press) [川本茂雄他訳1973『一般言語学』, みすず書房]

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>◆<b>関說的発話</b> (実質的情報をやり取りする)<ul style="list-style-type: none"><li>◇行為: 行為を行いながら補足的情報を伝える</li><li>◇紹介: ワキの人物に関する情報を伝える</li><li>◇自己紹介: 初対面の相手に自分に関する情報を伝える</li><li>◇情報伝達: 自分にとって既知であり相手にとって未知の情報を伝える</li><li>◇説明: 自分に関する情報を伝え理解を求める</li><li>◇情報要求: 自分にとって未知の情報を要求する</li><li>◇確認要求: 自分にとって既知の情報を提示し確認を求める</li><li>◇相談: 互いの了解の上で行為の方針等を定める</li></ul></li><li>◆<b>動能的発話</b> (行為要求)<ul style="list-style-type: none"><li>◇要求: それを行うべき立場にある相手に対して行為を要求する</li><li>◇指示: 何らかの権限をもって行為を要求する</li><li>◇依頼: 相手の厚意により自らの利益になる行為を要求する</li><li>◇勧め: 相手の利益になる行為を要求する</li><li>◇誘い: 自分とともに行為を行うことを要求する</li></ul></li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>◆<b>心情的発話</b> (感情・意志等の表出)<ul style="list-style-type: none"><li>◇感想叙述: 話題やできごとに対して自分が感じるところを述べる</li><li>◇意志表示: 自分の意志・決定などを述べる</li><li>◇儀式的: 慣習的に定まった形式ののちで感情等の表出を行う</li></ul></li><li>◆<b>交話的発話</b> (ことばを交わすことにより良好な対人関係を保持する)<ul style="list-style-type: none"><li>◇情報叙述: 互いに共感できる話題に関する情報を伝える</li><li>◇質問: 相手に関する情報を求めることにより相互の理解を高める</li></ul></li><li>◆<b>メタ言語的発話</b> (ことばそのものを話題にする)<ul style="list-style-type: none"><li>◇語釈要求: ことばについての説明を求める</li><li>◇訂正: ことばの形やことばづかいを訂正する</li></ul></li></ul> |
|--|--|

「関說的発話」に属する「情報伝達」と「説明」とは、いずれも、なんらかの情報内容を相手に伝え教える機能であるが、「説明」には、話し手の側に関する情報内容を伝えた上で、さらにその事情に理解を求める気持ちを含んでいる場合を分類した。それに対して、「情報伝達」には、より客観的な情報内容を分類してある。

同様に情報を相手に伝える機能として、「交話的発話」のうちの「情報叙述」がある。「関說的」機能が情報内容が相手の知識となることを目的とするのに対して、「交話的」機能は、ことばを交わすこと自体を目的とし、それによって相手に対して敵意がないことを示したり親しくなろうとする意志を示したりするものである。従って、ここに含まれる「情報叙述」には、新しい情報内容を相手に教え

ることより、互いに興味の持てる話題を持ち出して共感が生まれたり、そうした会話を交わすこと自体によって親しみが生じることを目的とした発話が分類される。

「関読的発話」中の「情報要求」と、「交話的発話」中の「質問」とも、同様の関係にある。「情報要求」に当たる発話が、自分にとって多少とも必要な実質的情報を求めるものであるのに対して、「質問」に分類された発話は、主に相手側の事情などを尋ねることにより、話し手が相手に関心や好意を持っていることを示すことに主な目的がある。

「動能的発話」は、いずれも、相手に何らかの行為を行うよう求める機能を持つが、そのうち、「要求」には、店員が客に應對するなど、相手が義務として当然行うべき行為を求めるもの、「指示」には、その行為を命じる資格のある話し手による行為の要求を、それぞれ分類した。また、「依頼」には、相手が行う義務のないことを厚意として行うよう頼む発話が分類される。これらはいずれも、話し手が利益を受ける場合である。それに対して、「勧め」には相手の利益になることを行うよう勧める発話、「誘い」には相手の自由意志によって話し手といっしょに何かを行うよう勧める発話が分類されている。これらは、相手が利益を受ける行為を要求する機能と言える。

「心情的発話」は、話し手の感覚・感情などの主観的内容を表すもので、「感想叙述」はすでに起こった事態に対して話し手が持つ感想・意見を述べるもの、「意志表示」は、主に話し手がこれから行おうとすることがらを述べるものを含む。

「メタ言語的発話」は、ことばに関する知識やその場で発せられたことばの形式・意味に言及する機能で、「語釈要求」は自分の知らないことばに関する知識を尋ねたりする発話、「訂正」には相手の不適当なことばづかいを指摘し直すなどの発話が含まれる。

この分類中に ◇ で示される小分類の種類は、「中級編」に現れた発話を分類して得られたものに限られているので、さらに広い範囲のテキストを分析すれば、これ以外の機能を設ける必要が出てくることは当然予想される。

### 場面機能索引

#### ◆関読的発話（実質的情報をやり取りする）

◇行為：行為を行いながら補足的情報を伝える [ユニット 1] seg.03②（代金を払う） [ユニット 2] seg.08④（代金を払う） seg.11①（食事を始める） seg.11②（用の済んだ物を片付けながらひとりとごと） seg.12①（手土産を渡す）

◇紹介：ワキの人物に関する情報を伝える [ユニット 1] seg.02①（連れを紹介する） seg.02②（電話で人を紹介する） seg.03②（友人を紹介する） [ユニット 2] seg.10①（連れを紹介する） seg.10②（連れを紹介する） [ユニット 3] seg.14①（両者を紹介する）

◇自己紹介：初対面の相手に自分に関する情報を伝える [ユニット 1] seg.01①（多数の前で） seg.01①（多数の前で） seg.01①（多数の前で）

◇情報伝達：自分にとって既知であり相手にとって未知の情報を伝える [ユニット 1] seg.04②（面会の予定を伝える） seg.04④（道順を説明する） seg.05①（出口を教える） seg.05①（道が違うことを伝える） seg.05③（道を説明する） seg.05③（迷った理由を説明する） seg.05④（目的地へ案内する） seg.06①（来客を告げる） [ユニット 2] seg.07⑤（手続きのいきさつを伝える） seg.09①（割り付け結果の報告） seg.09③（交渉結果の報告） seg.10①（目的地へ案内する） seg.11①（伝言を伝える） seg.12①（共通の知人の近況） seg.12①（電話の報告） [ユニット 3] seg.17①（日柄について） seg.17③（貸家の候補を検討する） seg.18①（結婚することを伝える） [ユニット 4] seg.24④（敬語について） seg.24④（敬語について） seg.24④（敬語について）

◇説明：自分に関する情報を伝え理解を求める [ユニット 1] seg.06②（自社の方針を説明する） seg.06②（自社の事情を述べる） seg.06②（商品の内容を説明する） [ユニット 2] seg.07③（来客の説明） seg.07③（自分の都合） seg.08②（商品を説明する） seg.09①（遅れた事情の説明） [ユニット 3] seg.14④（断りの理由） seg.16②（結婚することを伝える） seg.16②（結婚のいきさつ） [ユニット 4] seg.20②（イベントの内容について） seg.21②（餃子の店の都合） seg.23④（バザーの仕事について） seg.24①（買い物の心づもり）

◇情報要求：自分にとって未知の情報を要求する [ユニット 1] seg.02②（日程の都合を尋ねる） seg.03②（注文を取る） seg.04②（用意する物を尋ねる） seg.04③（道順を尋ねる） seg.04③（ビルの名前を尋ねる） seg.04③（住所を尋ねる） seg.05②（道を尋ねる） seg.05③（道を尋ねる） seg.06①（約束の有無を尋ねる） [ユニット 2] seg.07②（御用聞きをするかどうか尋ねる） seg.07④（手続きの場所を尋ねる） seg.07④（住民票のことを尋ねる） seg.07④（手続きがいつ済むか尋ねる） seg.08①（売り場を尋ねる） seg.08②（買い物の用途を尋ねる） seg.08②（のし紙について尋ねる） seg.08④（買う魚を選ぶ） seg.08④（魚のさばき方を尋ねる） seg.09①（飲み物の好みを聞く） seg.09①（日程を尋ねる） seg.09②（日程の相談） seg.11①（卵の注文をきく） seg.11①（石けんの場所をきく） seg.11②（本を入れる場所を尋ねる） seg.12①（飲み物の希望をきく） [ユニット 3] seg.15①（販売企画について） seg.15①（他の議題の有無） seg.15②（写真家について尋ねる） seg.17①（結婚式の様式） seg.17①（披露宴の人数） seg.17②

- (貸家を探す) seg.17② (貸家の希望を尋ねる) seg.18① (用件を尋ねる) [ユニット 4] seg.19③ (話の内容を尋ねる) seg.20② (場所を尋ねる) seg.20③ (提案の具体的内容を探る) seg.21① (会場を予約する) seg.21① (書き方を尋ねる) seg.21① (会場使用の目的を尋ねる) seg.21① (会場の空いている日を尋ねる) seg.21① (会場が空いているかどうか尋ねる) seg.21② (出口の位置を確認する) seg.22① (商品の評判を尋ねる) seg.22① (条件を尋ねる) seg.22② (出席者について) seg.22② (出席者の発題内容) seg.22② (会場の場所) seg.23② (具合を尋ねる) seg.23④ (問診をする) seg.23④ (痛みについて尋ねる) seg.24③ (用件を尋ねる) seg.24③ (同じ品があるか尋ねる)
- ◇**確認要求**: 自分にとって既知の情報を提示し確認を求める [ユニット 2] seg.08③ (鍵を持っていることの確認) [ユニット 3] seg.14① (受賞のことに触れる) seg.15① (客層について) [ユニット 4] seg.19① (約束の確認)
- ◇**相談**: 互いの了解の上で行為の方針等を定める [ユニット 1] seg.02② (会う日を決める) seg.04① (面会の約束をする) seg.05① (道を探す) seg.02② (日程の決め方について案を出す) [ユニット 2] seg.08① (買い物の順序) seg.08② (スプーンセットを選ぶ) seg.08③ (献立) seg.09① (表の形を変える提案) seg.09① (図版を削る提案) seg.09① (写真を削る提案) seg.09① (本文を削ってもらう提案) seg.09① (ページ数を増やす提案) seg.10① (原稿を縮める方法の提案) seg.10① (原稿を縮める方法の提案) seg.10① (提案への補足) seg.10② (割り付け方法) seg.10② (写真の受け渡し) seg.11② (公園へ行く提案) seg.11③ (行き先の提案) seg.11③ (帰る提案) seg.11③ (公園へまた来る提案) seg.12① (祭りに行く提案) seg.12① (知人を誘う提案) [ユニット 3] seg.15① (若い人の意見を尊重する提案) seg.15② (ポスター写真の案を見せる) seg.16② (正式な依頼のしかた) seg.17① (式場の具体案) seg.17② (他の貸家を探す) seg.17② (貸家の案を検討する) seg.17② (貸家の案を検討する) seg.17② (貸家の案を検討する) seg.17② (意見を求める) seg.17④ (意見を尋ねる) seg.18② (スピーチの内容) [ユニット 4] seg.20③ (イベントの内容を提案する) seg.20③ (提案への賛成) seg.20③ (イベントの内容の提案) seg.20③ (イベントの内容の提案) seg.21② (会場レイアウトの提案) seg.21② (具体案を求める) seg.21② (レイアウト案を出す) seg.21② (係の分担を決める) seg.21② (掲示を書く係を決める) seg.21② (シンポジウムの係を決める) seg.22① (バザーの商品を選ぶ) seg.22① (値段の交渉をする) seg.22① (値段の具体案を出す) seg.22① (代わりの案を出す) seg.23① (代わりの案を出す) seg.23① (テーブルの色を決める)

#### ◆動能的発話 (行為要求)

- ◇**要求**: それを行うべき立場にある相手に対して行為を要求する [ユニット 2] seg.08② (商品を出してもらう) seg.08② (次の商品を出してもらう) seg.08② (配達を頼む) seg.08② (代金を請求する) seg.08④ (配達を頼む) seg.09① (欠けている原稿の要求) seg.09① (印刷業者との打合せをさせるよう要求) seg.11② (物を持っていさせる) [ユニット 3] seg.18① (車を貸す条件を出す) [ユニット 4] seg.20② (買い物をする) seg.23① (提案の撤回を求める) seg.23③ (診察を申し込む) seg.23③ (保険証を出させる) seg.24④ (発言を求める) seg.24④ (発言許可を求める)
- ◇**指示**: 何らかの権限をもって行為を要求する [ユニット 1] seg.01① (自己紹介をさせる) seg.02③ (電話させる) seg.04② (道順を調べさせる) seg.06① (資料を出させる) [ユニット 2] seg.07④ (記入方法) seg.07④ (書類を提出させる) seg.09① (ブラインドを開けさせる) seg.09① (執筆者訪問に同行させる) seg.09① (見てこさせる) seg.09① (飲み物を注文させる) seg.09② (印刷の方法) seg.09② (飲み物を配る) seg.09② (連絡させる) seg.09③ (対処の方法) seg.09③ (著者との面会について) seg.11① (伝言させる) seg.11① (本を読むのをやめさせる) seg.11① (本を読むのをやめさせる) seg.11② (洗濯物を出させる) seg.11② (勉強させる) [ユニット 4] seg.21① (予約用紙を書かせる) seg.22② (出迎えについて) seg.23③ (熱を計るよう指示) seg.23④ (体温計を出させる) seg.23④ (聴診の準備をさせる) seg.24④ (発言者を指名する)
- ◇**依頼**: 相手の厚意により自らの利益になる行為を要求する [ユニット 1] seg.01① (乾杯の音頭を指名する) seg.02① (他社への紹介を依頼する) seg.02② (電話で相手を手んでもらう) seg.03② (同席の許可を求める) seg.06① (取り次ぎを頼む) [ユニット 2] seg.07② (取り引きをしてくれるよう頼む) seg.07④ (手続きを頼む) seg.07④ (書類なしで手続きするよう頼む) seg.07⑤ (区役所へ行くよう頼む) seg.09② (原稿を預かる許可を求める) seg.10① (原稿を縮める依頼) seg.10① (原稿に含まれる表と写真の要求) seg.10② (表の原稿の要求) seg.10② (写真を用意する依頼) seg.11① (用事を頼む) seg.11② (自室の片付けの手伝いを頼む) seg.11② (遊びに連れていくよう頼む) seg.11③ (ジュースを買ってもらいたい) [ユニット 3] seg.14③ (縁談を断るよう頼む) seg.16① (仲人を頼む) seg.16② (頼みごとを切り出す) seg.16② (依頼を切り出す) seg.16② (依頼の内容を述べる) seg.18① (披露宴に招く) seg.18① (車を貸してくれるよう頼む) seg.18② (スピーチを頼む) [ユニット 4] seg.23① (塗り直しを頼む) seg.24② (何か買うよう求める)

- ◇**勧め**：相手の利益になる行為を要求する [ユニット 1] seg.02③(手みやげを渡す) seg.03②(同席を勧める) seg.03②(同席を勧める) seg.06①(茶を勧める) [ユニット 2] seg.08②(別の商品を提案する) seg.08③(先に帰るよう勧める) seg.09②(コーヒーを勧める) seg.11①(妻を手伝うよう要求する) seg.12①(おしぼりを勧める) seg.12①(ゆっくりして行くよう勧める) seg.12①(茶を勧める) seg.12②(昼食を勧める) seg.12②(薬味を勧める) [ユニット 3] seg.13①(見合いを勧める) seg.13②(見合いを勧める) seg.13③(見合いを勧める) seg.14①(茶菓を勧める) seg.14①(二人で散歩するよう提案) seg.15②(候補を提案する) seg.16①(代わりの候補を提案する) seg.17①(式の日取りの提案) seg.17②(貸家の案を示す) seg.17②(下見を勧める) [ユニット 4] seg.19②(テニス大会出場を勧める) seg.19②(テニス大会出場を勧める) seg.19③(行事をすることの提案) seg.23②(病院に行くことを勧める) seg.24③(代わりの品を勧める)
- ◇**誘い**：自分とともに行為を行うことを要求する [ユニット 1] seg.03②(飲みに行くことを提案する) [ユニット 2] seg.07③(招待する) seg.11③(遊具の場所へ呼ぶ) seg.12①(祭り見物に誘う) seg.12②(昼食を始める) seg.12③(写真を撮る提案) [ユニット 4] seg.19③(行事を行うことの提案) seg.20②(イベントの相談に誘う)

◆**心情的**(感情・意志等の表出)

- ◇**感想叙述**：話題やできごとに対して自分が感じるところを述べる [ユニット 1] seg.03①(あいさつについての感想) seg.03①(ことばづかいについての感想) seg.03②(自分と相手を比べての感想) seg.06②(会社のことを話す) [ユニット 2] seg.08②(買い物候補を検討する) [ユニット 3] seg.14③(見合いの感想) seg.14③(断り方に困ること) seg.14④(おいの性格) seg.15①(デザインについて) seg.15①(売れるかどうか) seg.15②(ポスターの写真を選ぶ) seg.17③(新居の候補) seg.17④(新居の候補) seg.17④(新居の候補を検討する) seg.18②(できるかどうか) [ユニット 4] seg.19②(相手のテニスの上達について) seg.19③(みこしについての思い) seg.19③(現状についての感想) seg.20③(提案への反対) seg.21②(レイアウト案への反対) seg.22①(自分に似合わないこと) seg.22②(シンポジウムの内容についての感想) seg.23①(ついたての色について) seg.24③(しみについて)
- ◇**意志表示**：自分の意志・決定などを述べる [ユニット 2] seg.08②(購入する品物を決める) seg.09①(自分が取りに行く提案) seg.09①(著者との面会の手配を申し出る) seg.11①(掃除を引き受ける申し出) seg.11③(自分もやりたいと言う) seg.12③(写真を撮る申し出) [ユニット 3] seg.14④(縁談を断る) seg.17④(貸家の候補を断る) [ユニット 4] seg.23②(付き添いを申し出る)
- ◇**儀式的**：慣習的に定まった形式にのっとって感情等の表出を行う [ユニット 1] seg.01①(歓迎のあいさつを述べる) seg.01①(乾杯の音頭を取る) [ユニット 3] seg.18③(乾杯の音頭を取る)

◆**交話的**(ことばを交わすことにより良好な対人関係を保持する)

- ◇**情報叙述**：互いに共感できる話題に関する情報を伝える [ユニット 1] seg.02①(出身大学が同じであることに言及する) seg.02①(共通に知っている先生のことに言及する) [ユニット 3] seg.14②(大雪へ行ったこと) seg.18③(エピソードの紹介) [ユニット 4] seg.19②(テニスの腕前の批評) seg.19③(近所の外国人のこと) seg.24①(バザーの盛況)
- ◇**質問**：相手に関する情報を求めることにより相互の理解を高める [ユニット 1] seg.02①(就職しての様子を尋ねる) seg.03①(仕事のことを話し合う) seg.03②(銀行の仕事について尋ねる) seg.03②(仕事の内容を尋ねる) seg.06②(紹介者について話す) [ユニット 2] seg.07①(引っ越しの様子を尋ねる) seg.07①(新居の様子を尋ねる) seg.11①(片付けの進行状況を尋ねる) seg.12①(引っ越しの様子を尋ねる) seg.12②(前に会った時のことを尋ねる) seg.12②(その後の様子を探る) seg.12②(味を尋ねる) [ユニット 3] seg.13③(事情を尋ねる) seg.13③(見合いについて尋ねる) seg.14②(仕事のことを尋ねる) seg.14②(自分のテーマについて尋ねる) seg.14②(商品写真について) seg.14②(撮影の場所について) seg.14②(暑い、寒いのがどちらが好きか) seg.16②(相手について) [ユニット 4] seg.21②(餃子の種類について尋ねる)

◆**メタ言語的発話**(ことばそのものを話題にする)

- ◇**語釈要求**：ことばについての説明を求める [ユニット 4] seg.20③(ことばの意味を尋ねる)
- ◇**訂正**：ことばの形やことばづかいを訂正する [ユニット 4] seg.19②(老人会という名前)

## 2. 非言語行動索引

**凡 例** この索引には、「中級編」の映像に現れるさまざまな動作や行為のうち、コミュニケーションにおいて、なんらかの意味を持つと考えられる動作を分類して挙げてある。非言語行動の種類は、以下のように身体部位によりおおまかに分類して示したが、複数の部位に関するもの、および複数の動作が連続する場合は、最も顕著であると思われる動作が起こる部位に分類した。また、いくつかの動作については、その非言語行動が表す意味を → の後に簡単に記した。それぞれの出現位置は、その直前または直後のせりふの文番号で示してある。

- ◆移動・対人位置（相手との位置関係）
- ◆立ち座り
  - ◇立つ      ◇すわる
- ◆全身・上半身（全体的な動き）
- ◆頭部
  - ◇頭を下げる
  - ◇その他頭部全体（首をかしげる等）
- ◆顔の表情
- ◆目（視線の動き）
  - ◇人を見る、人から視線を外す
  - ◇物などを見る
- ◆飲食（口の動作のうち、飲食を行うもの）
- ◆上肢
  - ◇腕      ◇両手      ◇掌部・指・拳
  - ◇持ちもの・服装など
- ◆音調・口調
- ◆その他

### 非言語行動索引

◆移動・対人位置 [ユニット 1] **seg.02** ③-090：先に立って出る→案内 ③-090：上司、部下の順で歩く→順位の意識 **seg.03** ②-016：近づく→接触の開始 **seg.05** ③-032：そのもののところへ行く→説明 ③-032：ついて行く **seg.06** ①-013：先に立って歩く→案内する ①-016：奥から上司、部下の順に座る→順位の意識 ②-025：奥のいすにつく→順位の意識 ②-073：上司を先に通す→順位の意識 [ユニット 2] **seg.07** ②-038：ドアを出る→接触の終了 ④-055：カウンターに近づく→接触の開始 ④-064：カウンターに近づく→接触の開始 ④-070：相手のそばを離れる→接触の中断 ④-070：カウンターに戻る→接触の再開 **seg.08** ①-004：相手のそばを離れる→接触の中断 ①-010：相手のところへ戻る→接触の再開 **seg.09** ①-004：向かい合って座る→ウチ・ソトの意識 ②-057：近づく→接触の開始 ③-107：近づく→接触の開始 **seg.10** ①-007：近づく→接触の開始 ①-008：少し脇へ寄り後ろにいる人物を指し相手を見る→紹介 ②-052：相手の前に進む→あいさつ **seg.11** ①-012：ドアに手をかけたまま→簡単な接触 ①-017：相手のそばに立ち止まる→接触の開始 ①-024：食卓につく→準備の終了 ②-058：物を置き立ち上がって出ていく ②-059：入ってきて座る ③-065：先に立って走り出し連れの方を振り向く→誘い ③-067：ある場所に立って右手をかけ相手を振り向く→誘い **seg.12** ①-035：立って部屋の奥へ行き電話する→接触の中断 ①-042：相手に向かって歩く→接触の再開 ②-051：頭を下げる中に入る→接触の開始 ②-052：先に立って部屋に入る→案内する ②-066：立って去る→接触の中断 ③-092：相手に近づく→申し出 [ユニット 3] **seg.13** ①-001：ドアを開け突然入ってくる→親しみ ①-003：相手の向いに座り腕を組んでテーブルにつく→会話の開始 ①-017：立って出ていく→接触の終了 ③-048：相手を見ながら近づき隣に座る→興味 **seg.15** ②-056：聞き手をそっちのけにして立ち上がり別の人物に近づく→接触相手の変更 **seg.16** ②-024：相手の席に近づく→接触の開始 ②-029：後へ下がって相手を通し後から続く→敬意 ②-030：向かいあって座る→会話の開始 **seg.17** ②-032：カウンターの前に座り物を見せる→接触の開始 ②-038：相手を見て隣に座る→相談 ②-068：物を片付けカウンターから出る→会話の終了 [ユニット 4] **seg.19** ①-002：振り向き足を止める→気づく ①-004：軽く会釈し去る→別れ ②-023：去る→接触の中断 ③-030：立って去る→接触の中断 ③-038：戻ってきて座る→接触の再開 ③-041：戻ってきて座る→接触の再開 **seg.20** ②-003：近寄る→接触の開始 **seg.21** ①-002：ゆっくり顔を上げカウンターに近づき用紙を出す→接触の開始 ①-004：窓口を離れて自分のデスクに戻る→接触の中断 ①-006：手を止め相手を見てゆっくり立ち窓口に近づく→接触の再開 ①-013：席に戻り資料を見て目を上げず→教える **seg.23** ①-001：近寄ってくる→接触の開始 ①-026：出て行く→接触の終了 ①-026：立ち去る→接触の終了 ②-027：歩いてきて相手のそばに寄りのぞき込む→接触の開始 ③-044：ドアを開け相手を通してから入る→いたわる ③-057：その場を離れる→接触の終了 ④-090：立って部屋を出ていく→接触の終了 **seg.24** ①-001：手を前で組み近づく→接触の開始 ①-016：立ち去る→接触の終了 ②-017：駆け寄る→接触の開始 ③-048：頭を下げる→接触の終了

#### ◆立ち座り

◇立つ [ユニット 1] **seg.01** ①-001：立って話す→改まったあいさつ ①-004：立ち上がる→司会 ①-009：立ち上がる→改まり ①-013：立ち上がる→改まり ①-018：立ち上がる→改まり ①-

021: 立ち上がる→改まり ①-029: 立ち上がる→改まり **seg.02** ①-002: 立ち上がる→敬意 ③-071: 立ち上がる→感謝・敬意 **seg.03** ②-071: 立ち上がる→相手の存在を認める **seg.06** ①-001: 立ち上がる→接触の開始 ①-012: 立ち上がる→接触の再開 ②-026: 立ち上がる→敬意 ②-070: 立ち上がる→接触の終了 ②-070: 立ち上がる→接触の終了 [ユニット 2] **seg.09** ③-107: 立ち上がり頭を下げる→敬意 **seg.10** ①-012: 立ち上がる→接触の開始 ①-045: 立ち上がる→接触の終了 ②-049: 手のひらでいすを指し立ち上がる→接触の開始 ②-078: テーブルの物を取りながら立ち上がる→接触の終了 ②-079: 立ち上がり封筒を抱える→接触の終了 **seg.12** ②-053: 膝で立つ→相手を迎える [ユニット 4] **seg.19** ②-018: 立ち上がる→接触の中断 **seg.24** ④-049: 立って話す→あらたまり

◇すわる [ユニット 1] **seg.01** ①-012: 座る→話を終える ①-017: 座る→話を終える ①-020: 座る→話を終える **seg.06** ①-008: 座る→接触の中断 [ユニット 2] **seg.12** ②-052: テーブルの前に座る→会話を始める ②-058: バッグを横に置き座る→会話を始める [ユニット 3] **seg.13** ②-024: ソファに座りバッグを横の床に置く→会話の開始 **seg.16** ①-001: あぐらをかいて座る→親しみ [ユニット 4] **seg.21** ②-060: 座る→話題の転換

◆全身・上半身 [ユニット 1] **seg.01** ①-003: 前に傾ける→相手に働きかける **seg.03** ②-015: 振り向く ②-051: 背筋を伸ばす→興味を示す ②-051: ひじを張り乗り出す→興味を示す ②-054: 相手の方へかがみ込む→立ち入ったことを話す **seg.04** ②-013: 向きなおる **seg.05** ②-024: ふり返る→方向を示す ③-031: ワキの相手を振り返る→共感を求める **seg.06** ①-014: ふり返る ①-020: ふり返る ①-024: ふり返る ②-044: ふり返る→物を求める [ユニット 2] **seg.07** ④-079: 相手の方へやや前かがみになる→よく言い聞かせる **seg.09** ①-010: 両手をひざに置き上体を起こす→深刻な事態の意識 ①-024: ワキの相手にふり返る **seg.10** ①-022: 話し手をふり返り原稿を見て聞き手を見る→話し手に同意 ②-061: ワキの相手を振り向く→物を要求 **seg.11** ①-006: やや乗り出す→頼む ①-013: ふり返る ②-053: 上体をやや乗り出す→頼む ②-054: 両手を膝に置きながら相手の方へ上体を乗り出し見る ②-060: 相手の方へ乗り出す→答える ②-063: 顔を上げ振り向き大声で→遠くに呼び掛ける **seg.12** ①-021: 上半身をやや乗り出す→誘い ①-022: やや乗り出す→興味を示す ①-028: やや不審そうな顔 ①-028: やや乗り出す→思い出させる ①-033: やや乗り出す→提案 ②-059: 相手の方へ乗り出す→勧め ②-063: 乗り出す→勧め ③-092: 一人の相手に振り向いてからもう一人を見る [ユニット 3] **seg.13** ③-049: 少し乗り出す→否定 ③-051: 体を引く→軽い嫌悪 **seg.14** ③-062: 乗り出す→興味 ③-064: やや乗り出す→勧める **seg.15** ①-012: やや乗り出す→発言許可を求める **seg.16** ②-058: 背筋を伸ばし手をひざに置く→あらたまり **seg.17** ①-029: 相手を振り返る→尋ねる ③-070: 相手の方を振り向く→話しかける ④-078: 相手を振り向く→話しかける **seg.18** ①-032: 相手の方へ向き直る→驚く ②-051: 体を引く→驚く ②-064: 体を引く→抗議 [ユニット 4] **seg.19** ②-010: 汗を拭きながら振り返る ②-013: やや乗り出す→尋ねる ②-014: 乗り出す→相手を訂正する ②-017: 少し反り返る→受け入れ ③-039: 振り向く→問い返す ③-048: 少し体を引く→拒絶 ③-054: 思い出して乗り出す ③-056: 少し乗り出す→尋ねる **seg.20** ②-008: 少しかがみ込む ③-050: 少し体を起こす→納得 ③-051: やや前に乗り出す→譲歩 ③-063: 少しムキになり背すじをのばす **seg.21** ①-001: 窓口にかがみこむ→接触の開始 ①-014: 乗り出す→尋ねる **seg.22** ①-020: 振り返り対象を指さす→対象を示す **seg.23** ①-001: 振り返る→気づく ①-021: 振り返って一同を見る→意見を求める **seg.24** ①-010: 体のある方向に向ける→案内する ①-014: 体を前に傾ける→説得 ②-018: 上体を相手に近づける→からかう

## ◆頭部

◇頭を下げる (深く下げる, 軽く会釈する, うなづく等を含む) [ユニット 1] **seg.01** ①-002→話を承る ①-004: 会釈→謝意 ①-008: うなづく→承知 ①-009: 目礼→改まり ①-009: 会釈→かしこまり ①-012: 深く→話を終える ①-017→話を終える ①-020→話を終える ①-021→かしこまり ①-027: 会釈→頼む ①-028: うなづく→承諾 ①-029→かしこまり **seg.02** ①-001: 会釈→あいさつ ①-002→感謝 ①-003→感謝を受ける ①-009→感謝 ①-009→あいさつ ①-010: 会釈→あいさつ ①-019: うなづく→肯定 ①-034: うなづく→賛意 ①-035→感謝 ①-036: うなづく→あいづち ①-038: うなづく→承諾 ①-039: うなづく→あいづち ①-040: うなづく→あいづち ①-045→感謝 ③-071→感謝 ③-077: うなづく→肯定 ③-085: 会釈→感謝 ③-086: 会釈→辞去 ③-088→感謝・辞去 ③-088→別れ ③-089→別れ ③-090→別れ **seg.03** ①-002: うなづく→あいづち ①-003: うなづく→賛意 ①-008: うなづく→肯定 ①-009: うなづく→同意 ②-018: うなづく→肯定 ②-027→あいさつ ②-029→あいさつ ②-031: うなづく→共感 ②-031: うなづく→肯定 ②-036: うなづく→肯定 ②-043: うなづく→理解 ②-057: うなづく→肯定 ②-060: うなづく→理解 ②-065: うなづく→うながす ②-072→別れ ②-073: 会釈→別れ **seg.04** ②-019: うなづく→承知 **seg.05** ①-002: うなづく→理解 ①-020: うなづく→共感 ②-021: 会釈→話しかける ②-025→感謝 ②-025: 会釈→うながす ③-026: 会釈→話しかける



③-032: うなずく→理解 ③-033: うなずく→あいづち ③-037: うなずく→肯定 ④-053: うなずく→理解 **seg.06** ①-001→接触の開始 ①-002→接触の開始 ①-013→感謝 ①-016: 会釈→感謝 ①-016→接触の終了 ①-019→接触の開始 ①-020: 会釈→気づく ①-022: 会釈→感謝 ①-024: 会釈→接触の終了 ②-025: 会釈→接触の開始 ②-037: うなずく→肯定 ②-037: うなずく→あいづち ②-041: うなずく→理解 ②-043: うなずく→理解 ②-053: うなずく→理解 ②-055: うなずく→理解 ②-065→感謝 ②-071→辞去 ②-072: 会釈→別れ ②-076→別れ ②-077→別れ ③-041→感謝 ①-024: 目礼→接触の終了 [ユニット 2] **seg.07** ②-024: 帽子のひさしに手をやり会釈→あいさつ ②-026: 会釈→頼む ②-029: うなずく→肯定 ②-033: うなずく→承諾 ②-035: 会釈→感謝 ②-038→別れ ④-058: うなずく→肯定 ④-061: うなずく→肯定 ④-063: うなずく→理解 ④-064→感謝 ④-069: うなずく→了解 ④-071: うなずく→了解 ④-084: うなずく→満足 ⑤-097: うなずいて受話器を置く→談話の終了 **seg.08** ①-005→接触の開始 ②-012: 近づいて→接触の開始 ②-017: うなずく→承諾 ②-021: うなずく→同意 ②-023: うなずく→承諾 ②-026: 大きくうなずく→理解 ②-031: うなずく→理解 ②-039: うなずく→理解 ②-044: うなずく→承諾 ②-051: 会釈→接触の中断 ②-056: 離れる前に→接触の中断 ②-060: 深く→接触の終了 ④-092: うなずく→承諾 ④-108: うなずく→確認 **seg.09** ①-010: 相手を見てうなずく→理解 ①-030: うなずく→賛意 ①-034: うなずく→承諾 ①-040: うなずく→承諾 ①-046: うなずく→賛意 ①-048: うなずく→承諾 ①-050: うなずく→肯定 ①-052: うなずく→承知 ②-070: うなずく→了解 ②-077: 会釈→感謝 ②-082→別れ ②-099: 会釈→別れ ③-104: 会釈→あいさつ ③-106: 会釈→了解 ③-119: うなずく→了解 ③-123: うなずく→了解 ③-123: うなずく→了解 **seg.10** ①-004: ドアのところであいさつ ①-007: 深く→わびる ①-010: →あいさつ ①-014: 会釈しすわる→敬意 ①-034: →感謝 ①-038: うなずく→承知 ①-040: うなずく→承知 ①-044: うなずく→了承 ①-044: 会釈→承知 ①-047: 深く→別れ ②-056: →あいさつ ②-069: うなずく→了解 ②-072: うなずく→理解 ②-072: →頼む **seg.11** ①-007: うなずく→了解 ①-023: うなずく→理解 ①-026: 軽く→食事の開始 ②-047: 軽くうなずく→了承 ②-048: うなずく→了解 ②-057: うなずく→了解 **seg.12** ①-029: うなずく→納得 ①-042: うなずく→了承 ②-046: 軽く→あいさつ ②-049: →感謝 ②-065: うなずく→受け入れ ②-069: 小さくうなずく→納得 ②-073: うなずく→納得 [ユニット 3] **seg.13** ②-019: →あいさつ ③-056: 小さくうなずく→同意 **seg.14** ①-002: 軽く→感謝 ①-007: 感心した風にうなずく ①-009: 会釈→感謝 ①-019: うなずく→肯定 ④-074: →感謝 ④-088: 電話に→会話の終了 ④-089: うなずく→承知 ④-091: 電話に→別れ ④-092: おどけて→感謝 **seg.15** ①-002: うなずく→肯定 ①-004: うなずく→同意 ①-010: うなずく→賛成 ①-029: →承服 ①-034: うなずく→承知 ①-040: →ねぎらい ②-059: うなずき対象を見る→納得 **seg.16** ①-012: うなずく→賛成 ②-036: →感謝 ②-042: うなずく→肯定 **seg.17** ①-003: うなずく→同意 ①-019: うなずく→同意 ①-021: うなずく→同意 ①-030: うなずく→肯定 ②-068: うなずく→同意 **seg.18** ①-005: うなずく→肯定 ①-018: うなずく→肯定 ①-030: うなずく→理解 ②-072: うなずく→肯定 ③-084: →祝う ③-084: →話し終わる [ユニット 4] **seg.19** ③-037: ほほえんでうなずく→同意 ③-040: うなずく→納得 **seg.20** ①-001: 互いに会釈→あいさつ ②-030: うなずく→了解 ③-031: 話し手をちらっと見てうなずく→同意 ③-047: うなずく→賛成 ③-048: うなずく→賛成 ③-059: 大きくうなずく→同感 ③-065: 笑いがあらうなずく→賛成 ③-069: うなずく→了解 ③-082: 大きくうなずく→賛成 **seg.21** ②-030: ほほえんでうなずく→賛成 ②-045: うなずく→納得 ②-070: →頼む ①-021: 対象を見ながらうなずく→同意 **seg.22** ②-064: 軽く→感謝 ②-067: ためらいがちにうなずく→心配 ②-071: →任せる ②-071: うなずく→承知 ②-072: うなずく→同意 ②-078: 顔を見合わせてからうなずく→肯定 ②-079: 座ったまま両ひじを横に張って頭を深く下げる→話題の終了 **seg.23** ①-018: うなずく→同意 ②-032: うなずく→賛成 ③-048: うなずく→肯定 ③-057: →了解 ④-089: →感謝 ④-090: うなずく→受け入れ **seg.24** ①-001: 互いに丁寧に→あいさつ ①-002: →感謝 ①-016: 互いに相手の体の横に頭を下げすれ違う→接触の終了 ②-031: →感謝 ③-048: 頭を下げ見送り物を片付ける→接触の終了 ④-053: →感謝 ④-066: うなずく→納得 ④-069: 相手を見てうなずく→同意

◇その他、頭部全体(首をかしげる等) [ユニット 1] **seg.03** ①-009: 首をかしげる→感慨 **seg.05** ①-016: 首をかしげる→困惑 ②-023: 首をかしげる→わからない [ユニット 2] **seg.09** ②-090: 首をかしげる→考える **seg.10** ①-026: 頭を後ろへそらし気味にする→拒絶 **seg.11** ①-022: ワキの人物を顔で指す→言及 ①-023: 首を斜めに振る→抗議 ③-075: 水飲み場を顔で指す→発言の補足 **seg.12** ①-031: 顔で横の方を指す→発言の補足 ②-062: 首をかしげる→遠慮 [ユニット 3] **seg.13** ③-039: 相手を見て首をかしげる→心配 **seg.14** ②-051: 首をかしげる→否定 **seg.15** ①-015: 首をかしげながら→わびる ①-023: 顔でワキの人物を指す→発言の補足 ②-041: 首をかしげため息をつく→不満足 ②-048: 首をかしげて少し考える **seg.16** ①-013: 話題の人物を顔で指す→発言の補足 ②-029: 顔で指す→場所を示す ②-056: 首を左右に振る→感嘆 [ユニット 4] **seg.19** ②-022: 顔を左右に振る→感慨 ③-034: 首を少しかしげる→考える **seg.20** ②-013: 首を軽く横に振る→否定 ③-061: 肩をすくめて笑う→おかしい **seg.21** ②-059: 首をすくめる→恐縮 ②-073: 首をすくめ見回す→恐縮 **seg.22** ①-037: 首をかしげ顔をしかめる→不承知 **seg.23** ③

-046:首を横に振る→わからない seg.24 ③-042:首をかしげ別の物を見る→拒絶

◆顔の表情 [ユニット 1] seg.03 ②-015:ほほえむ→相手に気づく seg.05 ③-035:けげんな顔→納得がいけない [ユニット 2] seg.07 ④-083:笑顔になる→安心 seg.11 ②-056:ほほえんで何度かうなずく→賛成 seg.12 ①-025:顔を上げてほほえむ→満足 ①-031:感心した風に笑顔でうなずく→驚き [ユニット 3] seg.13 ①-006:目をそらし相手を見て苦笑する ①-007:にやりと笑いながらあぐらをかく→楽しみ ①-010:下を見て感じ入った風 ②-031:ほほえむ→勧め ②-036:笑顔→勧め ③-070:にっこりする→話題の終了 seg.14 ②-043:けげんな顔でやや考える→わからない ②-050:少しがっかりする ②-051:理解しかねた表情 ③-069:相手を見て笑う→からかう ④-071:言にくそうに→心苦しい ④-074:壁によりかかり話し手を見ていたずらっぽく笑う ④-079:肩をすくめて笑う ④-082:ちょっと困った様子でワキの相手をちらっと見る ④-086:ほっとして seg.15 ①-004:渋い顔 ①-018:相手を見てまゆをつり上げる→不審 ①-027:口を結んで書類をめくる→不機嫌 ②-045:口をへの字に結ぶ→不満足 ②-055:にっこりする→満足 ②-064:ぎくっとする seg.16 ①-020:口をとがらせうなずく→了承 ②-059:口をとがらし不満の表情→心配 ②-060:にっこりしてうなずく→満足 ②-068:笑う→了承 ②-069:真顔になる→承諾 ②-070:笑顔になり頭を下げる→感謝 seg.17 ②-035:がっかりする seg.18 ②-070:笑う→おかしい [ユニット 4] seg.19 ②-006:笑い返す ②-008:笑う→おかしい ②-018:笑う→おかしい ②-023:見送りながら笑う→おかしい ③-051:ため息をついて脇を見る→不賛成 ③-063:気の進まない顔で前の方を見る ③-067:ちらっと相手を見てため息をつく→不満 seg.20 ③-034:一同の様子を見まわし苦笑しながら相手に→尋ねる ③-037:安心した表情→思い出す ③-052:急に思い出し笑顔で ③-072:勢いこんで目を細め首を前にのぼす→興味 seg.21 ①-004:むっとする ②-056:うれしそうににっこりする→賛成 ②-059:白い目で相手を見る→非難 ②-064:にこにこする→うれしい ②-065:にっこりして一同に→賛成 ②-073:冷たい目で相手を見る→非難 seg.22 ①-013:吹き出す→おかしい ①-013:ことばにつまり相手をにらむ→非難 ①-014:笑いながら→おかしい ①-039:顔をしかめ目を伏せる→拒絶 ①-051:困った表情→断り ②-063:笑ってうなずく→発言の補足 seg.23 ①-017:相手を見て苦笑する→あきれる

◆目 (視線の動き)

◇人を見る, 人から視線を外す [ユニット 1] seg.01 ①-001:相手に注目 ①-010:一同を見回す ①-018:視線が定まらない seg.02 ①-004:ワキの人を見る ①-012:ワキの人を見る ①-013:相手を見る ①-026:視線を落とす ①-028:相手を見る ①-032:ワキの相手を見る ①-032:ワキの人を見る ①-032:目を伏せる ①-033:ワキの相手を見る ①-033:話し手を見る ①-036:ワキの人を見る ①-039:ちょっと脇を見る ①-042:ちょっと脇を見る seg.03 ①-004:宙を見て視線を落とし相手を見る ①-005:視線を落とし相手を見る ①-009:前の方を見る seg.05 ③-030:相手を見る [ユニット 2] seg.07 ②-031:右下の方を見る ④-067:相手の顔をのぞき込む ④-075:相手を見る seg.08 ②-013:腰をかかめて指さし相手を見る ②-015:かがみ込んだまま相手を見上げる ②-021:相手を見る ②-026:やや乗り出して相手を見る ②-029:顔を上げて相手を見る ②-034:ワキの相手を見る ②-038:ワキの相手を見る ④-091:宙を見る ④-094:指を動かしながら宙を見る seg.09 ①-007:ワキの相手を見る ①-018:ワキの相手を見る ①-039:ワキの相手を見る ①-043:ワキの相手を見る ①-049:ワキの相手を見る ②-087:テーブルの上を見る seg.10 ①-011:話し手を見る ①-016:床を見たり相手を見たりする ①-017:じっと相手を見て体の前で切るように手を動かす ①-018:下を見てから相手を見る ①-019:顔を横に向けてから相手を見る ①-021:下を見てから相手を見る ①-033:話し手を見る ①-034:連れと顔を見合わせる ②-062:原稿を見てから相手を見る ②-063:連れと顔を見合わせる ②-079:見送る seg.11 ①-016:相手を見て軽くうなずく ③-081:横を向く seg.12 ①-025:ほほえんで視線を落とし相手を見る ②-068:斜め上の方を見てから相手を見る ②-076:相手と顔を見合わせる [ユニット 3] seg.13 ①-002:目を上げない→親しみ ①-004:目を上げる→驚き ②-019:相手を見る→気づく ②-027:ワキの相手を見ながら物を膝に置く→説明の要求 ②-033:言にくそうに一同の顔をちらちら見る→拒絶 ②-038:相手をちらっと見てうなずく→不服 ③-044:目をそらしてから相手を見る→打ち明ける ③-063:視線を落とす→考える ③-067:目を伏せる→心配 seg.14 ①-002:話題の人物と互いに見合う ①-003:話し手に顔を寄せてささやき聞き手をちらっと見る→気兼ね ①-005:相手にほほえむ→ほめる ①-006:話し手と聞き手をちらっと見て目を伏せる→はじらう ①-008:相手をのぞき込む ①-011:下を向いて言いよどむ→思い出す ②-025:相手をのぞき込む→話しかける ②-026:相手をちらっと見て目をそらす→当惑 ②-032:前を見たまま答える→緊張 ②-035:相手をちらっと見る→緊張 ②-039:相手をちらっと見る→緊張 ②-047:宙を見る→想像する ③-053:目を上げず物を書きながら ③-058:相手を見る→訴える ③-063:目を上げる→意志を伝える ③-070:にらむ→怒る ④-092:にらむ→怒る seg.15 ①-003:視線をそらし相手を見る→遠慮 ①-009:聞き手と話題の人物を見比べる ①-027:目を伏せ言いよどむ→遠慮 ①-028:テーブルの上で指を組み一同を見回す→裁定 ①-032:

視線を外し相手を見る→考える ①-035：一同を見渡す→尋ねる ②-042：宙を見る→困惑 ②-043：目を上げ隣の話し手を見る ②-049：前の方を見て考える ②-056：手を止め相手を見上げ物を受け取る→接触の開始 ②-066：相手をのぞき込む ②-067：相手を見て目をそらす→ごまかす  
**seg.16** ①-009：話し手から聞き手を見る→賛成 ①-010：目を伏せる→打ち明ける ①-014：目を伏せて上げる→考える ①-021：目を伏せて考える ①-024：目を伏せてから相手を見る ②-046：目をふせる→はじらう ②-057：照れて下を向く ②-065：下を向いて考える **seg.17** ①-013：一人を見てもう一人を見る→意見を求める ①-017：少し下を向いて考える ②-038：ワキの相手を見る→尋ねる ②-042：連れと顔を見合わせる→相談 ②-049：ひとり言→不満 ③-075：互いを見る→相談 ④-083：視線を落とし少し考える ④-089：少し目を伏せてから→拒絶 ④-091：目を合わせず出て行きながら気がなさそうに→拒絶 **seg.18** ①-002：相手をちらっと見る ①-009：相手を見る→驚く ①-017：相手を見る→意外 ①-024：相手を見る→尋ねる ①-042：横目で相手を見て笑う→受け入れ ②-060：下を向く→拒絶 ②-064：ちょっと下を向く→心配 ②-071：ちょっと下を見る→相手を訂正する [ユニット 4] **seg.19** ②-005：背を反らし人の背中越しに ③-032：宙を見てから目を伏せる→考える ③-033：相手を見る→意見を求める ③-036：考え込む ③-036：顔を上げる→思い付く ③-046：前を見てまた相手に ③-050：ワキの相手の方に向く ③-051：前の方を見て考えながら ③-062：一同を見回す→提案 ③-063：互いに顔を見合わせやや乗り出す→乗り気 ③-066：一同を見回す→提案 **seg.20** ②-015：ちょっと横を見る→思い出す ②-016：相手を見る→尋ねる ②-028：ちょっと脇を見て考える ③-031：一同を見回す→提案 ③-032：一度視線を落とし相手の方にかがみ込む→説得 ③-055：一同を見回し首を振りながら→訴える ③-066：一同を見回す→結論 ③-079：一同を見る→提案 ③-079：相手を見る→尋ねる  
**seg.21** ①-012：じっとにらんでとがった口調→不愉快 ①-017：相手を見る→答える ①-019：相手を見るにらみつける→答える ①-020：ひとりごと ②-050：一同を見回す→説明 ②-056：対象を見て手で指しワキの相手を見る→賛成 ②-059：一同を見回す→喜ぶ ②-061：一同を見回す→提案 ②-071：一同を見回す→提案 ②-072：一同を見回す→考える ②-072：相手を見る→候補として提案する **seg.22** ①-009：相手を見る→意見を求める ①-013：下を向く→笑いをこらえる ①-020：一同を見回す→結論 ①-030：一同を見回す→提案 ①-031：目を伏せ考えながら不満げな口調→不賛成 ①-036：あわてて相手を見る→驚く ①-042：ワキの相手を見る→同意を求める ①-046：下を向いて考える ①-046：一同を見回す→提案 ②-069：ワキの相手を見る→同意を求める ②-069：相手を見返す→問い返す ②-072：相手を見る→確認 ②-074：ちょっと脇を見る→思い出す ②-075：あわてて話し手を見て→訂正 **seg.23** ①-006：相手を見る→問い返す ①-010：一同を見回しワキの相手に→提案 ①-019：一同を見回しワキの相手に→提案 ②-030：ワキの相手を見る→肯定 ②-033：脇を見て考える ③-044：窓口をのぞき込む→接触の開始 ③-044：顔を上げる→気づく ③-046：連れの顔を見る→わからない ③-049：連れを振り返る→尋ねる ③-051：相手を見る→確認 ④-071：相手を見る→尋ねる ④-081：カルテに記入しながら時々相手を見る→指示 ④-086：少し宙を見てから相手を見る→考える **seg.24** ①-005：目を伏せる→謙遜 ①-016：相手を見送って去る→敬意 ③-043：相手を見る→勧め ④-054：一同を見る→発言を求める ④-068：相手の方を見る→同意を求める

◇物などを見る [ユニット 1] **seg.02** ①-009：受け取った名刺を見る ②-061：相手の手帳をのぞき込む **seg.05** ①-015：相手の地図をのぞき込む ③-028：相手の持ちものを見る ③-029：自分の持ちものを見る ①-017：あたりを見回す [ユニット 2] **seg.07** ②-036：後ろをふり返る ④-071：用紙を見る ④-074：用紙をめぐって見てから相手を見る ④-076：用紙を見て相手を見る ④-078：用紙を見て相手を見る ④-081：用紙に目を落とし相手を見る **seg.08** ①-008：相手の指した方を振り返る ②-014：相手の指したものをのぞき込む ②-020：対象をのぞき込む ②-025：のぞき込む ②-027：複数の対象を見回す ②-031：のぞき込む ②-036：相手と物を交互に見る **seg.09** ①-006：のぞき込む ①-006：対象を見る ①-012：対象をのぞき込む ①-013：対象を見る ①-017：対象をのぞき込む ①-022：対象を見る ①-022：対象を見る ①-031：のぞき込む ①-054：物にちょっと目をやる ②-061：物を見る ②-084：手帳を見る ②-089：手帳を見る **seg.10** ①-012：名刺を受け取って見る ①-024：目を細め原稿を遠くから見る ①-029：対象をのぞき込む ①-031：目を細めて対象を見る ①-033：体を乗り出し対象をのぞき込む ②-065：物を受け取って見る ②-065：対象をのぞき込む ②-067：対象をのぞき込む **seg.11** ②-050：相手を見て手もとの物を見る ②-059：相手の手もとの物を見る ②-064：指された方向を見る ③-083：相手を見てから時計を見る **seg.12** ①-011：対象を見る ①-013：相手の手もとを見る ①-019：腕時計を見てから相手を見る [ユニット 3] **seg.13** ①-016：相手を見てから手元の物を見て怒った口調→抗議 ②-030：目を伏せ対象を開けて見ないままテーブルに置く→拒絶 ②-038：一同と対象とをちらちら見る→ためらい **seg.15** ①-003：手元を見る→強調 ①-010：目で対象を指す→発言の補足 ①-011：目で対象を指す→発言の補足 ①-016：対象を見て相手を見る→発言の補足 ②-065：物に見入る→感心 **seg.16** ②-027：眼鏡をとり周りを見る→話の場を考える ②-055：視線を左右に動かす→発言の補足 **seg.17** ①-010：カレンダーを見る→発言の補足 ①-014：手元のカレンダーを見る ①-015：乗り出して端末の画面をのぞき込む ①-028：振り返り相手が記入した用紙を見る ②-040：対象をのぞき込む ②-063：相手の前の物を見る→考える ③-073：上目づかい

に外を見上げる→発言の補足 ④-087: 見回す→発言の補足 **seg.18** ②-075: ちょっと見回す→考える [ユニット 4] **seg.19** ③-024: テレビを見ながら→言及 ③-024: テレビを見る→注目 **seg.20** ②-005: 周りを見回す→注文 **seg.21** ①-015: 資料を見て目を上げず→教える ②-026: 対象を見回す→賛成 ②-030: 相手を見てから対象を見る ②-032: 対象を見る ②-035: 対象に目を落とす ②-036: 対象を見ながら相手に ②-052: 対象を見て考える **seg.22** ①-010: 対象をのぞき込み相手を見る→意見を述べる ①-013: 対象を見回しながら→嫌悪 ①-020: 手元を見る→対象を示す ②-068: テーブルの書類をのぞき込む→考える **seg.23** ②-033: 時計を見る→考える ④-061: カルテを見て相手に→尋ねる ④-063: 物を顔で指す→指示 ④-080: 腕時計を見て診察室の方を見る→待ちどおしい **seg.24** ①-003: ちょっと見回す→言及 ①-006: 顔で脇を指す→対象を示す ②-028: 客が持っている品物の値札を見る ③-032: 物を持ってあたりを見回している→接触を求める ③-033: 対象をのぞき込む ③-039: 対象を見る→感慨 ③-043: 対象をのぞきこむ→検討

◆飲食: 口の動作のうち、飲食を行うもの [ユニット 1] **seg.01** ①-031: 乾杯する [ユニット 3] **seg.18** ①-001: グラスを置き枝豆を食べながら相手をちらっと見る→尋ねる ①-027: はしを置き酒を一口飲む→気をもたせる ①-039: 酒を飲む→主張の強さ ①-040: 正面を向きひじをついて酒を飲む→すねる ③-080: 乾杯

## ◆上肢

◇腕 [ユニット 1] **seg.02** ①-001: 手をテーブルの下に→かしこまり **seg.03** ②-075: 手をあげる→別れ ②-076: 手をあげる→別れ **seg.04** ②-013: 手を机の上で相手の方へのばす→話しかける **seg.05** ③-026: 敬礼する→あいさつ ④-050: 手を上げて合図→止める [ユニット 2] **seg.08** ④-107: 軽く手を上げる→接触の終了 **seg.09** ①-010: ひじをつき手をほおに当てる→考える ①-015: テーブルの上で腕を組む→否定的な態度 ①-020: 手を首の後ろにやってからほおづえをつく→考えに窮する ①-026: 両ひじをテーブルに寄せ手を前に出す→否定的な態度 ③-105: 手を軽くあげる→あいさつ ③-111: 両手を腰に当てる→困惑 ③-120: テーブルの上で腕を組む→話しかける **seg.10** ②-058: 両腕を伸ばしてテーブルに突く→話を聞く [ユニット 3] **seg.13** ③-052: 机にひじを突いて手にあごを寄せ前の方を見る→悩む ③-058: 宙を見てから両ひじを突き手にあごを寄せ前の方を見る→考える **seg.14** ③-067: 両手を首の後ろに回し頭を抱え込む→困惑 [ユニット 4] **seg.20** ③-041: 腕を組んだまま心配そうな口調→不賛成 **seg.23** ③-050: 窓口に両腕をかける **seg.24** ④-058: 腕を組み薄笑いを浮かべている→不賛成

◇両手 [ユニット 1] **seg.01** ①-004: 体の前で握る→かしこまり ①-009: 体の前で握る→かしこまり ①-013: 体の前で握る→かしこまり ①-021: 体の前で握る→かしこまり ①-031: 拍手 **seg.02** ①-001: 指を組む ①-013: 膝の上で組む ①-015: ひざの上に置く→かしこまり ③-081: ひざで指を組む→手みやげの辞退 **seg.03** ①-010: 膝に置く→改まり **seg.04** ②-014: 指を机の上で組む→かしこまり [ユニット 2] **seg.08** ④-074: 手を打つ→接触の開始 **seg.09** ①-004: 手を組んでテーブルに置く→親密な態度 ①-053: テーブルの上で指を組む→折り入った話 **seg.12** ①-030: 両手をそろえてテーブルの上に伸ばす→話を聞かせる ②-061: 両手をひざで重ねる→遠慮 ②-067: 手をテーブルの上で組む→話しかける ②-070: 物を置き手をひざの上で重ねる→かしこまり [ユニット 3] **seg.14** ③-055: 相手の向いに座り両手をテーブルの上で組む→尋ねる ③-058: 手振りで強調する→訴える ③-066: 鉛筆を置き指を組む→意志を明らかにする **seg.15** ①-003: ワキの聞き手を見て手振りで強調する ①-037: ひざに手を置く→あらたまり **seg.16** ①-017: 両手を持ちあげて強調する ②-031: 両手の指を組んでテーブルの端に置く→折り入った話 [ユニット 4] **seg.20** ③-083: 手をたたく→賛成 **seg.21** ②-042: テーブルに両手をついて中腰のまま→尋ねる **seg.22** ②-055: 固くなってきちんと腰かけ両手をひざにそろえる→かしこまり ②-055: ひざのバッグの上に両手を重ねる→あらたまり **seg.23** ①-012: 対象の前で両手を横に動かす→発言の補足 ④-077: 胸の前で両手のひらを向き合わせる→発言の補足 **seg.24** ④-061: 左右を見ながらやや乗り出して手を机の上で組む→主張 ④-065: 両手のひらで物をそっと持つようなしぐさ→強調 ④-065: 左手のひらを立て右手の甲をそれに近づけたり離したりする→発言の補足

◇掌部・指 [ユニット 1] **seg.01** ①-006: 手で指す→指名する **seg.02** ①-001: ノック→部屋に入る ①-004: 人を手で指す→対象を示す ①-011: 手でいすを指す→座るよう勧める **seg.03** ②-023: 手でいすを指す→座るよう勧める ②-026: 手で人を指す→対象を示す ②-050: 話しながら手のひらを動かす→話の区切りを示す ②-062: 酒を飲む手振り **seg.05** ①-001: 手で指す→方向を示す ①-005: 手で押さえるような合図→その場で待たせる ①-006: 手で指す→方向を示す ①-012: 手で指す→対象を示す ②-024: 指さす→対象を示す ③-032: 手で指す→対象を示す ③-033: 持ったものを見せて指す→発言の補足 ③-038: 相手が持ったものを指す→対象を示す ④-044: 手で指す→方向を示す ④-046: 手で指す→対象を示す ④-049: 手で指す→方向を示す ④-051: 手で指す→対象を示す **seg.06** ①-013: 手で指す→方向を示す ①-014: いすを指す→座るよう勧める ②-033: いすを指す→座るよう勧める [ユニット 2] **seg.07** ②-036: 手で指す→その

場所に用がある ④-067：用紙の各欄を指さす→対象を示す ④-069：指さす→対象を示す **seg.08**  
 ①-004：手のひらで相手の腕を押さえる→注意を引く ①-005：カウンターに手をかける→接触の  
 開始 ①-008：手のひらを上にして相手の後方を指す→方向を示す ①-008：手のひらで自分の後  
 方を指す→方向を示す ②-022：指さす→対象を示す ②-035：指さす→対象を示す ④-077：手  
 で指す→対象を示す **seg.09** ①-001：手のひらでいすを指す→座るよう勧める ①-011：やや乗り出  
 し対象を指す→提案 ①-016：指さす→対象を示す ①-016：手をあごの下に当てる→確信がない  
 ①-022：対象を指しながら相手を見る→指示を与える ①-031：指さす→対象を示す ②-061：指  
 さす→対象を示す ②-063：対象を指さす→発言の補足 ②-074：自分の隣を指さす→座るよう勧  
 める ③-112：いすを指す→座るよう勧める ③-118：ひじを突き手でテーブルを軽くたたく→困  
 惑 **seg.10** ①-001：封筒を持った手で名札を指す→目的地を示す ①-003：ノック→部屋に入る ①  
 -005：ソファを指す→座るよう勧める ①-013：手でいすを指す→座るよう勧める ①-028：原稿  
 を手で指す→対象を示す ①-035：原稿を指す→発言の補足 ①-038：手で壁の方を指す→発言の  
 補足 ②-048：ノック→部屋に入る ②-057：手でいすを指す→座るよう勧める ②-066：資料を  
 相手の方に向けて置き指す→尋ねる **seg.11** ②-034：ふりむいて後ろを指す→指示 ②-035：手のひ  
 らで指す→発言の補足 ②-039：手のひらを物を押さえるように置く→発言の補足 ②-043：手の  
 ひらで指しうんざりした口調→指示 ③-084：手を下に振って合図→降りるよう指示 ③-085：相  
 手の後ろから手を回し肩をたたく→親しみ ③-088：相手の肩に後ろから手をかける→親しみ **seg.**  
**12** ②-078：手でいすを指す→座るよう勧める ②-085：物を手で指す→勧め [ユニット 3] **seg.**  
**13** ③-054：手をデスクに置く→訴える ③-066：手をおろしてデスクに置く→興味 **seg.14** ①-018：  
 手で後ろを指す→方向を示す **seg.15** ①-006：手をあげる→発言許可の要求 ①-014：指で対象を指  
 す→発言の補足 **seg.17** ②-040：雑誌を指す→発言の補足 ②-060：物を指す→発言の補足 ③-  
 072：手をほおに当てる→困惑 **seg.18** ①-031：相手を指さす→指示 ①-033：指を振って強調する  
 ①-041：笑いながら相手の肩をたたく→譲歩 ②-074：相手の腕を軽くたたき口に手を当てて笑う  
 →照れる [ユニット 4] **seg.19** ②-012：物を持った手で相手を指す→勧める ②-014：手を振っ  
 て強調する ②-022：手を振って話題の人物を指す→言及する ③-028：手がかつぐしぐさ→発言  
 の補足 ③-031：手を振ってことばを切る→強調 ③-040：手を振る→強調 ③-046：手を振って  
 強調する ③-051：手を軽く振る→強調 **seg.20** ②-017：手を小さく振りながら→強調 ②-026：相  
 手を指でさす→肯定 ③-044：手をあげる→発言の許可を求める ③-076：相手をたたくように手  
 を振る→思い出させる **seg.21** ①-004：相手をささぎって手で横の方を指す→指示 ①-005：窓口にか  
 がみ込んで用紙を指す→接触の再開 ②-020：物を指す→説明 ②-027：対象を指す→言及 ②-  
 029：対象を手で指す→言及 ②-036：対象を指す→説明 ②-040：ひざを立てて乗り出し対象を  
 指す→尋ねる ②-041：対象を指す→説明 ②-061：字を書く手ぶり→発言の補足 ②-063：手を  
 横に振りいかにもうれしそうに→謙遜 ②-068：手を前に出しておさえる手振り→了承 **seg.22** ①-  
 045：顔をしかめ手で制しながら→なだめる ②-067：手で相手と自分を交互に指す→発言の補足 **seg.**  
**23** ①-002：対象を指す→発言の補足 ①-005：対象を指す→発言の補足 ①-008：近寄り手で押さ  
 えるしぐさ→なだめる ②-029：相手の額に手を当てる→熱を見る ②-034：手を上げて制する→  
 断り ②-043：手でうながすしぐさ ③-056：手で場所を指す→指示 ④-060：手でいすを指す→  
 座るよう勧める ④-073：手で肩から背中を指す→発言の補足 **seg.24** ①-009：手で方向を指す→発  
 言の補足 ①-011：手を横に振る→断る ②-017：手を振る→接触の開始 ②-017：相手をたたく  
 ように手を振る→からかう ②-027：手を軽く上げ去る→接触の終了 ③-033：物を指す→発言の  
 補足 ③-040：相手のひじに手をかけ導き別の物を見せる ④-055：手を高くあげる→発言の許可  
 を求める ④-056：手を忙しく振る→強調 ④-057：手を軽く振る→強調 ④-059：ちょっと手を  
 上げる→発言の許可を求める ④-063：手でおさえるしぐさ→強調 ④-065：手のひらを平に出し  
 てだんだん上げる→発言の補足 ④-065：手のひらで切るようなしぐさ→強調  
 ◇持ちもの・服装など [ユニット 1] **seg.02** ①-001：ネクタイを直す ①-005：胸ポケットから名  
 刺を出し両手でさし出す ①-006：両手で名刺を受け取る ①-007：片手で名刺をさし出す ①-  
 009：両手で名刺を受け取る ①-011：名刺をテーブルに置く ②-060：受話器を手で押さえる ③-  
 082：物を差し出す→勧める ③-087：いすを入れる **seg.03** ②-058：そでを上げ時計を見る→時間  
**seg.05** ③-026：持った物を見せる→発言の補足 ③-027：物を受け取る→接触の開始 ③-034：渡  
 された物を返す→話題の終了 **seg.06** ②-027：名刺を両手でさし出す ②-029：片手で名刺を受け取  
 る ②-029：片手で名刺をさし出す ②-030：名刺を両手でさし出す ②-030：片手で名刺を受け取  
 る ②-031：片手で名刺をさし出す ②-032：両手で名刺を受け取る ②-043：名刺をポケット  
 にしまう→本題に入るよう促す ②-044：物を両手で渡す ②-070：いすを入れる [ユニット 2]  
**seg.07** ②-040：ドアを閉める→接触の終了 ④-065：顔を伏せたまま用紙をさし出す→処理を頼む  
 ④-071：書類をひろげて渡す→処理を頼む ④-073：書類を受け取って見る→点検する **seg.08** ②-  
 018：物に手をかけ相手を見る→対象の確認 ②-019：物を置き手を組んで脇に置く→相手の自由に  
 任せる ②-024：物を取り出し別の物と並べて置く→比較させる ②-031：物を取り出す→見せる  
 ②-045：用紙を出して指す→対象を示す ②-045：ボールペンを渡す→記入するよう要求する ②-  
 047：用紙を渡す→記入の終了 ②-050：物を出して渡す→使わせる ②-053：用紙を前に置く→  
 記入の要求 ②-054：用紙を渡す→処理を頼む ②-058：物を前に置く→渡す ②-059：物を前に

置く→渡す ③-071: バッグを見て軽く叩く→発言の補足 ④-078: 物を持って見せる→発言の補足 ④-096: 物を出して渡す→対象を示す **seg.09** ①-006: 物を出して見せる→話題に入る ①-052: いすを入れる ②-059: 隣のいすを引き上るものを自分のいすに移す→座るよう勧める ②-061: 原稿を相手に近づける→見せる ②-093: 物を持ちあげる→発言の補足 **seg.10** ①-022: 原稿を開いて置き見せる→発言の補足 ①-032: 見本を出し見せる→発言の補足 ②-053: 頭を下げ片手で名刺を渡す ②-054: 名刺を左手で受け取りながら右手で名刺を渡す ②-061: 原稿を相手に見せる→発言の補足 ②-070: 資料を持ち上げる→借用の許可を求める ②-079: いすを入れる **seg.11** ②-033: 物を相手の前に出す→発言の補足 ②-036: 物を相手に渡す→指示 ②-037: 物を受け取る→了解 ②-040: 物を相手に差し出す→要求 ②-061: 物を片付けながら→発言の補足 **seg.12** ①-005: 相手の前に物を置きテーブルの上で指を組む→勧め ①-010: 物を取り上げ見てから相手を見て斜め前のテーブルの上に置く→物を渡す ①-026: 物を相手の前に置く→勧め ②-058: 座ぶとんを脇に置く→勧め ②-066: 相手の前に物を置く→勧め ③-093: 相手に物を渡す→受け入れ [ユニット 3] **seg.13** ①-004: 振り返りステレオのボリュームをしばる→話の場を整える ①-014: 照れて物をいじる ②-026: 物を取って渡す→見せる **seg.14** ①-023: 相手を見て湯のみのふたを閉める→うながす ①-024: つられて湯のみのふたを閉め立ち上がる→承知 ③-060: 物を書きながら→嫌悪 **seg.15** ①-006: 資料を示す→発言の補足 ②-051: 物を渡す→見せる ②-056: 物を相手の脇に置き顔をのぞき込む→見せる ②-069: 相手を見て物を返す→受け入れ **seg.16** ②-072: 手元を見て手帳を閉じる→結論を出す **seg.17** ①-013: カレンダーを手に取る→考える ①-025: 用紙を取り出し相手の前に置く→記入を求める ②-043: ファイルを開き相手の方に向けて置く→見せる ②-052: 手元の物を相手に近づける→見せる **seg.18** ①-035: 箸で相手を指す→説得 [ユニット 4] **seg.19** ②-012: 物を持っていじりながら→くだけ ③-028: 手の中で物をいじる→くだけ **seg.20** ②-006: 棚から物を取る→注文の品を揃える ②-010: 別の物を取り見せる→提案 ②-011: うなずいて物を受け取る→受け入れ ②-015: 物をカウンターに置く→渡す **seg.21** ①-003: 物を受け取って見る→尋ねる ①-010: 相手から物を受け取り見る ②-053: 乗り出して対象に手をのばす→提案 ②-055: 手をテーブルにつき片手で対象を動かす→提案 **seg.22** ①-001: 物を持ち相手に見せる→提案 ①-003: 物を手に取って見て首をかしげる→検討 ①-007: 物を取り見てから渡す→提案 ①-008: 物を受け取る→検討 ①-009: 物を体に当ててみる→検討 ②-077: メモをとる ②-079: ボールペンにキャップをする→話題の終了 **seg.23** ①-013: 見本を取り出す→説明 ①-014: 対象を手に取ってみる→検討 ①-020: 見本を出し対象の前にかざして指す→説明 ①-026: 再び作業を始める→接触の終了 ③-050: 物を出し両手で差し出す→渡す ③-051: 物を受け取り見る→調べる ③-054: 物を渡す→指示 ③-055: 物を受け取る→了解 ④-059: 物を渡す→預ける ④-066: 体温計を取り出し読む ④-066: 受け取ろうと手を出す ④-068: 物を取って見る→調べる ④-068: 相手を見て物をデスクに置きカルテに記入する ④-080: ボールペンを置く→次の動作の開始

◆音調・口調 [ユニット 1] **seg.01** ①-018: 早口で→あがっている [ユニット 2] **seg.07** ④-075: 不安そうな口調→困惑 **seg.08** ④-109: 声を張り上げる→前の接触の終了 **seg.09** ①-008: 対象を見ながら困った口調 ①-054: 困った口調 ③-111: 困った口調 **seg.10** ①-016: 言いにくそうな口調→頼む ①-026: きつい口調→拒絶 ①-034: ほっとした口調 **seg.11** ①-004: 気のない調子→無視 ①-017: きつい口調→叱る ①-023: うんざりした口調→抗議 ②-042: 手を出さず逆らう口調→拒絶 ②-051: 明るい口調→頼む **seg.12** ①-034: うれしそうな調子 [ユニット 3] **seg.13** ②-035: やや厳しく→叱る ③-070: 相手を見てやや明るく→決心 **seg.14** ②-046: 元気づいて ③-068: 物を書きながら投げやりに ④-080: 体を起こし大きな声で→反論 ④-084: 声を落とす→譲歩 **seg.15** ①-020: 大げさに感心する **seg.16** ①-018: 困った調子→反論 **seg.18** ①-034: 大声→反論 ①-038: 早口→興奮 [ユニット 4] **seg.19** ②-006: 少し声をひそめる→はばかり ③-037: 明るい口調→思い付く ③-043: 少し乗り出しいやそうな口調→不満 **seg.20** ②-019: ややためらいがちに笑顔で ②-021: いかにもうれしそう ②-025: 考えながら ②-029: 思い出して ③-035: ことばにつまりワキの相手に助けを求める口調 ③-039: いやそうな口調→不賛成 ③-043: 困った口調→反論 ③-061: ささやく→冗談 ③-069: 気のない様子 ③-080: つぶやく→不審 **seg.21** ①-007: 対象を見てからとがった声→不愉快 ②-022: 気のりのしない口調→不満 ②-048: 不審そうな口調→意外 ②-060: あわてて ②-067: 申し訳なさそう **seg.22** ①-011: 相手を見てうれしうに→喜ぶ ①-038: 不審そう→問い返す ①-040: 突っかかる口調→反論 **seg.23** ①-004: 批判的な口調 ①-009: 批判的な口調 ①-022: 申し訳なさそうな口調 ④-074: やや不審そう **seg.24** ③-034: 相手を見て申し訳なさそうな口調→謝る ③-047: 明るく→了承

◆その他 [ユニット 3] **seg.14** ①-001: 咳払い→緊張 ①-002: 咳払い→緊張 ②-044: 少し考えてから ②-051: 黙って歩き続ける→気づまり **seg.15** ①-005: 咳払い→話題の再開 ①-036: 無言→否定 [ユニット 4] **seg.19** ③-046: 少し考える **seg.20** ③-032: やや沈黙→当惑 ③-081: 少し考えて **seg.21** ②-035: 沈黙→考え込む **seg.23** ①-009: 顔を見合わせしばし沈黙→困惑

### 3. 画像索引

**凡 例** この索引には、「中級編」の各場面に映っている事物として主に「流れにそって」の右欄外に記されている項目を挙げてある。出現位置は、セグメントおよび場面の番号で示されている。

事物の種類によって分類されているが、この分類は便宜的なものであり、多少性質の異なる事物を含むカテゴリーもあり、事物によっては複数のカテゴリーに相当する可能性のあるものを1箇所だけに所属させたものもある。カテゴリーの種類は以下の通りである。

#### ◆人物

◇人の種類、服装など ◇不特定の人々

#### ◆物品、設備など

◇樹木 ◇屋外施設など  
◇家屋の外装、外観など ◇乗り物 ◇家具など  
◇室内設備など ◇戸、窓、建具  
◇インテリア、装飾品など ◇器具、機器など  
◇道具、用具など ◇容器など ◇食器など  
◇書籍、冊子など ◇書類、用紙、帳面など  
◇図表・掲示物等 ◇標識、表示など  
◇衣服、身装品など ◇食品、飲食物など

#### ◆場所など

◇道路、通路 ◇町並みなど ◇建物、場所など  
◇部屋 ◇店、売り場、店内設備など

#### ◆行為など

◇行事、場所から ◇行為、動作など

### 画像索引

#### ◆人物

◇人の種類、服装など [ユニット 1] seg.01①：会社帰りの社員たち seg.01①：和服姿の仲居たち seg.02①：ネクタイ、スーツ姿の営業社員 seg.02①：三つ揃いスーツの管理職クラスの会社員 seg.03①：相席の客 seg.03②：エプロンをかけたウェイトレス seg.04①：仕事をしている社員 seg.04①：上着を脱いでいすの背にかけた会社員 seg.04④：オフィスで執務する会社員たち seg.05③：交番の前に立っている警官 seg.06①：ブラウスにタイトスカートの受付係員 seg.06①：ブラウスにスカートの女子事務員 [ユニット 2] seg.07①：エプロンをかけた主婦 seg.07②：帽子をかぶりポーチを持った米屋 seg.07④：市役所受付の係員 seg.07④：市役所の窓口カウンターで対応する係員たち seg.08①：帽子をかぶり白手袋をはめ制服を着てカウンターに並んだ案内係 seg.08②：制服のデパート店員 seg.08④：はちまきをしめゴムの前かけをした魚屋 seg.09①：半そでワイシャツにネクタイの会社員 seg.09②：半そでワイシャツにネクタイ、クラッチバッグを持った営業社員 seg.09②：エプロンのウェイトレス seg.10①：スーツを着て封筒を持った編集社員 seg.10①：ワンピースにショルダーバッグ、封筒を抱えた女性編集者 seg.10①：長そでワイシャツにネクタイの大学教授 seg.10②：半そでワイシャツにネクタイの大学助教授 seg.11①：普段着の家族 seg.11①：エプロンをかけた主婦 seg.12③：浴衣姿の女の子 [ユニット 3] seg.13②：勤め帰りのOL seg.13③：制服の女性社員 seg.14①：スーツにネクタイの男性 seg.15①：制服の女性社員 seg.15①：スーツの男性社員 seg.15②：スーツの男性社員 seg.15②：制服の女性社員 seg.16①：セーター姿の男性 seg.16②：スーツの男性社員 seg.16②：制服の女性社員 seg.18①：はちまき・はっぴの焼き方 seg.18②：制服にカーディガン姿の昼休みのOL seg.18③：司会者 seg.18③：高砂の新郎・新婦と媒酌人夫妻 seg.18③：タキシードの新郎 seg.18③：ウェディングドレスの新婦 seg.18③：留袖の年配の女性 seg.18③：ドレスの女性 seg.18③：礼装の男性 [ユニット 4] seg.20①：母親と5歳ぐらいの男の子 seg.20②：酒屋の店員 seg.22①：エプロンをかけた店員 seg.23①：塗装職人 seg.23③：白衣の女性事務員 seg.23④：白衣の医師  
◇不特定の人々 [ユニット 1] seg.05①：行きかうビジネスマン風の男性たち seg.05②：橋をわたる人 seg.05④：横断歩道を渡る歩行者の流れ [ユニット 2] seg.08③：商店街を通る買い物客やうば車の子供 seg.12③：浴衣を着た人々 seg.12③：蔵づくり前を歩く人々 seg.12③：祭りを見る家族 [ユニット 4] seg.19①：駅前に行きかう人々 seg.19③：はっぴ・はちまきの人々 seg.24①：出入りする子供連れの買い物客たち seg.24④：座って聞く聴衆 seg.24④：立ち見の聴衆

#### ◆物品、設備など

◇樹木 [ユニット 1] seg.05①：街路樹の柳 seg.05④：街路樹 [ユニット 2] seg.11③：石垣の上に茂る木 seg.11③：木立ち seg.12①：植え込みの木 [ユニット 3] seg.14②：色づきはじめた木々 seg.18②：植え込み  
◇屋外施設など [ユニット 1] seg.05①：地上の地下鉄入り口 seg.05①：歩行者用信号 seg.05①：歩道の柵 seg.05③：古風な街灯 seg.05③：日本橋の欄干の彫刻 seg.05④：パーキングメーター



- seg.05④：電柱と電線 seg.05④：道路標識 [ユニット 2] seg.11③：人工の池 seg.11③：石垣  
seg.11③：丸太と太い綱でできたフィールドアスレチック風の遊具 seg.11③：砂場 seg.11③：水  
飲み場 seg.11③：電話ボックス seg.11③：車止めの柵 seg.11③：街灯 seg.11③：電柱 [ユ  
ニット 3] seg.14②：公園の池 seg.18②：彫刻 [ユニット 4] seg.19①：歩道のガードレール  
seg.19②：街路灯 seg.19②：金網で囲ったテニスコート seg.20①：保育園の庭の遊具など
- ◇家屋の外装、外観など [ユニット 2] seg.08③：商店の日よけ seg.12①：ベランダに干してある  
布団や洗濯物 seg.12①：団地の屋上のテレビのアンテナ seg.12①：玄関のチャイムのボタン seg.  
12②：団地のベランダの洗濯物 seg.12③：紋所のついた提灯をつけて立て並べられたさお
- ◇乗り物 [ユニット 1] seg.05①：路上駐車の手 seg.05①：高速道路を走る車 seg.05①：止めて  
あるバイク seg.05①：歩道を走る自転車 seg.05①：日本橋付近を行きかう車 seg.05③：置いて  
ある自転車 seg.05④：路上駐車の手 [ユニット 2] seg.08③：走り過ぎたり止めてあるかごをつ  
けた自転車やバイク seg.12①：路上駐車の手 [ユニット 4] seg.19①：停車中のタクシー seg.  
19①：止めてある自転車 seg.19①：軽ワゴン車 seg.19②：行きかう車 seg.23③：止めてある自  
転車
- ◇家具など [ユニット 1] seg.01①：座いす seg.02①：テーブルといす seg.02②：電話台 seg.  
02③：いす seg.03①：カウンターテーブル seg.03②：カウンターテーブル seg.04①：並んだ事  
務机 seg.04①：壁面収納家具 seg.04③：壁面収納家具 seg.04③：机の引き出し seg.06①：  
テーブルとまわりのいす [ユニット 2] seg.07①：ガラス戸付きの本箱 seg.07①：ソファとテ  
ーブル seg.07②：玄関脇の下駄箱 seg.07④：カウンター内の机の列 seg.09①：並べられたテ  
ーブルとまわりのいす seg.09①：ホワイトボード seg.09①：ついたて seg.09②：テーブルといす  
seg.09③：テーブルといす seg.10①：ソファとローテーブル seg.10①：ファリリングキャビネ  
ット seg.10②：机 seg.10②：テーブル seg.11①：食器棚 seg.11①：ダイニングテーブル seg.  
11②：本棚と棚のついた整理だんす seg.11③：ベンチ seg.12①：サイドボード seg.12①：本棚  
seg.12①：籐のついたて seg.12①：座卓 seg.12②：座卓 seg.12②：食堂テーブルといす [ユ  
ニット 3] seg.13①：ガラスのローテーブル seg.13②：ソファ、ひじかけいす、ローテー  
ブルの応接セット seg.13②：サイドボード seg.13③：並んだデスクの列 seg.14①：たんす seg.14  
①：座卓 seg.14②：ベンチ seg.14③：食堂テーブルといす seg.14③：食器棚 seg.15①：会議  
テーブルといす seg.15②：並んだデスク seg.16①：たんす seg.16①：座卓 seg.16②：並んだ  
デスク seg.16②：会議テーブルといす seg.17①：テーブル seg.17③：開け放したクローゼット  
seg.18②：ベンチ seg.18③：金びょうぶ seg.18③：テーブルといす [ユニット 4] seg.19 ②：  
ベンチとローテーブル seg.19③：雑誌の棚 seg.20③：整理たんす seg.20③：並んだ座卓 seg.  
21①：事務机 seg.21②：整理たんす seg.21②：並んだ座卓 seg.22②：応接セット seg.22②：  
デスク seg.23①：仕切り壁 seg.23②：椅子 seg.23③：カルテの棚 seg.23④：ベンチ seg.23  
④：ベッド seg.23④：机 seg.24①：テーブルの貼られた仕切り壁 seg.24④：テーブルと司会者・  
発表者の席
- ◇室内設備など [ユニット 1] seg.01①：床の間 seg.01①：床柱 seg.01①：棚 [ユニット 2]  
seg.10①：研究室の書類受けのポスト seg.10①：研究室の掲示板 seg.11①：調理台 seg.11①：  
流し台 seg.11①：湯沸し器 seg.11①：出窓 seg.11①：ガス台 seg.11①：レンジフード seg.  
11①：下に戸棚のついた洗面台 [ユニット 3] seg.14①：床の間 seg.16①：床の間 seg.17③：  
フローリングの床 seg.17④：下に戸棚のついた流し台 seg.17④：湯沸し器 seg.17④：湯舟  
seg.17④：ガスの風呂がま [ユニット 4] seg.19②：鏡 seg.24④：ステージ
- ◇戸、窓、建具 [ユニット 1] seg.01①：障子のはまった窓 seg.02①：ブラインドのおりた窓 seg.  
02①：応接室のドア seg.02③：応接室のドア seg.04①：ブラインドのある窓 [ユニット 2] seg.  
07②：廊下のドア seg.07②：玄関のドア seg.08①：デパートの入り口の大きなガラスのドア seg.  
10①：窓から見える木 seg.10②：研究室のドア seg.10②：窓から見える木と校舎 seg.11①：廊  
下のドア seg.11②：障子窓 seg.11②：開いている子供部屋のドア seg.12①：団地の玄関のドア  
[ユニット 3] seg.13②：ガラス戸 seg.14①：押し入れのふすま seg.14①：障子のはまった窓  
seg.14③：ガラス戸 seg.16①：押し入れのふすま seg.16①：障子のはまった窓 seg.17③：サッ  
シの窓 [ユニット 4] seg.23③：病院玄関のドア
- ◇インテリア、装飾品など [ユニット 1] seg.01①：花生け seg.02①：ブラインド seg.02①：灰  
皿 seg.03①：鉢植えの観葉植物 seg.03①：灰皿 seg.04①：ブラインド seg.04①：部屋の隅の  
観葉植物 seg.06①：鉢植えの植物 seg.06①：灰皿 [ユニット 2] seg.07②：下駄箱の上のドラ  
イフラワー seg.07④：花びんの花 seg.07④：カウンターの上の鉢植えの植物 seg.08②：ショー  
ケースの脇の鉢植えの植物 seg.09①：灰皿 seg.09①：ペン立て seg.09①：花瓶の花 seg.09  
①：窓のブラインド seg.10①：灰皿 seg.12①：観葉植物 seg.12①：ひものれん seg.12①：  
窓のカーテン seg.12②：座ぶとん [ユニット 3] seg.14①：レースのテーブルクロス seg.14①：



- 座ぶとん seg.16①: レースのテーブルクロス seg.16①: 座ぶとん seg.17②: 筆立て seg.18③: テーブルクロス seg.18③: テーブルの盛り花 [ユニット 4] seg.19②: 鉢植えの木 seg.19③: 観葉植物の鉢 seg.20③: 座ぶとん seg.21②: 座ぶとん seg.21②: 灰皿 seg.23③: 並んだ植木ばち seg.23④: スタンド型の灰皿
- ◇器具、機器など [ユニット 1] seg.02①: 電話機 seg.02②: 電話をかける seg.02②: プッシュ式電話機 seg.02②: 受話器を手で押さえる seg.03①: ピンク電話 seg.03②: そでを少し上げて時計を見る seg.03②: レジスター seg.04①: 電話をかける seg.04③: ダイアル式電話機 seg.06①: 電話をかける seg.06②: 電話台の電話機 [ユニット 2] seg.07①: 電話を受ける seg.07③: 電話をとる seg.07④: 電話機 seg.07⑤: テレホンカードが使える緑色の大型公衆電話 seg.10①: 電話機 seg.10①: 電気スタンド seg.10②: パソコン seg.11①: 電子レンジ seg.11①: 冷蔵庫 seg.11①: 腕時計をはめる seg.11②: 電気掃除機で掃除する seg.11②: 洗濯機で洗濯する seg.11③: ジュースの自動販売機 seg.11③: 腕時計を見る seg.12①: 腕時計 seg.12①: 電話する seg.12①: カバーのかかったピアノ seg.12①: 電話機 seg.12③: カメラ [ユニット 3] seg.13①: ステレオセット seg.13①: ビュア seg.13①: カメラ seg.13③: 電話機 seg.13③: パソコン seg.14④: 玄関わきの下駄箱の上の電話機 seg.15①: 電話機 seg.17①: コンピューター端末に打ち込む seg.18③: エレクトーン [ユニット 4] seg.19①: 乗車券の自動販売機 seg.19②: テレビ seg.19③: テレビ seg.19③: ビデオデッキ seg.20②: レジスター seg.22②: タイプライター seg.22②: ワープロ seg.22②: 電話機 seg.23②: 腕時計 seg.23③: パソコン seg.23③: 体温計 seg.23④: 時計 seg.23④: 血圧計 seg.23④: 体温計 seg.23④: 首にかけた聴診器 seg.23④: 腕時計 seg.24④: OHP (オーバーヘッドプロジェクター) seg.24④: マイク seg.24④: マイクスタンド seg.24④: スクリーン
- ◇道具、用具など [ユニット 1] seg.04③: ボールペン seg.05③: 立てかけてあるジュラルミンの盾 [ユニット 2] seg.07④: 記入台のボールペン seg.08②: ボールペン seg.09②: ボールペン seg.11①: 石けん seg.12①: おしぼり seg.12②: おしぼり [ユニット 3] seg.13①: カッター seg.13①: プロア seg.13③: デスクの上の文房具 seg.14③: 赤鉛筆 seg.18①: 大しゃもじ [ユニット 4] seg.19②: ラケット seg.19②: テニスボール seg.19③: テニスボール seg.19③: みこし seg.19③: 大うちわ seg.20②: 紙ばさみ seg.23①: ローラー seg.23①: ペンキ缶 seg.23①: 脚立 seg.23①: テープ seg.23④: ボールペン
- ◇容器など [ユニット 1] seg.02③: 紙袋 seg.04③: 封筒 seg.06①: 資料の入った封筒 [ユニット 2] seg.07①: 段ボール箱 seg.07④: 封筒 seg.10①: 原稿の入った封筒 seg.10②: 名刺入れ seg.10②: 書類入れ seg.10②: 書類の入った封筒 seg.11②: 床の上の本の入った段ボール箱 seg.12①: 紙袋 [ユニット 3] seg.14③: 買い物のポリ袋 seg.18③: 祝儀袋 [ユニット 4] seg.19①: ビールのケース seg.19③: たばこのパッケージ seg.20②: 買い物のポリ袋 seg.23①: 段ボール箱
- ◇食器など [ユニット 1] seg.01①: 箸 seg.01①: グラス seg.03①: 砂糖入れ seg.03①: コーヒーカップ seg.03②: 盆 seg.06①: 盆 seg.06①: 茶托に乗った湯のみ [ユニット 2] seg.08②: 化粧箱に入ったスプーンセット seg.09②: 盆 seg.09②: コーヒーカップ seg.11①: 食器 seg.11①: 盆 seg.11①: なべ、やかん等 seg.11①: 箸 seg.12①: 急須 seg.12①: 湯のみ seg.12①: 茶筒 seg.12①: 茶托 seg.12①: 魔法びん seg.12②: はし、その他の食器類 [ユニット 3] seg.13②: 湯のみ seg.14①: 茶托にのせた湯のみ seg.14①: 菓子皿 seg.14①: くろもじ seg.14①: 湯のみのふた seg.15①: 試作品のアウトドア用食器セット seg.16①: 湯のみ seg.18①: はし [ユニット 4] seg.20③: 湯のみ seg.21②: 湯のみ seg.24①: 発泡スチロールの食器
- ◇書籍、冊子など [ユニット 1] seg.04③: パンフレット seg.04③: カタログ seg.06②: 会社概要 seg.06②: 商品カタログ [ユニット 2] seg.07①: 本箱に入れかけの本 seg.07①: 箱の外に積まれた本 seg.08①: ラックに入ったパンフレット類 seg.10①: 研究室の本棚の本 seg.10①: 並んだ辞書 seg.10②: 本棚の本 seg.11①: 漫画雑誌 seg.11②: 本棚に並んだ本 seg.11②: 本を読む seg.12②: 雑誌を読む [ユニット 3] seg.15②: 写真雑誌 seg.17②: 住宅情報誌 [ユニット 4] seg.21①: パンフレット seg.22②: 書棚の本や資料 seg.23④: 雑誌を読む
- ◇書類、用紙、帳面など [ユニット 1] seg.02①: 名刺交換 seg.02①: 手帳 seg.02②: 手帳 seg.02③: 手帳にメモする seg.04②: 電話番号を書いたメモ用紙 seg.04③: 電話番号を書いたメモ用紙 seg.04③: レポート用紙にメモを取る seg.04④: 手書きの地図 seg.05①: 手書きの地図 seg.05③: 手書きの地図 seg.06②: 名刺交換 [ユニット 2] seg.07②: チラシ seg.07④: メモ用紙にボールペンで書く seg.07④: 記入台の用紙と記入例 seg.07④: 印の押された転籍届の用紙 seg.07④: 戸籍謄本 seg.08②: 配達伝票に記入する seg.08②: クレジットカード seg.08②: クレジットカードの伝票へのサイン seg.09①: 印刷原稿 seg.09②: 手帳に書き込む seg.09②: 原

- 稿と手帳をかばんにしまう seg.10①：名刺を渡す seg.10①：印刷原稿 seg.10②：名刺交換 seg.10②：印刷原稿 [ユニット 3] seg.13②：表紙のついた見合い写真 seg.13③：デスクの上の書類、ファイル seg.14③：資料に書き込みをする seg.15①：会議書類 seg.16②：手帳 seg.17①：卓上カレンダー seg.17②：貸家物件のファイル seg.18①：品書き seg.18③：記名帳に記帳する [ユニット 4] seg.21①：記入例 seg.21①：書類 seg.21①：申し込み用紙 seg.21①：スケジュール表 seg.21①：表に記入する seg.21②：カード seg.22②：メモをとる seg.23③：診療証明書 seg.23④：カルテ seg.24④：OHPシート seg.24④：発表原稿
- ◇図表・掲示物等 [ユニット 1] seg.01①：かけ軸 seg.01①：日本画 seg.02①：壁の絵 seg.02①：ポスター seg.05③：標語を書いた垂れ幕 seg.05③：案内板の大きな地図 [ユニット 2] seg.07④：カウンター前面のポスター seg.07⑤：壁の節水のポスター seg.08④：魚屋の店先ののぼり [ユニット 3] seg.13①：壁の写真 seg.13①：写真のネガ seg.14①：かけ軸 seg.14①：壁の色紙の額 seg.16①：かけ軸 seg.16①：壁の色紙の額 seg.17①：結婚衣装のポスター [ユニット 4] seg.21②：見取り図 seg.23①：ポスターを貼る seg.23③：張り並べられた掲示・ポスター seg.23④：ポスター seg.23④：カレンダー seg.23④：壁の額 seg.24①：ドアのポスター seg.24④：タイトルの横断幕 seg.24④：名前を書いた張り紙 seg.24④：待遇表現分類表 seg.24④：待遇表現モデル図
- ◇標識、表示など [ユニット 1] seg.03②：喫茶店前の路上の置き看板 seg.05①：地下鉄出口の表示 seg.05①：営団地下鉄のマーク seg.05①：飲み屋のちょうちん seg.05②：日本橋の銘板 seg.05③：警察のマーク seg.05③：交番の赤い電灯 seg.05③：駅の地下道の出口表示板 seg.05④：街路名の標識 seg.05④：路面の標識文字 [ユニット 2] seg.07④：受付の札 seg.07④：天井から下がった係名の吊り表示板 seg.10①：研究室のドアの上につけられた名札 seg.12①：玄関ドアの脇の表札 [ユニット 3] seg.13③：社員の胸の名札
- ◇衣服、身装品など [ユニット 1] seg.01①：背広姿 seg.01①：和服 seg.02①：ネクタイを直す seg.02①：胸ポケット seg.02①：内ポケット seg.02①：スーツ seg.02①：三つ揃いスーツ seg.02②：ズボンのポケット seg.02③：内ポケット seg.03②：エプロン seg.05①：クラッチバッグ seg.05③：警官の制服・制帽 seg.05③：ベルトの拳銃・警棒 seg.06①：クラッチバッグ seg.06②：胸ポケット seg.06②：内ポケット [ユニット 2] seg.07②：つばのある帽子 seg.08①：ハンドバッグ seg.08②：ショルダーバッグ seg.08③：ハンドバッグ seg.08③：ハンカチ seg.08④：ショルダーバッグ seg.09②：ワイシャツの胸ポケット seg.10②：ワイシャツの胸ポケット seg.11②：洗濯物 seg.12①：ショルダーバッグ seg.12②：ハンドバッグ [ユニット 3] seg.13②：ショルダーバッグ seg.14①：ややフォーマルなワンピース seg.15①：眼鏡 seg.15①：脱いでいるの背にかけた上着 seg.16②：眼鏡 seg.16②：内ポケット seg.18②：財布 seg.18③：ブーケ [ユニット 4] seg.19②：トレーニングウェア seg.19②：タオルや着替えなどのスポーツ用具 seg.19②：ポーチ seg.20①：ショルダーバッグ seg.22①：バッグ seg.22①：デイバック seg.22①：ウェストポーチ seg.22②：ハンドバッグ seg.23①：つなぎの作業服 seg.23④：ジャンパー seg.24③：セーター
- ◇食品、飲食物など [ユニット 1] seg.01①：宴会料理 seg.01①：ビール seg.02①：コーヒー seg.02③：紙袋に入った手みやげ seg.03①：コーヒー seg.03②：コーヒー seg.06①：お茶 [ユニット 2] seg.08④：かつお seg.08④：あじ seg.09②：コーヒー seg.09②：スティックシュガー seg.09②：コーヒー用ミルクのパック seg.11①：料理の皿 seg.11①：和風の朝食 seg.11①：茶わんの御飯 seg.11①：おわんのみそ汁 seg.11①：おかずの魚、卵、のり等 seg.12①：手土産の菓子包み seg.12②：器に盛ったそうめん seg.12②：薬味 [ユニット 3] seg.14①：和菓子 seg.18①：チューハイのグラス seg.18①：枝豆 seg.18①：カウンターに並んだ材料 seg.18①：ほっけの開き seg.18①：しょう油などの調味料 seg.18①：料理の皿・小鉢 seg.18③：ウェディングケーキ [ユニット 4] seg.19②：缶入りのウーロン茶 seg.20②：棚に並んだ酒びんや食料品 seg.20②：ゴマ油のびん seg.20②：味噌のパック seg.20③：菓子 seg.24①：水餃子の鍋
- ◆場所など
- ◇道路、通路 [ユニット 1] seg.05①：地下鉄駅の地下道 seg.05①：地下鉄出口の階段 seg.05①：ビルの前の歩道 seg.05①：大きな十字路 seg.05①：高速道路 seg.05①：大きな交差点 seg.05②：日本橋 seg.05②：高架の高速道路 seg.05②：幅の広い車道 seg.05③：日本橋 seg.05④：広い横断歩道 seg.05④：十字路 seg.05④：高架の高速道路 seg.05④：横断歩道 seg.05④：やや狭い脇道 seg.05④：裏道の交差点 seg.06①：ビル内の廊下 [ユニット 2] seg.08①：上り・下りのエスカレーター seg.10①：大学の校舎内の廊下 seg.11③：公園の遊歩道 seg.12①：団地の中の道 [ユニット 3] seg.14②：石を敷いた遊歩道 [ユニット 4] seg.19①：ロータリー seg.19①：横断歩道 seg.19②：広い車道 seg.19③：川沿いの柳並木 seg.23③：病院前の道
- ◇町並みなど [ユニット 1] seg.05①：ビル街 seg.05④：ビル街 [ユニット 2] seg.08③：商店

- 街 seg.10①：大学のキャンパス seg.11③：近郊都市の整備された公園 seg.12①：団地 seg.12②：団地 seg.12③：蔵づくりの古い町並み [ユニット 3] seg.14②：都市部のかなり大きな公園 seg.18②：オフィスビル周辺のオープンスペース [ユニット 4] seg.19①：郊外の私鉄駅前 seg.19②：大規模団地の全景 seg.20②：夕暮れの住宅地
- ◇建物、場所など [ユニット 1] seg.05③：交番 seg.05④：古風なタイル貼りのビル [ユニット 2] seg.07④：市役所 seg.08①：デパートの入り口 seg.10①：大学の校舎 seg.12①：団地のアパート seg.12②：団地のアパート [ユニット 3] seg.13①：一般的な日本式家屋 seg.14④：夜、明かりのついた家の外景 seg.17③：マンションの空き室 seg.17④：空き家の一戸建 [ユニット 4] seg.19②：高層マンション seg.19②：クラブハウス seg.20①：団地内の保育園 seg.21①：文化センター管理事務室 seg.23③：病院 seg.24①：地域文化センター入り口
- ◇部屋 [ユニット 1] seg.01①：料理屋の座敷 seg.02①：会社の応接室 seg.04①：営業課のオフィス seg.06①：会社の応接室 [ユニット 2] seg.07②：玄関 seg.09①：出版社の会議室 seg.10①：大学教授の研究室 seg.11①：ダイニングキッチン seg.11①：洗面所 seg.11②：子供の勉強部屋 seg.12②：リビングダイニングキッチン [ユニット 3] seg.13①：洋間 seg.13②：洋風の居間 seg.13③：会社のオフィス seg.14①：日本間 seg.14③：ダイニングキッチン seg.15①：会社の会議室 seg.15②：会社のオフィス seg.16①：日本間 seg.16②：会社のオフィス seg.16②：会社の会議室 seg.17④：台所 seg.17④：浴室 [ユニット 4] seg.19③：クラブハウスのロビー seg.20③：団地内集会所 seg.21②：団地内集会所 seg.22②：大学教授の研究室 seg.23①：バザー会場になる大会議室 seg.23②：バザー会場になる大会議室 seg.23④：病院の待合室 seg.23④：診察室 seg.24④：文化センター講堂
- ◇店、売り場、店内設備など [ユニット 1] seg.03①：喫茶店 seg.03②：レジスターのある小さなカウンター seg.05①：三越 seg.06①：会社の受付カウンター [ユニット 2] seg.07④：市役所の受付カウンター seg.07④：記入台 seg.08①：デパートのショーウィンドー seg.08①：デパートの店内 seg.08①：デパートの食品売り場 seg.08①：デパートの案内所 seg.08②：デパートの高級食器売り場 seg.08②：陳列台の上に並んだ食器類 seg.08②：ショーケースの中の食器類 seg.08③：並んだ個人商店 seg.08④：魚屋の店の威勢よさ seg.08④：平台上に並んだ魚 seg.08④：魚屋の店の奥の冷凍ケース seg.08④：下げてあるつり銭用のざる seg.08④：下げてある包装用のポリ袋 seg.12③：お面の夜店 seg.12③：ヨーヨーの夜店 seg.12③：たこ焼きの夜店 [ユニット 3] seg.17①：結婚式場相談所 seg.17②：不動産屋のカウンター seg.18①：炉端焼き形式の飲み屋のカウンター seg.18③：披露宴会場の受付 [ユニット 4] seg.19①：改札口 seg.20②：酒屋の店内 seg.20②：酒屋のカウンター seg.21①：文化センター窓口 seg.22①：袋物問屋 seg.23②：餃子の模擬店 seg.23③：病院の受付窓口 seg.24①：餃子の模擬店 seg.24①：バザーの商品の置かれた台 seg.24②：餃子の模擬店 seg.24②：バザーの勘定場 seg.24③：セーターの売り台
- ◆行為など
- ◇行事、場所から [ユニット 1] seg.01①：歓迎会会場 [ユニット 2] seg.12③：提灯祭り [ユニット 3] seg.14①：見合い seg.15①：会議 seg.18③：披露宴会場 [ユニット 4] seg.19③：祭りの風景 seg.24①：バザー会場 seg.24②：バザー会場 seg.24③：バザー会場 seg.24④：シンポジウム会場
- ◇行為、動作など [ユニット 1] seg.01①：あぐら seg.01①：自己紹介 seg.01①：酌 seg.01①：乾杯 seg.01①：乾杯の音頭 seg.01①：拍手 seg.02③：手みやげを渡す seg.02③：いすをテーブルの下に入れる seg.03①：コーヒーを飲む seg.03②：砂糖を入れる seg.03②：酒を飲む手振り seg.03②：金を払う seg.05④：ドライバー同士の手の合図 seg.06①：茶を出す [ユニット 2] seg.07④：カウンターで応対する seg.08④：暗算する seg.08④：代金を払う seg.09②：喫茶店からのコーヒーの出前 seg.09②：砂糖を入れる seg.09②：コーヒーを飲む seg.09②：ミルクを入れる seg.11①：家族の朝食 seg.11③：散歩 seg.12①：訪問 seg.12①：玄関のチャームを鳴らす seg.12①：茶を入れる seg.12①：茶を飲む seg.12②：客を通す seg.12②：そうめんを食べる seg.12③：写真を撮る [ユニット 3] seg.14②：散歩 seg.16①：あぐら seg.16①：茶を飲む seg.18③：祝儀 seg.18③：新郎・新婦入場 seg.18③：媒酌人あいさつ seg.18③：ケーキカット seg.18③：乾杯 seg.18③：色直し seg.18③：スピーチ [ユニット 4] seg.19①：酒屋の配達 seg.19②：ボレーの練習 seg.19②：テニスボールの音 seg.19②：髪を直す seg.19②：たばこを吸う seg.20②：在庫調べ seg.20③：茶を飲む seg.20③：手をたたく seg.22②：ボールペンにキャップをする seg.23①：ペンキを塗る seg.23②：額に手を当てて熱を見る seg.23④：診察 seg.23④：シャツのボタンを留める seg.24②：代金を払う seg.24③：セーターをたたむ

#### 4. 文化事項コラム一覧

本文中で各場面ごとに記された「文化事項コラム」のタイトルは以下の通りである。

- |                 |                 |                |
|-----------------|-----------------|----------------|
| seg.01① 自己紹介    |                 |                |
| seg.02① 名刺      | 初対面のあいさつと名刺     | seg.02③ 手土産    |
| seg.03① 喫茶店     |                 |                |
| seg.05③ 交番      |                 |                |
| seg.07① 引っ越し    | seg.07④ 戸籍と住民登録 | 印鑑             |
| seg.08② お祝いとお返し | のし              | seg.08③ 日常の買い物 |
| seg.09① 割り付けと校正 |                 |                |
| seg.12① 来客のもてなし | 川越の提灯祭り         |                |
| seg.13① 縁談      | seg.13② 見合い写真   |                |
| seg.14① 見合い     | 座敷              |                |
| seg.16① 仲人      |                 |                |
| seg.17① 結婚式     | 結婚式場            | 仏滅             |
| seg.18① 新婚旅行    | seg.18③ 披露宴     |                |
| seg.19② 団地      |                 |                |
| seg.23③ 保険証     |                 |                |

#### 5. 表現形式索引

ここには、本文中で各場面ごとに記された「表現形式」の見出し語形を五十音順にあげる。本文中の解説は、( ) 内に記した場面に記載されている。

- |                             |                                |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 「あれ (なん) ですか」 (seg.14④)     | 「～って／という／といったところ」 (seg.07①)    |
| 「以上, ～」 (seg.01①)           | 「つとまらない」 (seg.03②)             |
| 「いっそ」 (seg.22①)             | 「～でいきましょう」 (seg.15②)           |
| 「うそばっかり」 (seg.19②)          | 「～てみたら」 (seg.09①)              |
| 「遠慮なく～」 (seg.02③)           | 「～と」 (seg.16②)                 |
| 「お聞きのとおりです」 (seg.02③)       | 「～と言いますと?」「～と言うと?」 (seg.06②)   |
| 「気を使う」 (seg.02③)            | 「～ということ～」 (seg.15①)            |
| 「～けど」 (seg.23①)             | 「～と言うより」 (seg.01①)             |
| 「ご承知のように～」 (seg.06②)        | 「～といっちゃんだけど」 (seg.18①)         |
| 「～ことですので」 (seg.15①)         | 「特に……」 (seg.15①)               |
| 「～ことは～けれど／だけど／だが」 (seg.08②) | 「～(のような)ところがある」 (seg.03②)      |
| 「～ことはない」 (seg.13③)          | 「～ところすみません」 (seg.16②)          |
| 「さすが」 (seg.19②)             | 「～とのこと」 (seg.10②)              |
| 「さっそくで恐縮ですが」 (seg.02①)      | 「～とは何よ」 (seg.22①)              |
| 「さっそくですが」 (seg.06②)         | 「何分」 (seg.22②)                 |
| 「～しかない」 (seg.09①)           | 「習うより慣れろ／慣れよ」 (seg.03①)        |
| 「～じゃない」 (seg.13③)           | 「なんだ」 (seg.16②)                |
| 「せっかくだけど」 (seg.17④)         | 「～にうるさい」 (seg.03①)             |
| 「その線で」 (seg.09①)            | 「～に力を入れる」 (seg.06②)            |
| 「それはある」 (seg.15①)           | 「～になります」 (seg.21①)             |
| 「それにしても」 (seg.15①)          | 「～は別にして」 (seg.24④)             |
| 「それが」 (seg.24③)             | 「～ばよかったのですが」 (seg.10①)         |
| 「それ～ってこと?」 (seg.13①)        | 「ひとつ」 (seg.22①)                |
| 「だいたい～」 (seg.14③)           | 「ひとつには」 (seg.24④)              |
| 「～たいと存じます」 (seg.18③)        | 「ほら」 (seg.12①)                 |
| 「だけど」 (seg.19③)             | 「本日うかがいましたのは～の件なんです」 (seg.02①) |
| 「たしかに～ですが」 (seg.15①)        |                                |
| 「だって～」 (seg.13②)            | 「～もので……」 (seg.06②)             |
| 「～たところ～」 (seg.10②)          | 「～ようないです」 (seg.06②)            |
| 「ちょっと頼みなんだけど」 (seg.18①)     | 「よかったら～」 (seg.03②)             |
| 「～っていうか」 (seg.15②)          | 「～わけにはまいりませんでしょうか」 (seg.10①)   |
| 「～っていうんですか」 (seg.20③)       |                                |

日本語教育映像教材 中級編 関連教材

伝えあうことば

### 3 映像解説書

平成5年3月25日 発行

企画・編集

国立国語研究所

〒115 東京都北区西が丘3-9-14 電話 (03) 3900-3111

印刷

大蔵省印刷局

〒105 東京都港区虎ノ門2-2-4 電話 (03) 3587-4283~9

